

志賀原子力発電所2号炉
敷地の地質・地質構造について

補足資料

2020年3月13日
北陸電力株式会社

余白

目次

補足資料1. 1-1

文献調査 1.1-1- 1

補足資料1. 2-1

敷地の地形に関する調査 1.2-1- 1

(1) 航空レーザ計測仕様 1.2-1- 2

(2) 敷地の地形に関する文献調査 1.2-1- 4

補足資料1. 3-1

調査手法 1.3-1- 1

(1) 反射法・VSP探査 1.3-1- 2

補足資料2. 1-1

露頭調査結果 2.1-1- 1

(1) 1・2号機基礎掘削面 2.1-1- 3

(2) 重要な安全機能を有する施設の基礎地盤面等 2.1-1- 7

※今回2.1-1-29～30のみ添付

(3) 海岸部 2.1-1- 31

(4) 防潮堤基礎掘削法面 2.1-1- 33

(4)-1 既往スケッチ・写真データの整理 2.1-1- 35

(4)-2 トレンチ(①～⑧)再掘削調査 2.1-1- 76

(4)-3 岩盤未確認部の周辺地質の確認 2.1-1- 99

補足資料2. 1-2

取水路建設時のグラウトの影響範囲について 2.1-2- 1

補足資料2. 2-1

破碎部周辺の岩石名についての2017.3.10審査会合前後
における対応関係 2.2-1- 1

補足資料2. 2-2

固結した破碎部と岩盤の針貫入試験結果 2.2-2- 1

目次

補足資料2. 3-1

破砕部の幅と長さの関係 2.3-1- 1
-------------	----------------

補足資料2. 3-2

断層端部の調査結果 2.3-2- 1
(1) S-1端部の調査結果 2.3-2- 2
(2) S-2・S-6端部の調査結果 2.3-2- 9
(3) S-4端部の調査結果 2.3-2- 18
(4) S-5端部の調査結果 2.3-2- 23
(5) S-7端部の調査結果 2.3-2- 27
(6) S-8端部の調査結果 2.3-2- 33
(7) S-9端部の調査結果 2.3-2- 41
(8) B-1端部の調査結果 2.3-2- 45
(9) B-2端部の調査結果 2.3-2- 51
(10) B-3端部の調査結果 2.3-2- 55
(11) K-1端部の調査結果 2.3-2- 61
(12) K-2端部の調査結果 2.3-2- 65
(13) K-3端部の調査結果 2.3-2- 71
(14) K-4端部の調査結果 2.3-2- 76
(15) K-5端部の調査結果 2.3-2- 79
(16) K-6端部の調査結果 2.3-2- 83
(17) K-7端部の調査結果 2.3-2- 87
(18) K-8端部の調査結果 2.3-2- 91
(19) K-9端部の調査結果 2.3-2- 95
(20) K-10端部の調査結果 2.3-2- 99
(21) K-11端部の調査結果 2.3-2- 103
(22) K-12端部の調査結果 2.3-2- 107
(23) K-13端部の調査結果 2.3-2- 110

補足資料2. 3-3

断層分布(陸域)の水平方向・深度方向のデータ 2.3-3- 1
(1) S-1とB-1の水平方向・深度方向のデータ 2.3-3- 3
(2) S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ 2.3-3- 8
(3) S-1とS-9の水平方向・深度方向のデータ 2.3-3- 15
(4) S-1とB-2の水平方向・深度方向のデータ 2.3-3- 20
(5) S-1とS-2・S-6の水平方向・深度方向のデータ 2.3-3- 25
(6) S-2・S-6とS-8の水平方向・深度方向のデータ 2.3-3- 31
(7) S-2・S-6とB-2の水平方向・深度方向のデータ 2.3-3- 37
(8) S-2・S-6とS-7の水平方向・深度方向のデータ 2.3-3- 42
(9) S-2・S-6とS-9の水平方向・深度方向のデータ 2.3-3- 47
(10) S-2・S-6とB-3の水平方向・深度方向のデータ 2.3-3- 52
(11) S-4とS-5の水平方向・深度方向のデータ 2.3-3- 57
(12) S-4とB-1の水平方向のデータ 2.3-3- 64

補足資料2. 3-4

取水路沿いの調査における破砕部の抽出結果 2.3-4- 1
----------------------	----------------

補足資料2. 4-1

破砕部性状一覧表 2.4-1- 1
(1) S-1～B-3の性状一覧表 2.4-1- 2
(2) K-1～K-21の性状一覧表 2.4-1- 55
(3) 取水路沿いの追加調査で確認された幅3cm以上の破砕部(K-1～K-21以外)性状一覧表 2.4-1- 138
(4) 各断層の走向・傾斜データのシュミットネットへの投影 2.4-1- 159

目次

補足資料2.4-2

X線回折分析結果 2.4-2- 1
(1) 2号機建設以前の調査 2.4-2- 2
(2) 2号機建設以後の調査 2.4-2- 20
(3) 第671回審査会合以降の調査 2.4-2- 80

補足資料2.5-1

運動方向調査結果 2.5-1- 1
(1) 最新面及び変位センスの認定方法について 2.5-1- 2
(2) 条線観察結果 2.5-1- 4
(2)-1 S-1の条線観察結果 2.5-1- 5
(2)-2 S-2・S-6の条線観察結果 2.5-1- 92
(2)-3 S-4の条線観察結果 2.5-1-121
(2)-4 S-5の条線観察結果 2.5-1-137
(2)-5 S-7の条線観察結果 2.5-1-142
(2)-6 S-8の条線観察結果 2.5-1-157
(2)-7 S-9の条線観察結果 2.5-1-166
(2)-8 B-1の条線観察結果 2.5-1-171
(2)-9 B-2の条線観察結果 2.5-1-177
(2)-10 B-3の条線観察結果 2.5-1-182
(2)-11 K-2の条線観察結果 2.5-1-226
(2)-12 K-4の条線観察結果 2.5-1-236
(2)-13 K-5の条線観察結果 2.5-1-239
(2)-14 K-12の条線観察結果 2.5-1-242
(2)-15 K-13の条線観察結果 2.5-1-248
(2)-16 K-14の条線観察結果 2.5-1-252
(2)-17 K-15の条線観察結果 2.5-1-261
(2)-18 K-16の条線観察結果 2.5-1-265
(2)-19 K-17の条線観察結果 2.5-1-271

(3) 露頭観察・コア観察・研磨片観察・薄片観察結果 2.5-1-186
(3)-1 S-1の研磨片観察結果 2.5-1-187
(3)-2 S-1の薄片観察結果 2.5-1-190
(3)-3 S-2・S-6の露頭観察結果(会合部) 2.5-1-197
(3)-4 S-2・S-6の薄片観察結果 2.5-1-199
(3)-5 S-4のコア観察結果 2.5-1-207
(3)-6 S-4の薄片観察結果 2.5-1-210
(3)-7 S-7の薄片観察結果 2.5-1-213
(3)-8 S-8の薄片観察結果 2.5-1-217
(3)-9 B-3の薄片観察結果 2.5-1-222
(3)-10 K-1の研磨片観察結果 2.5-1-273
(3)-11 K-2の研磨片観察結果 2.5-1-275
(3)-12 K-3の研磨片観察結果 2.5-1-277
(3)-13 K-4の研磨片観察結果 2.5-1-279
(3)-14 K-4の薄片観察結果 2.5-1-281
(3)-15 K-5の薄片観察結果 2.5-1-285
(4) 断層の運動方向調査結果(取水路) 2.5-1-291
(4)-1 K-2の運動方向調査結果 2.5-1-292
(4)-2 K-12の運動方向調査結果 2.5-1-306
(4)-3 K-13の運動方向調査結果 2.5-1-306
(4)-4 K-14の運動方向調査結果 2.5-1-306
(4)-5 K-15の運動方向調査結果 2.5-1-323
(4)-6 K-16の運動方向調査結果 2.5-1-323
(4)-7 K-17の運動方向調査結果 2.5-1-335
(5) 各断層の粘土状破碎部の運動方向 (Tangent-lineation diagram) 2.5-1-335

参考文献

..... 参-1

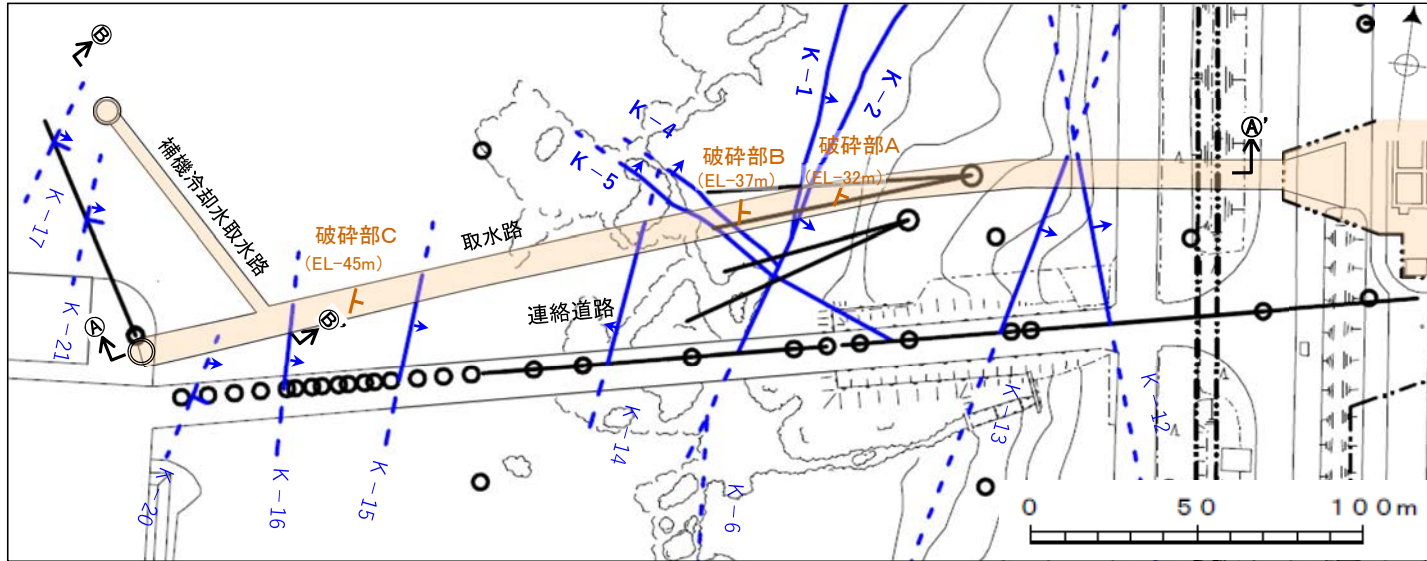
余白

補足資料2. 1－1

露頭調查結果

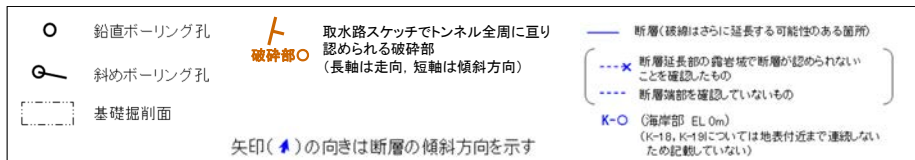
余白

2号機取水路, 2号機補機冷却水取水路① 位置図,断面図



調査位置図

凡例



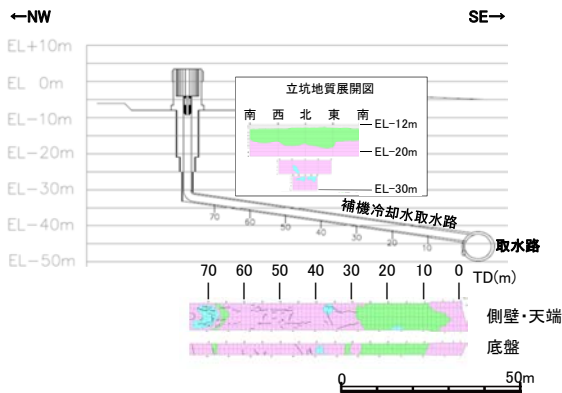
トンネル全周に亘り認められる3箇所の破砕部の性状

	破砕部A	破砕部B	破砕部C
走向・傾斜※1 (走向は真北)	N13° E/81° SE	N3° W/77° NE	N6° E/58° SE
鏡肌の有無	あり	なし	なし
挟在物※2	厚さ	0.1~1cm	1cm
	物	粘土	粘性土
直線性	直線性に乏しく凹凸する		
破砕部の幅	30cm※3	1cm	1cm

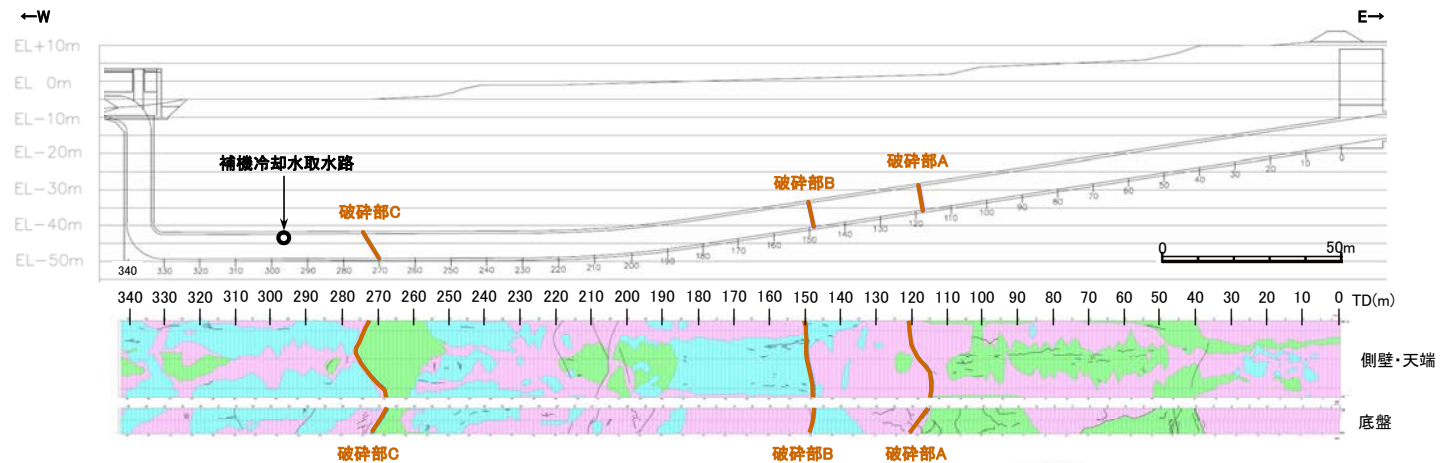
※1 走向は底盤の一般走向, 傾斜はスケッチを基に断面全体から算出

※2 挟在物の記載表現はトンネル施工時のもの。

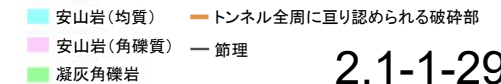
※3 トンネル施工時の断層周辺の「基質部は脆弱」という記載を基に切羽写真から周辺に比べて変質している範囲を破砕部の幅とした。



②-②' 断面図及び地質展開図

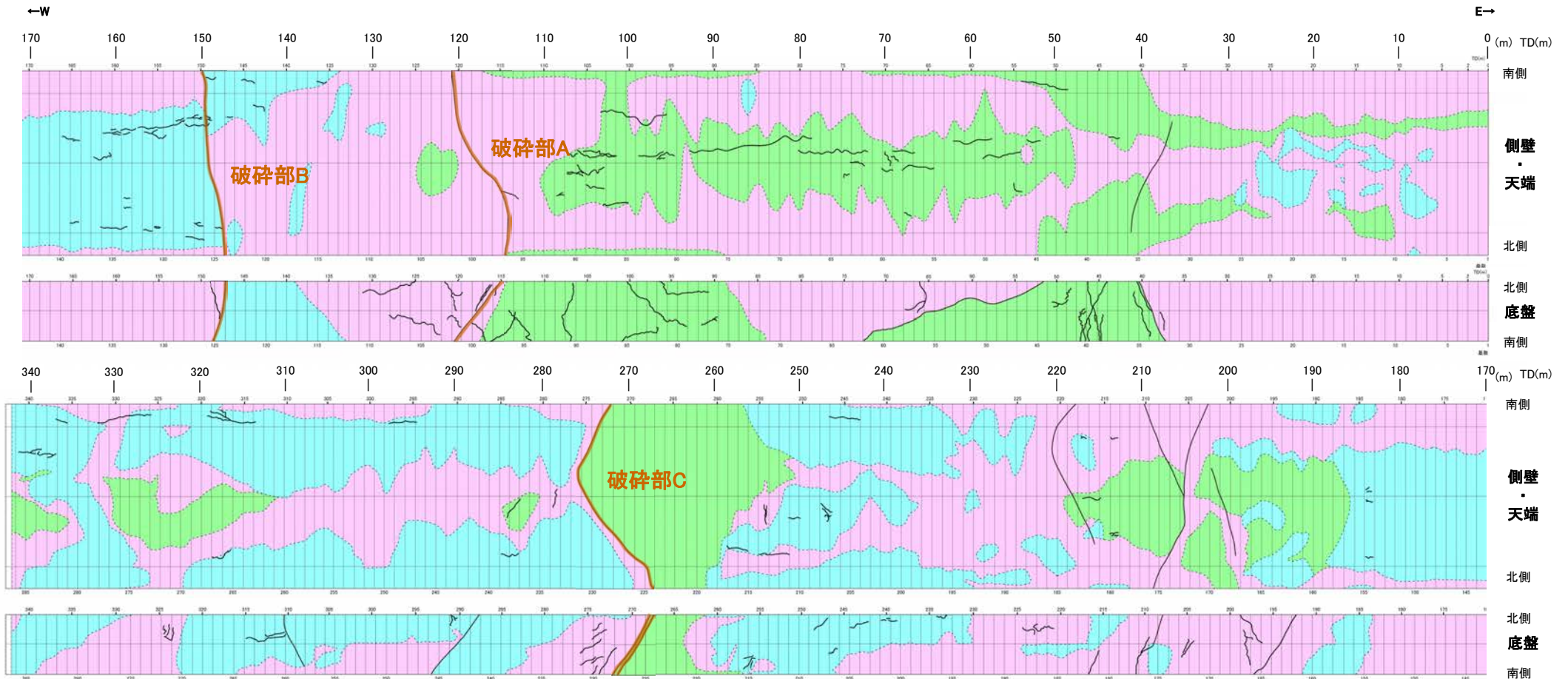


①-①' 断面図及び地質展開図(取水路)



※建設時の既往データ(写真, スケッチ)はデータ集(その他)

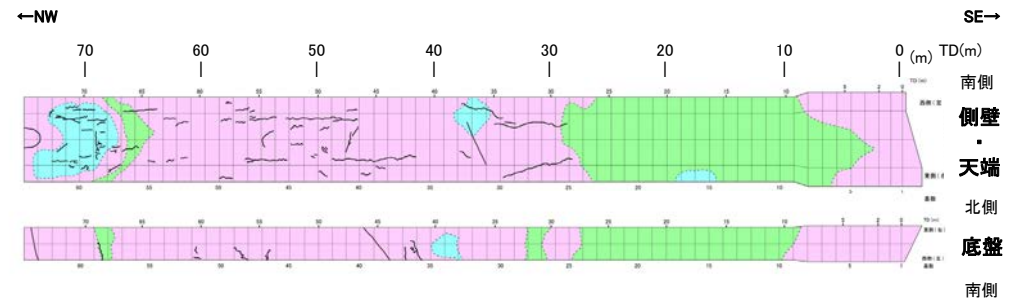
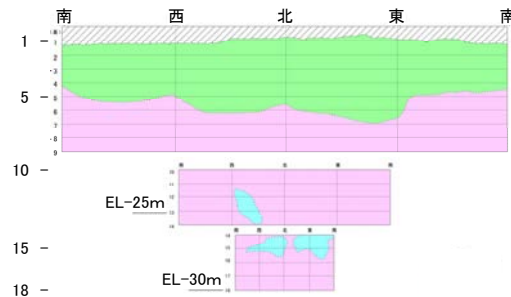
2号機取水路, 2号機補機冷却水取水路② 地質展開図



2号機取水路地質展開図

凡例

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩
- トンネル全周に亘り認められる破砕部
- 節理



2号機補機冷却水取水路地質展開図



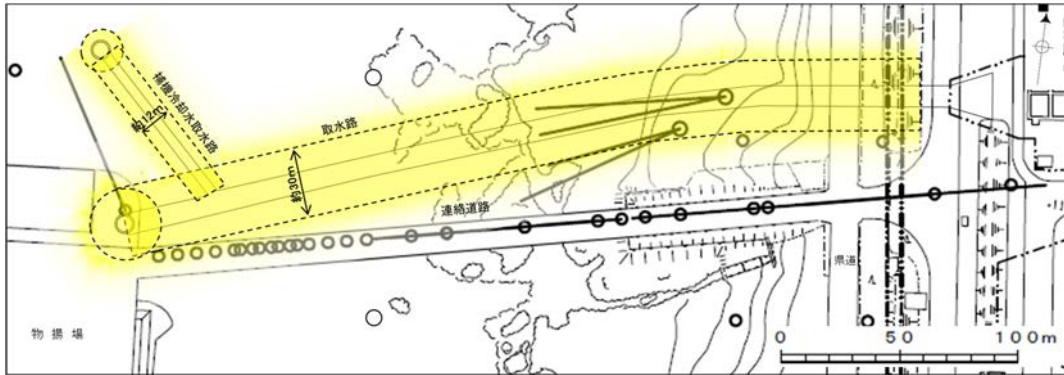
2号機補機冷却水取水路立坑 地質展開図

補足資料2. 1－2

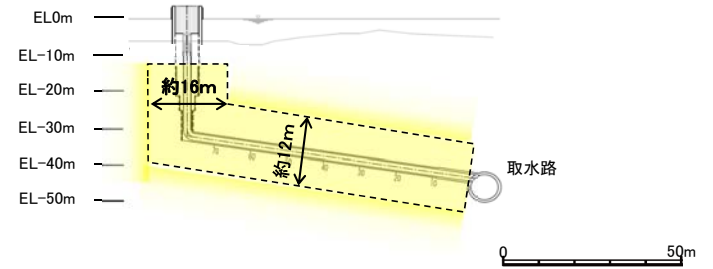
取水路建設時のグラウトの影響範囲について

取水路建設時のグラウトの影響範囲について

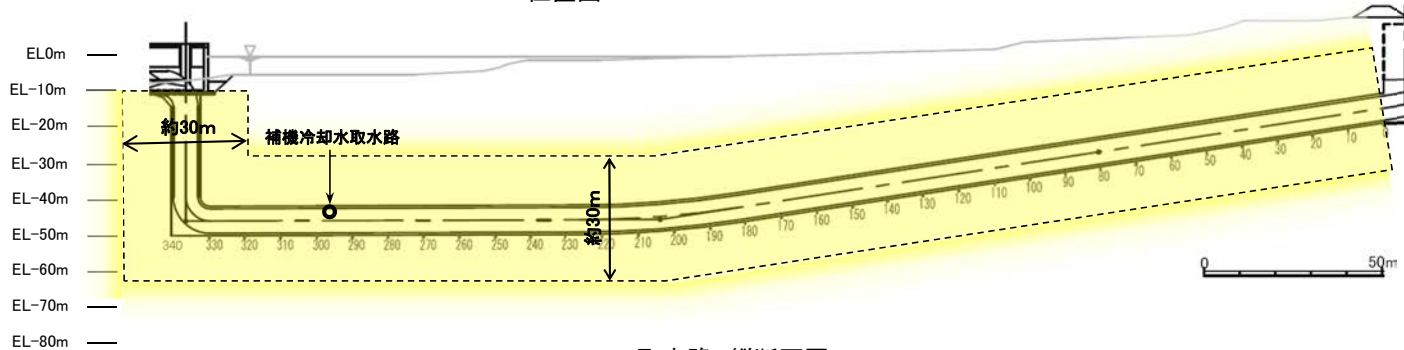
- 取水路の建設時、施工の安全性、効率性及び覆工コンクリートの品質確保を目的として、取水路を中心に半径約15m、補機冷却水取水路を中心に半径約6~8mの範囲において、3.0~3.5MPaの高圧グラウトを実施している。
- 下図の [] 範囲は注入目標範囲であるが、高圧で注入していることから、 [] 範囲以上にグラウトが注入されている。



■ グラウト影響範囲
 [] グラウト注入目標範囲



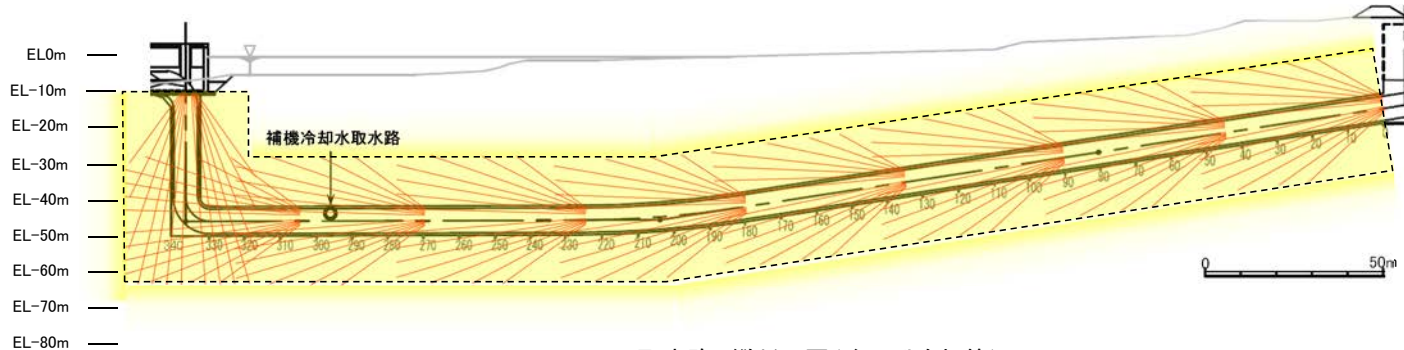
補機冷却水取水路 縦断面図



取水路 縦断面図

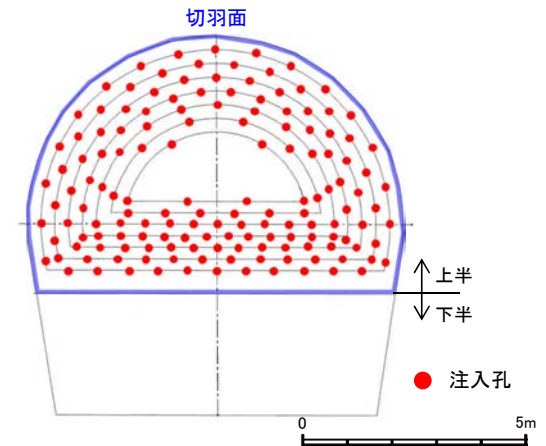
取水路におけるグラウトの注入

- ・切羽面にグラウト注入孔を削孔し、注入孔は1回の注入あたり、150孔設けた。
- ・削孔範囲は取水路径の3倍程度とし、30mとした。
- ・注入孔から3.0~3.5MPaの注入圧でグラウトを注入した。
- ・取水路においては立坑部、水平坑部合わせて9回の注入を実施した。



取水路 縦断面図(注入孔を加筆)

— 注入孔



取水路 横断面図(注入孔を加筆)

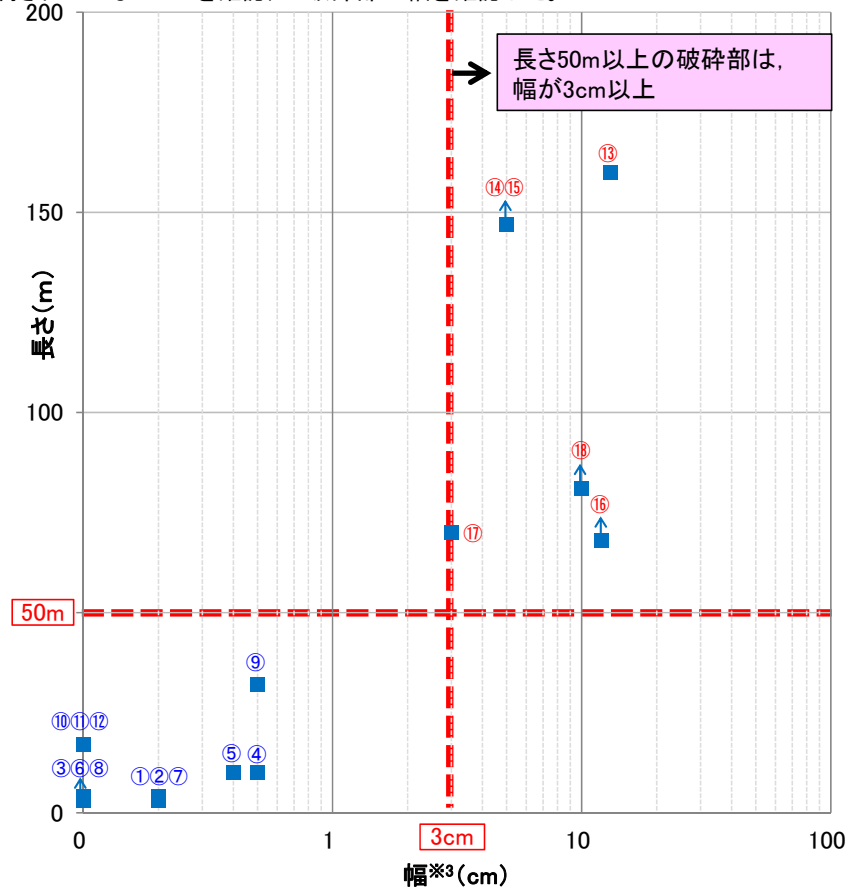
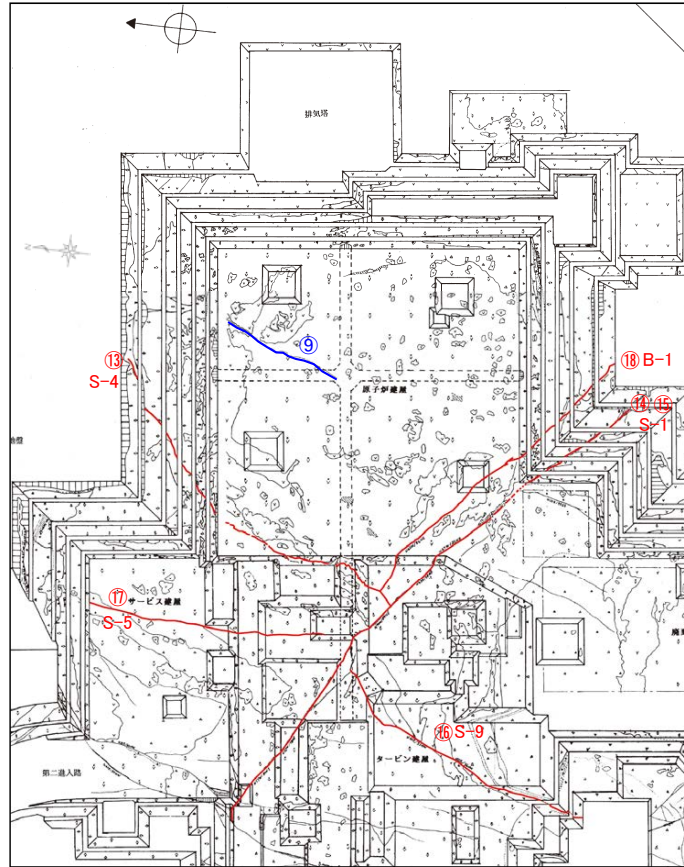
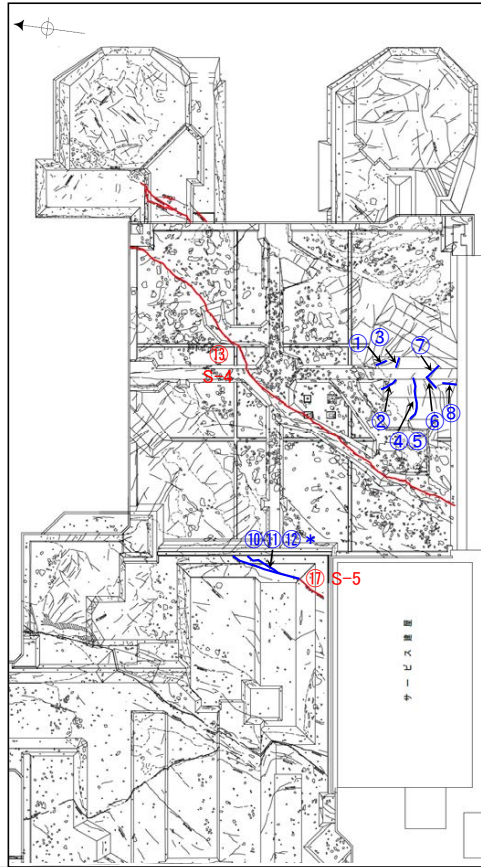
補足資料2. 3-1

破砕部の幅と長さの関係

検討対象とする破砕部の抽出

■本サイトの断層の特性を把握し連続性の検討対象とする破砕部の抽出を行うために、試掘坑で確認した破砕部(幅のデータ)と基礎掘削面で確認した破砕部(長さのデータ)を対応させ、破砕部の幅と長さを検討した(各詳細データについては、次頁以降参照)。検討にあたっては、破砕部の幅が0cmのものも含めて検討し、破砕部の小さいものが、破砕部の大きいものを規制していないか確認した。

■破砕部の幅と長さの関係が明らかとなった全18データを用いて、長さ50m以上(長さ50m未満の破砕部に分布を規制されていないことを確認)の破砕部の幅を確認した。



○番号: 試掘坑と基礎掘削面に対応が確認できた破砕部 (右のグラフと共通番号)

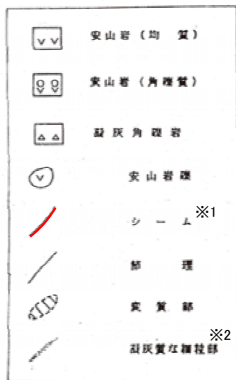
赤字は長さ50m以上のもの

青字は長さ50m未満のもの

*: ⑩~⑫は破砕部の幅が0cmで、破砕部が認められる⑰とは建設時スケッチ上でも区別されていることから、⑰とは別に個別で評価する。

↑: 長さが基礎掘削面外に延長しているものは上矢印を記載

※3: 幅は最大値



2号機基礎掘削面

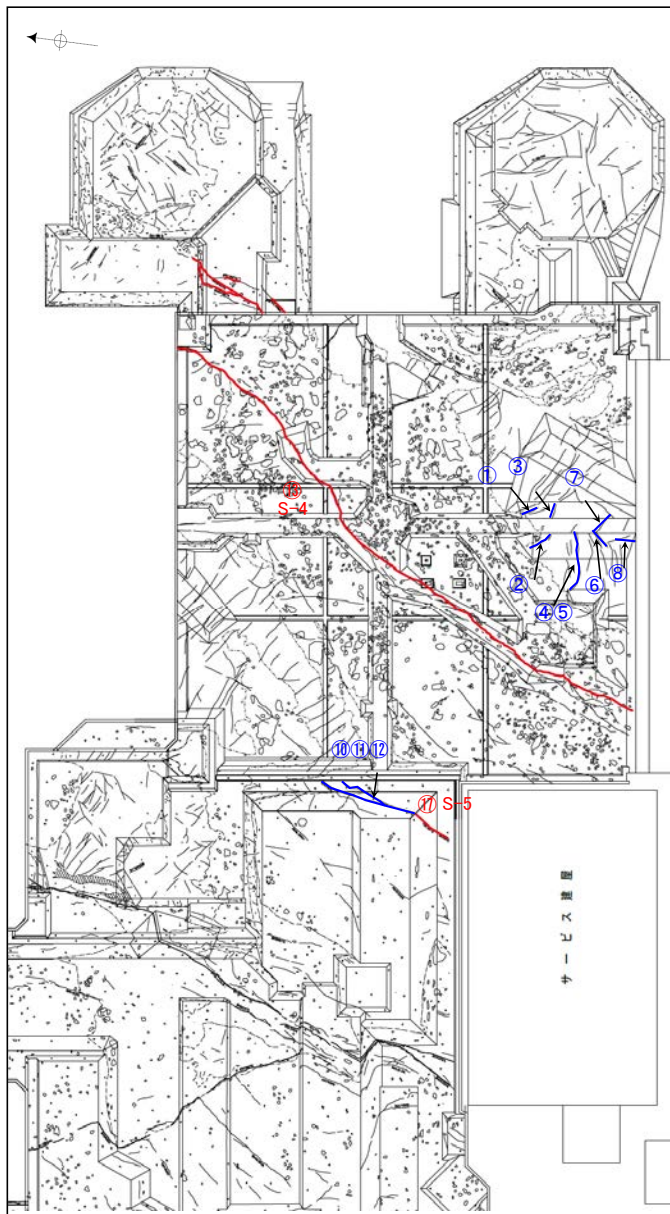
1号機基礎掘削面

・破砕部の長さが長いほど幅が厚い傾向があり、長さ50m以上の破砕部は幅が3cm以上である。

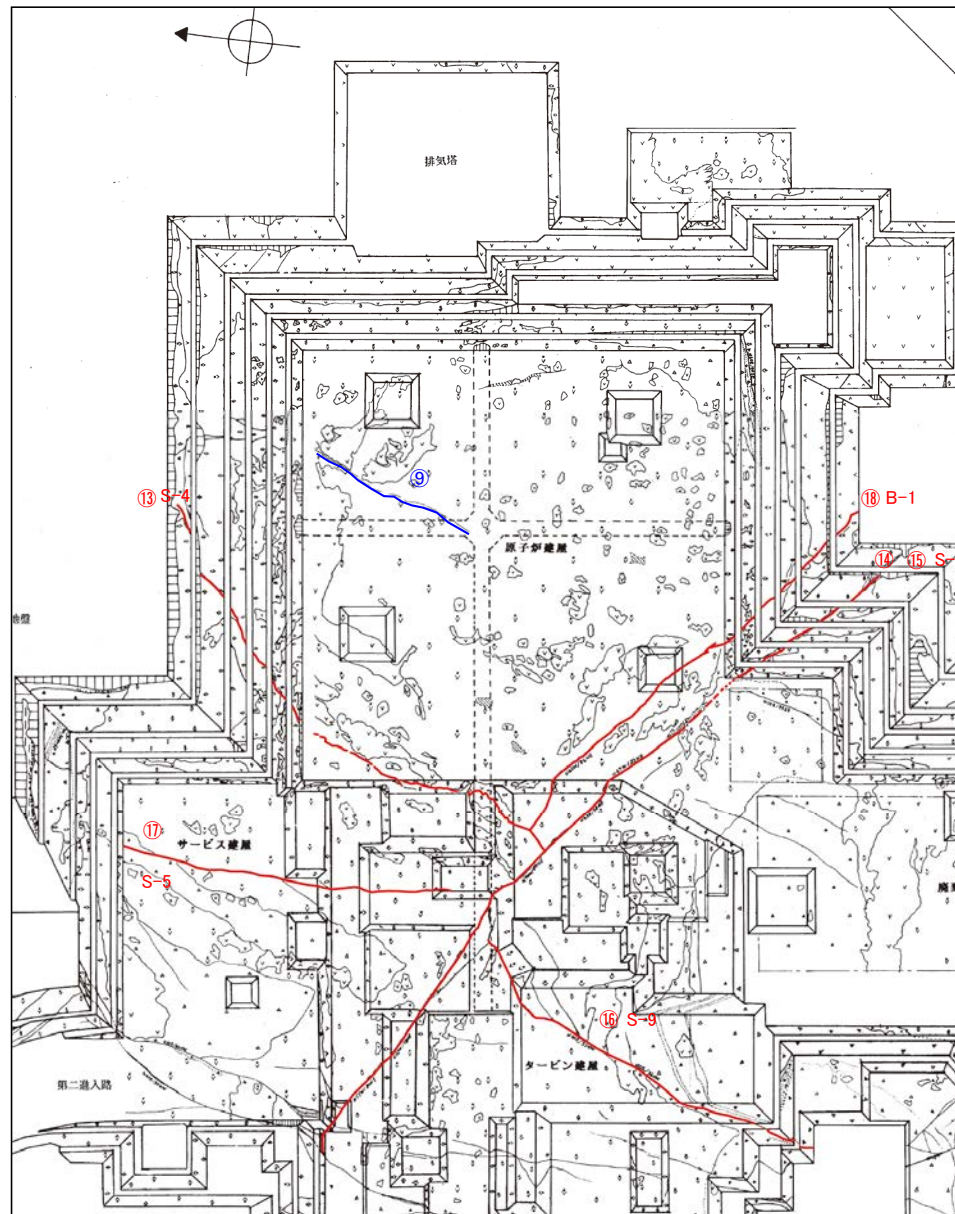
・よって、破砕部の連続性の検討においては、破砕部の幅3cm以上のものを対象とする。

※1: スケッチ時の記載用語。「粘土状破砕部」に対応する。

※2: スケッチ時の記載用語。「固結した粘土・砂状破砕部」に対応する。



2号機基礎掘削剖面



1号機基礎掘削剖面

凡 例

	安山岩(均質)
	安山岩(角礫質)
	凝灰角礫岩
	安山岩礫
	シ ー ※1
	節 理
	変 質 部
	凝灰質な細粒部 ※2

※1 スケッチ時の記載用語。「粘土状破砕部」に対応する。

※2 スケッチ時の記載用語。「固結した粘土・砂状破砕部」に対応する。

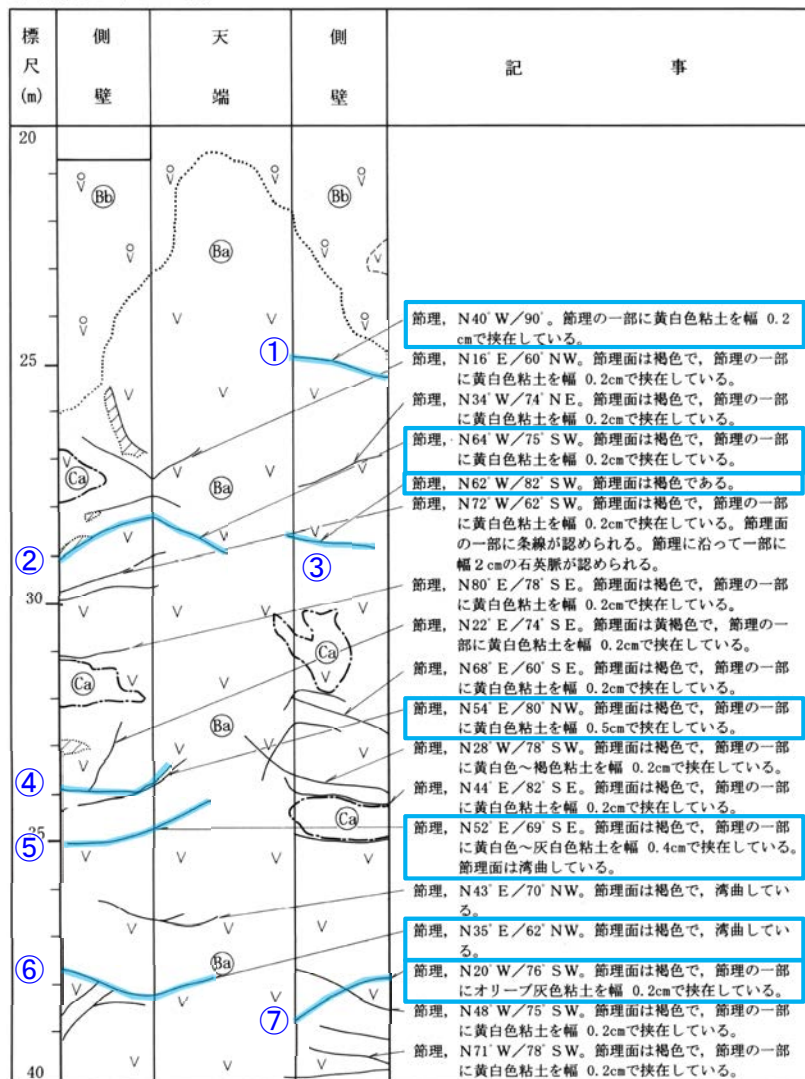
○番号: 試掘坑と基礎掘削面に対応が確認できた破砕部

赤字は長さ50m以上のもの

青字は長さ50m未満のもの

試掘坑調査結果(2号炉試掘坑A)

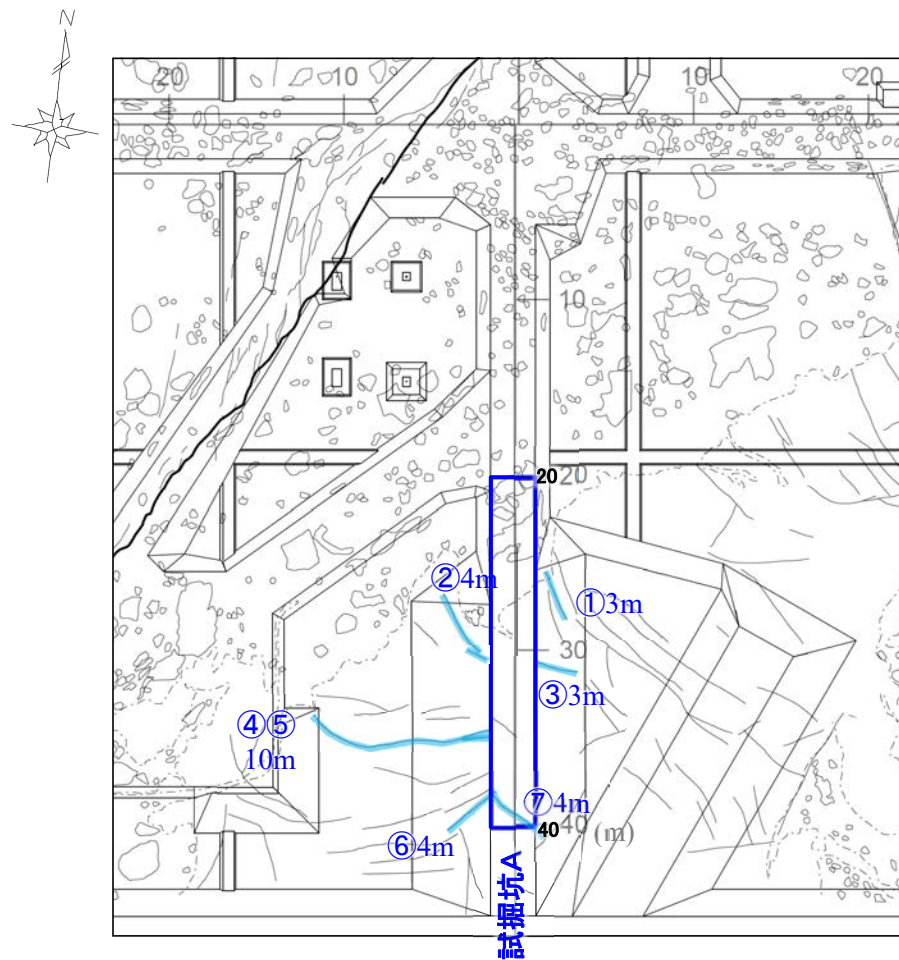
試掘坑A (4の2)



試掘坑展開図

番号	破砕部の幅	備考
①	0.2cm	記事欄に記載の黄白色などの粘土は、スケッチ時の記載用語。「粘土状破砕部」に対応する。なお、周辺には固結した粘土・砂状破砕部に対応する記載はない。
②	0.2cm	
③	0cm	
④	0.5cm	
⑤	0.4cm	
⑥	0cm	
⑦	0.2cm	

基礎掘削面調査結果(2号機)



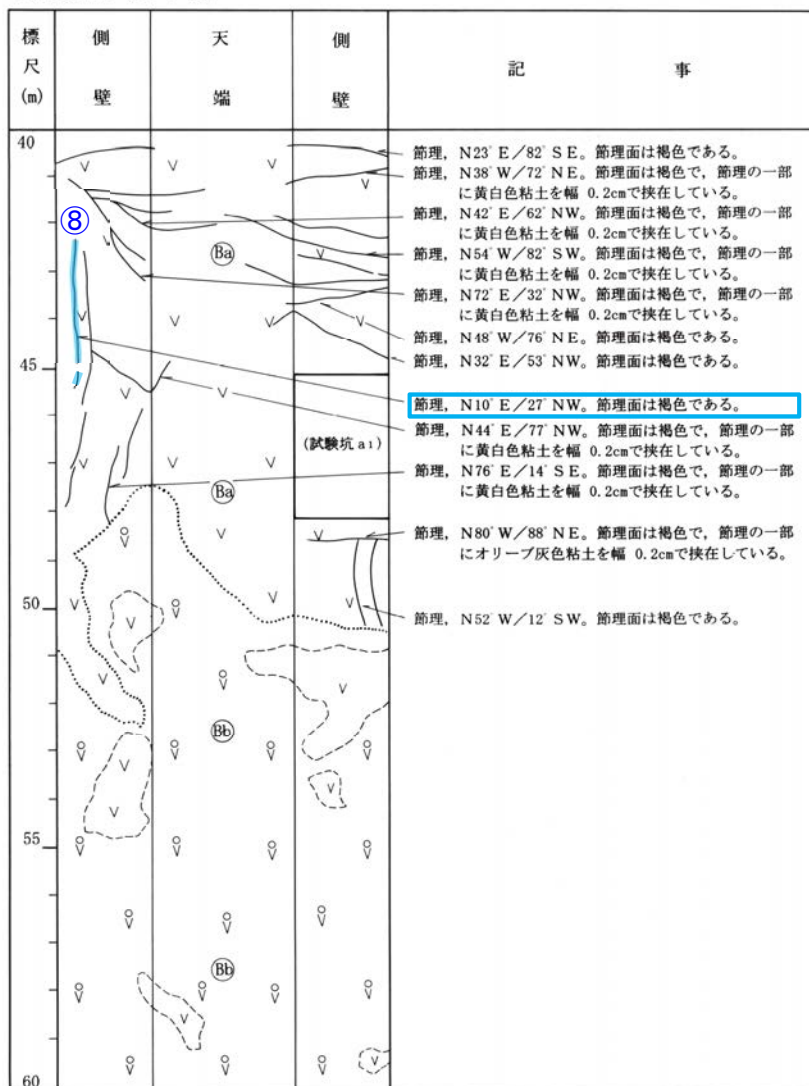
基礎掘削面スケッチ(2号機)

番号	破砕部の長さ	備考
①	3m	基礎掘削面スケッチ上の長さ
②	4m	
③	3m	
④	10m	
⑤	10m	
⑥	4m	
⑦	4m	

試掘坑調査結果 (2号炉試掘坑A)

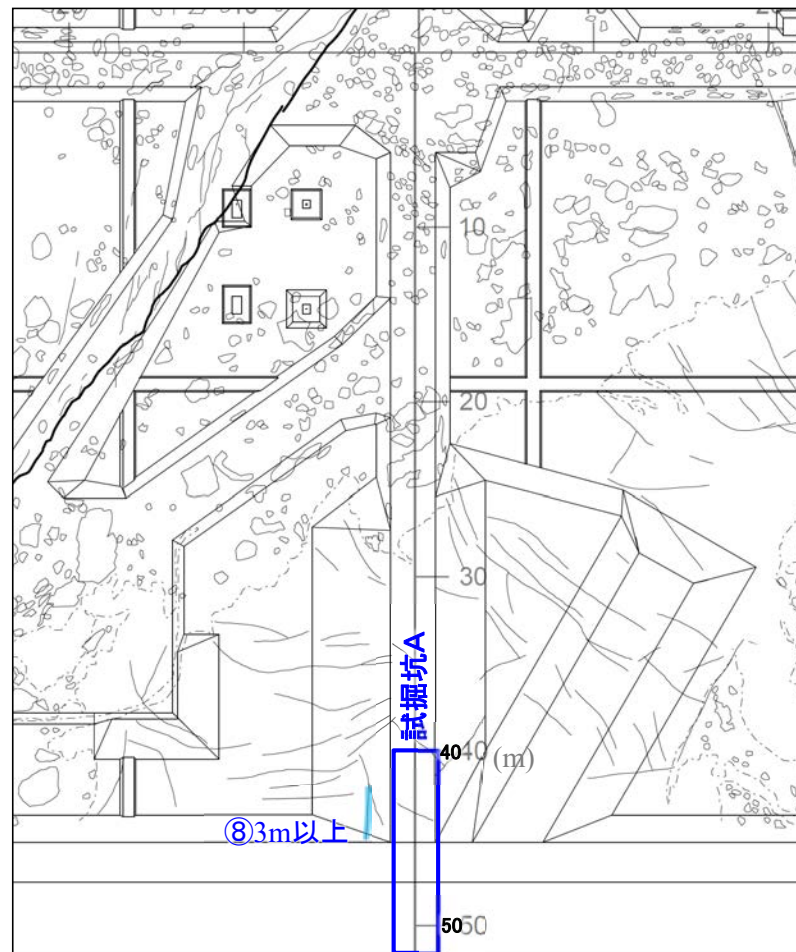
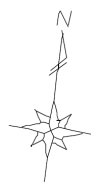
基礎掘削面調査結果 (2号機)

試掘坑A (4の3)



試掘坑展開図

番号	破碎部の幅	備考
⑧	0cm	記事欄に粘土状破碎部や固結した粘土・砂状破碎部に対応する記載はない。



左展開図範囲



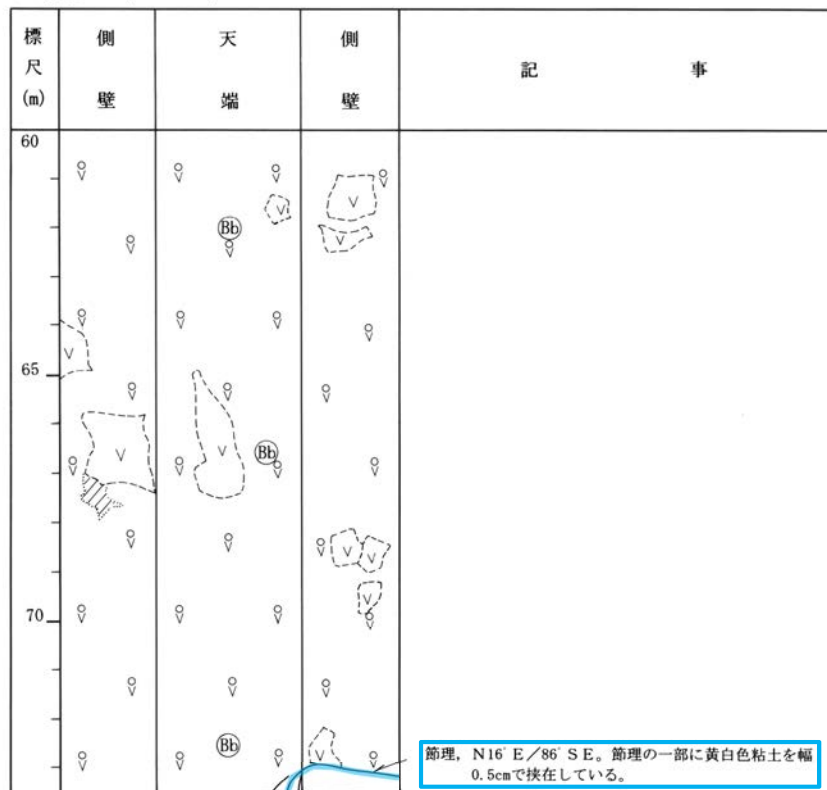
基礎掘削面スケッチ(2号機)

番号	破碎部の長さ	備考
⑧	3m以上	基礎掘削面スケッチ上の長さ

試掘坑調査結果 (2号炉試掘坑A)

基礎掘削面調査結果 (1号機)

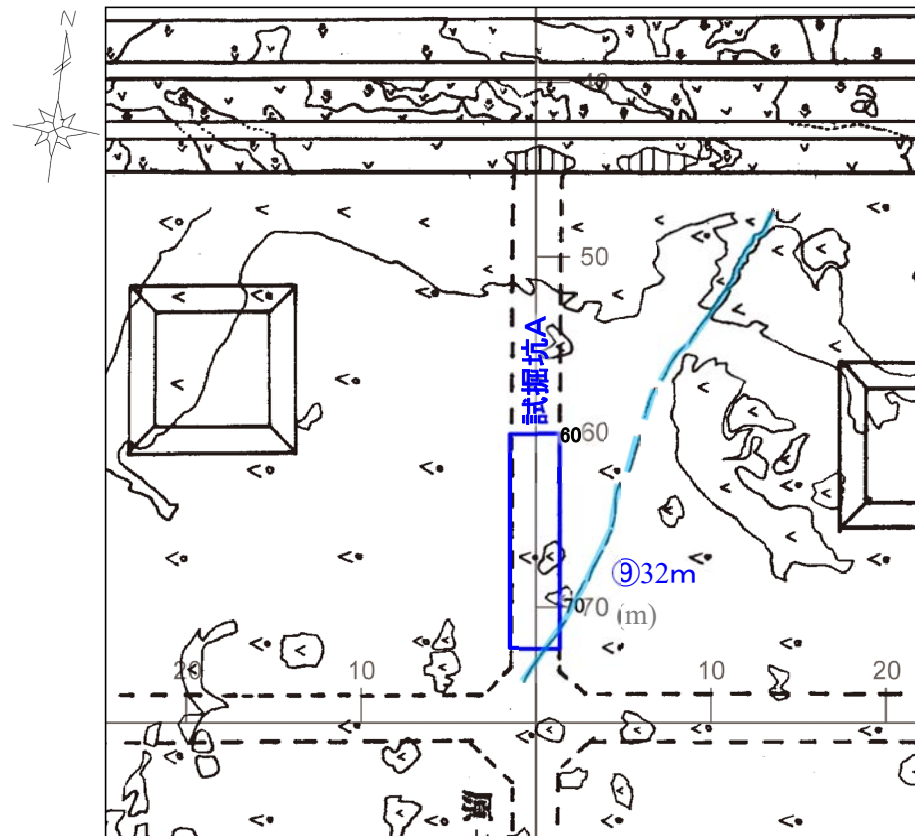
試掘坑A (4の4)



⑨

試掘坑展開図

番号	破碎部の幅	備考
⑨	0.5cm	記事欄に記載の黄白色粘土は、スケッチ時の記載用語。「粘土状破碎部」に対応する。なお、周辺には固結した粘土・砂状破碎部に対応する記載はない。



左展開図範囲

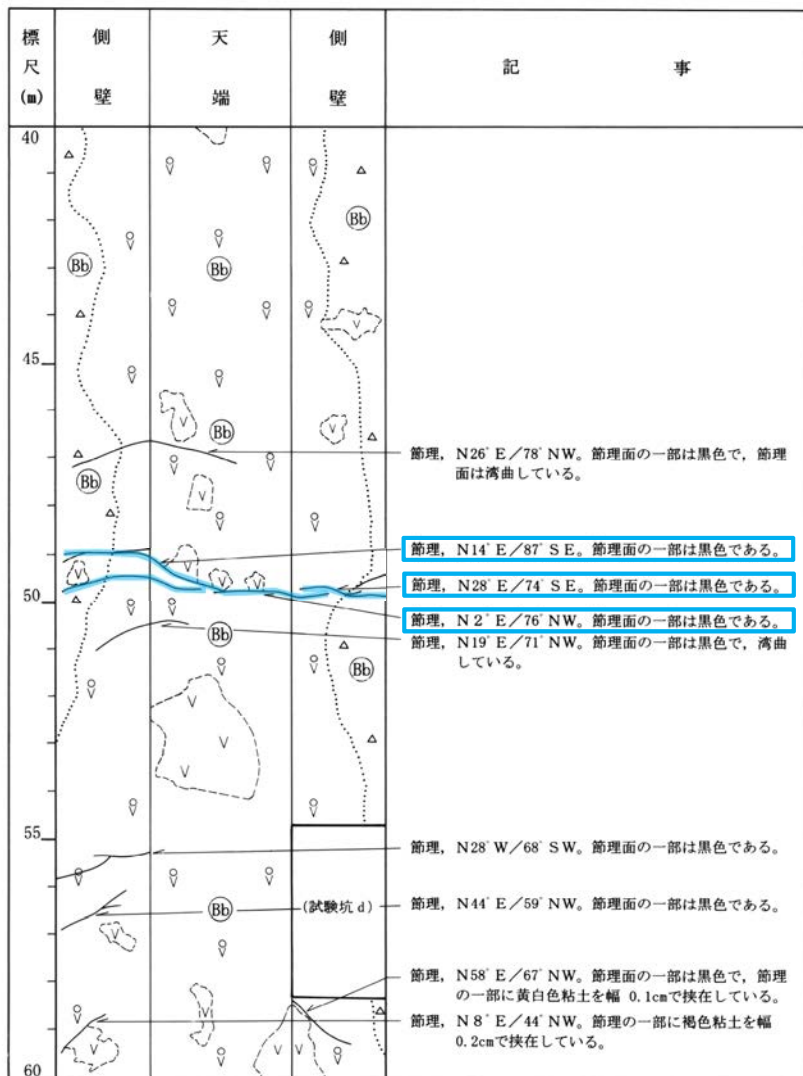
基礎掘削面スケッチ(1号機)

番号	破碎部の長さ	備考
⑨	32m	基礎掘削面スケッチ上の長さ

試掘坑調査結果 (2号炉試掘坑E)

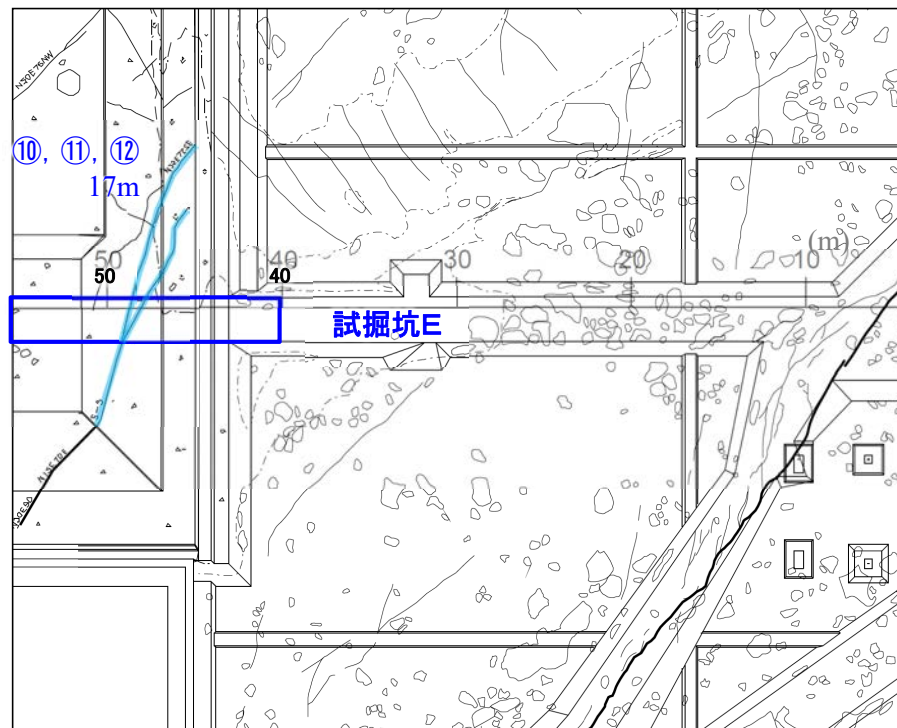
基礎掘削面調査結果 (2号機)

試掘坑E (4の3)



試掘坑展開図

番号	破碎部の幅	備考
⑩	0cm	記事欄に粘土状破碎部や固結した粘土・砂状破碎部に対応する記載はない。
⑪	0cm	
⑫	0cm	



試掘坑E



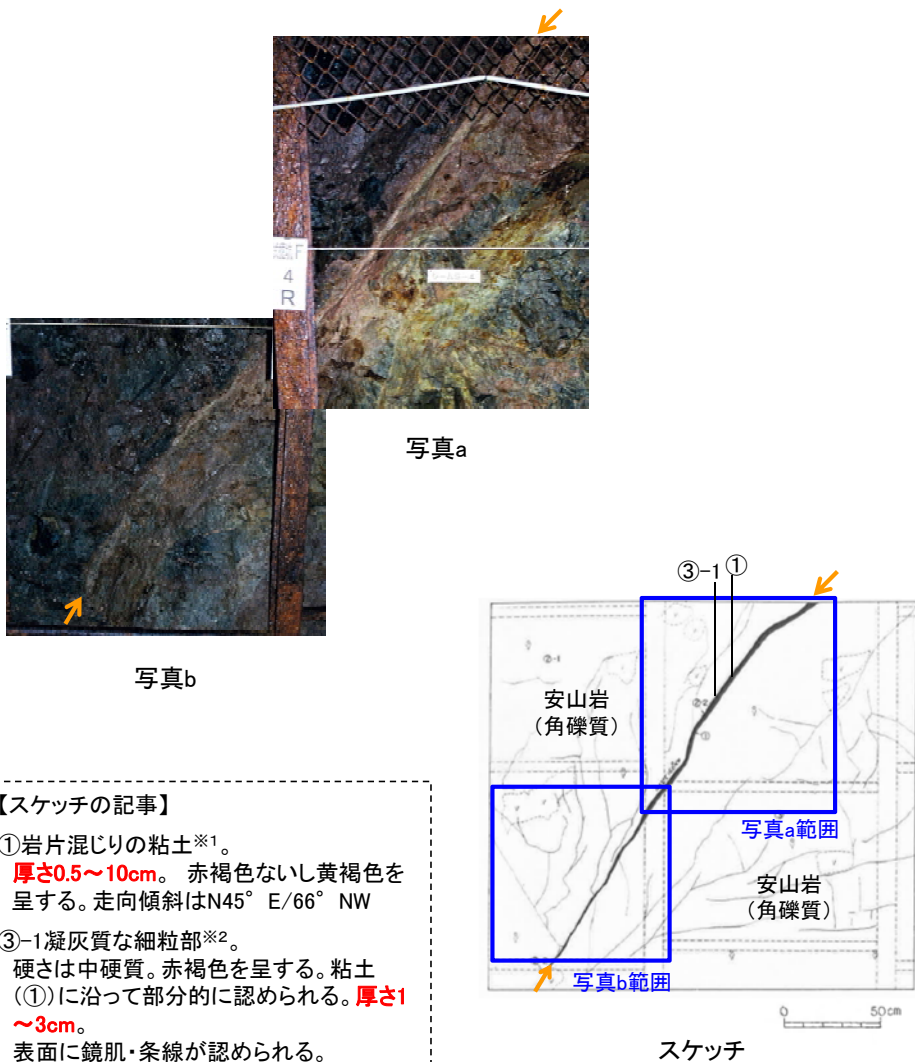
左展開図範囲



基礎掘削面スケッチ(2号機)

番号	破碎部の長さ	備考
⑩	17m	基礎掘削面スケッチ上の長さ
⑪	17m	
⑫	17m	

試掘坑調査結果 (2号炉試掘坑F 5~7m付近)(東側側壁)



【スケッチの記事】

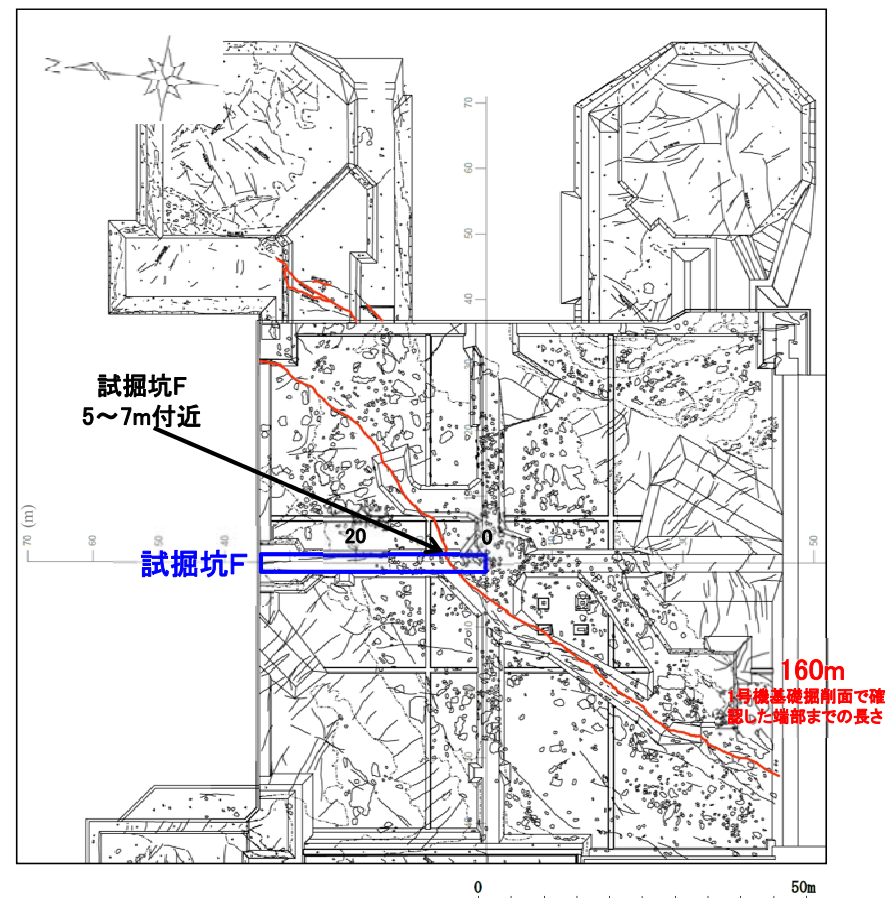
- ① 岩片混じりの粘土※1。
厚さ0.5~10cm。赤褐色ないし黄褐色を呈する。走向傾斜はN45° E/66° NW
- ③-1 凝灰質な細粒部※2。
硬さは中硬質。赤褐色を呈する。粘土(①)に沿って部分的に認められる。厚さ1~3cm。
表面に鏡肌・条線が認められる。

※1 スケッチ時の記載用語。「粘土状破砕部」に対応する。

※2 スケッチ時の記載用語。「固結した粘土・砂状破砕部」に対応する。

この事例における破砕部の幅は13cm(①+③-1)である。

基礎掘削面調査結果 (2号機)



基礎掘削面スケッチ(2号機)

この事例における破砕部の長さは160mである。

試掘坑調査結果
(1号炉試掘坑A 32m付近)(西側側壁)

基礎掘削面調査結果
(1号機)



写真



スケッチ

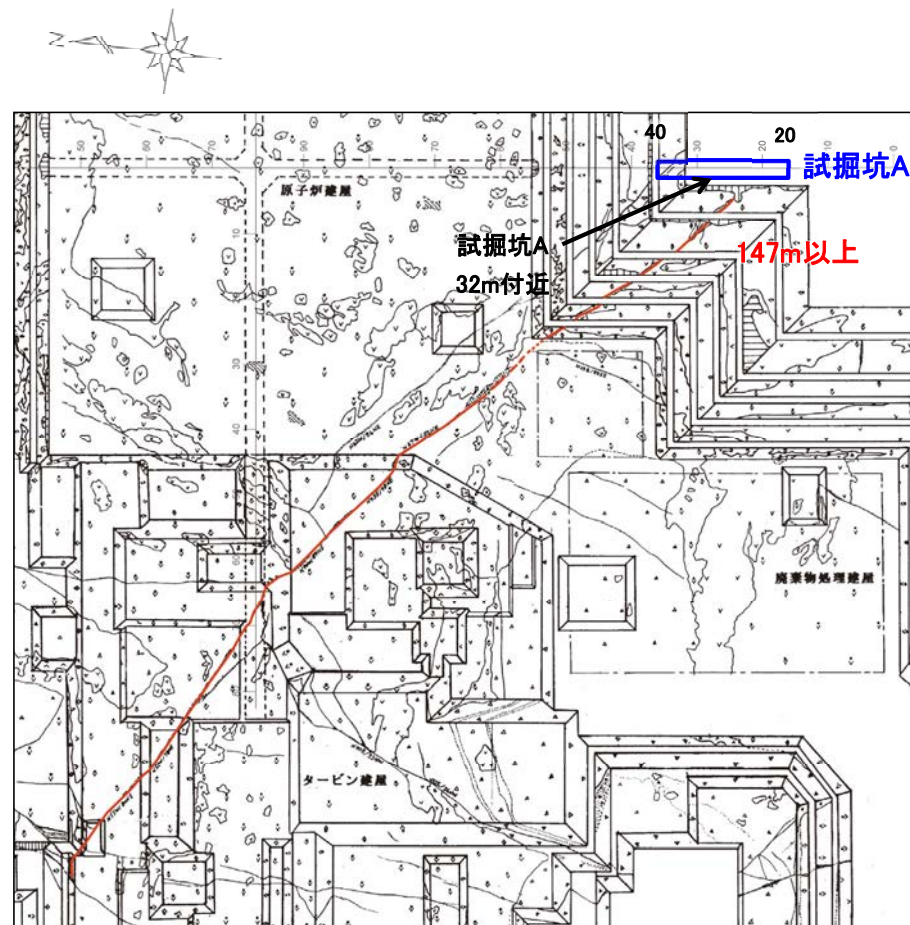
【スケッチの記事】

- ① 岩片混じりの粘土※1。
厚さ0.1~3cm。赤褐色ないし黄褐色を呈する。走向傾斜はN45° W/73° NE
- ③-1 凝灰質な細粒部※2。
硬さは中硬質。赤褐色を呈する。粘土(①)に沿って認められる。厚さ1~2cm。表面に鏡肌が認められる。

※1 スケッチ時の記載用語。「粘土状破砕部」に対応する。

※2 スケッチ時の記載用語。「固結した粘土・砂状破砕部」に対応する。

この事例における破砕部の幅は5cm(①+③-1)である。



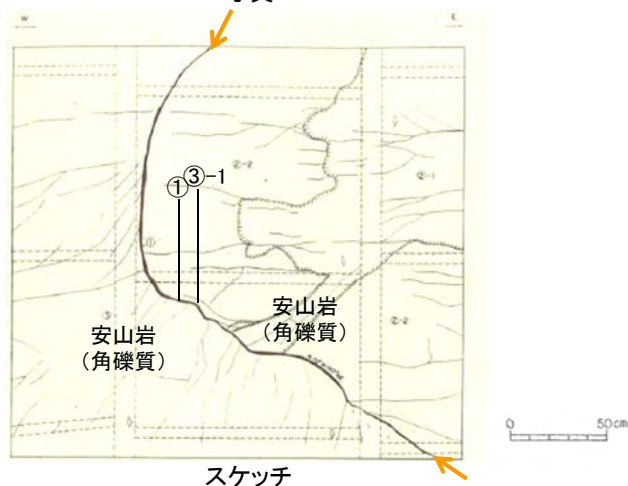
基礎掘削面スケッチ(1号機)

この事例における破砕部の長さは147m以上である。

試掘坑調査結果
(1号炉試掘坑C 68~70m付近)(北側側壁)



写真



スケッチ

【スケッチの記事】

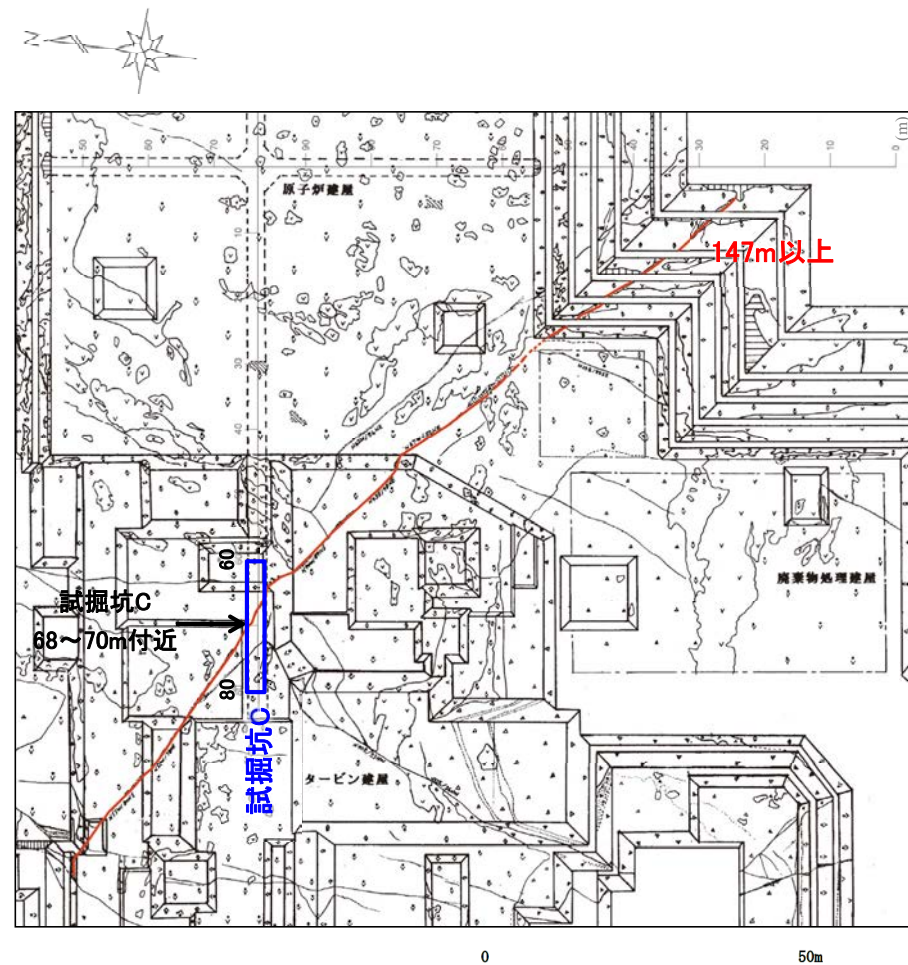
- ① 岩片混じりの粘土※¹。
厚さ0.1~3cm。赤褐色ないし黄褐色を呈する。走向傾斜はN70° W/80° NE。
- ③-1 凝灰質な細粒部※²。
硬さは中硬質。赤褐色を呈する。粘土(①)に沿って認められる。厚さ1~2cm。
表面に鏡肌・条線が認められる。

※¹ スケッチ時の記載用語。「粘土状破碎部」に対応する。

※² スケッチ時の記載用語。「固結した粘土・砂状破碎部」に対応する。

この事例における破碎部の幅は5cm(①+③-1)である。

基礎掘削面調査結果
(1号機)



基礎掘削面スケッチ(1号機)

この事例における破碎部の長さは147m以上である。

試掘坑調査結果
(1号炉試掘坑C 72~73m付近)(南側側壁)



写真



スケッチ

【スケッチの記事】

① 岩片混じりの粘土※1。

厚さ0.5~2cm。赤褐色を呈する。走向傾斜はN58° E/50° NW。

③-1 凝灰質な細粒部※2。

硬さは中硬質。赤褐色を呈する。粘土(①)に沿って認められる。厚さ1~10cm。

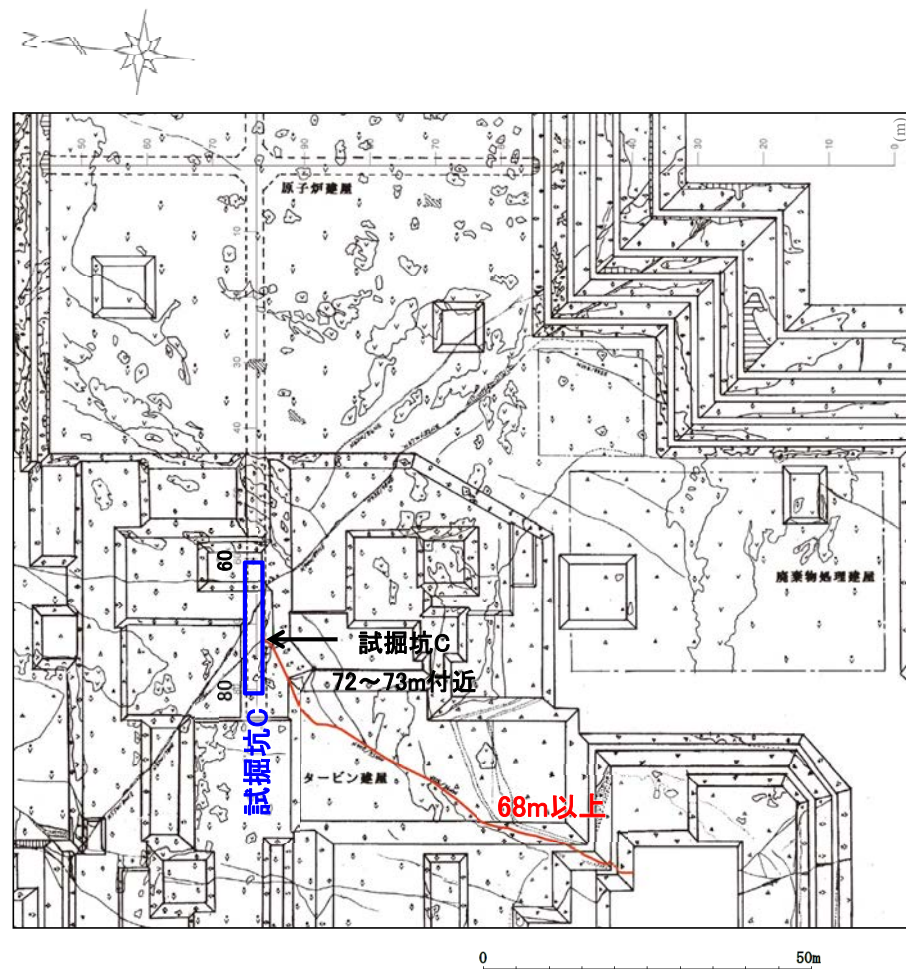
表面に鏡肌・条線が認められる。

※1 スケッチ時の記載用語。「粘土状破砕部」に対応する。

※2 スケッチ時の記載用語。「固結した粘土・砂状破砕部」に対応する。

この事例における破砕部の幅は12cm(①+③-1)である。

基礎掘削面調査結果
(1号機)



基礎掘削面スケッチ(1号機)

この事例における破砕部の長さは68m以上である。

試掘坑調査結果
(1号炉試験坑d)(切羽)



写真



スケッチ

【スケッチの記事】

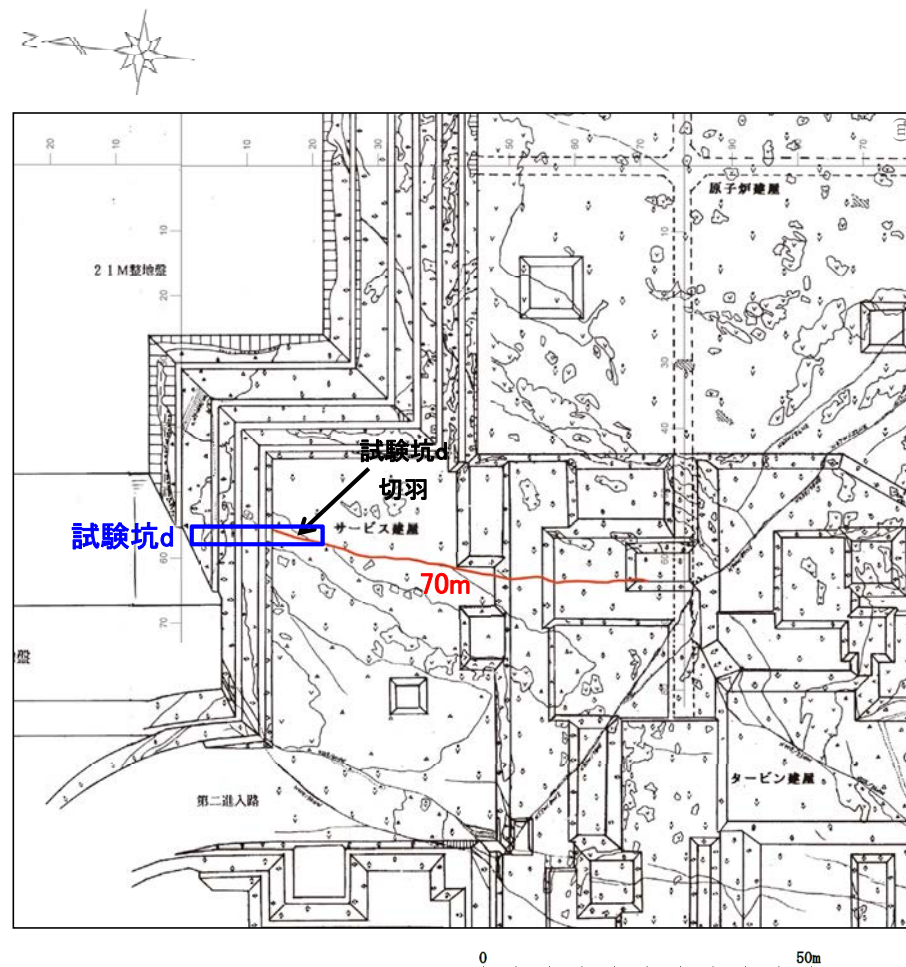
①岩片混じりの粘土※1。

厚さ0.1~3cm。赤褐色ないし黄褐色を呈する。走向傾斜はN15° E/88° NW。

※1 スケッチ時の記載用語。「粘土状破碎部」に対応する。なお、周辺には固結した粘土・砂状破碎部に対応する記載はない。

この事例における破碎部の幅は3cm(①)である。

基礎掘削面調査結果
(1号機)

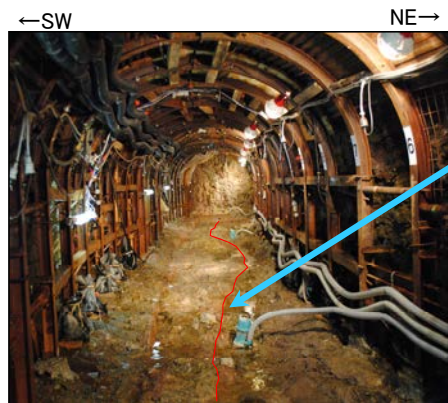


基礎掘削面スケッチ(1号機)

この事例における破碎部の長さは70mである。

岩盤調査坑調査結果

基礎掘削面調査結果 (1号機)

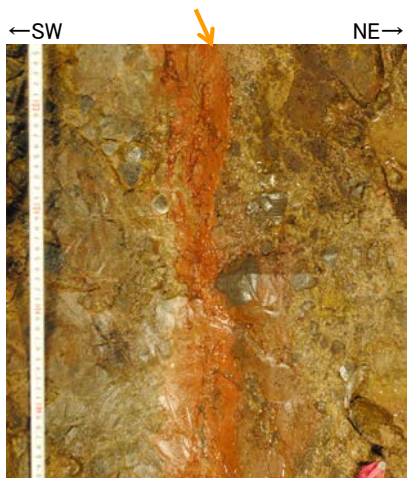


下記写真箇所

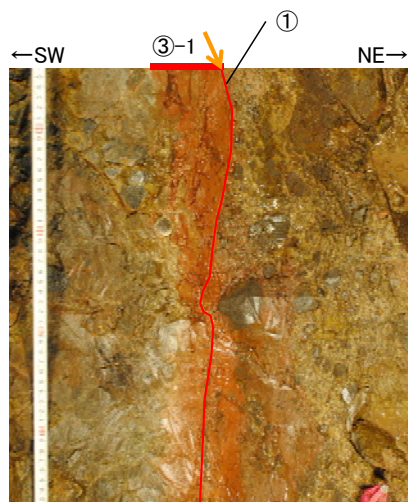
【破碎部の性状】

- ①粘土状破碎部。
厚さはフィルム状~0.5cm。
褐色~赤褐色を呈する。
走向傾斜はN30~75° W/78° NE~80° SW。
- ③-1固結した粘土・砂状破碎部。
硬さは中硬質。赤褐色を呈する。①に沿って部分的に認められる。厚さ0~10cm。

岩盤調査坑写真(全景写真)

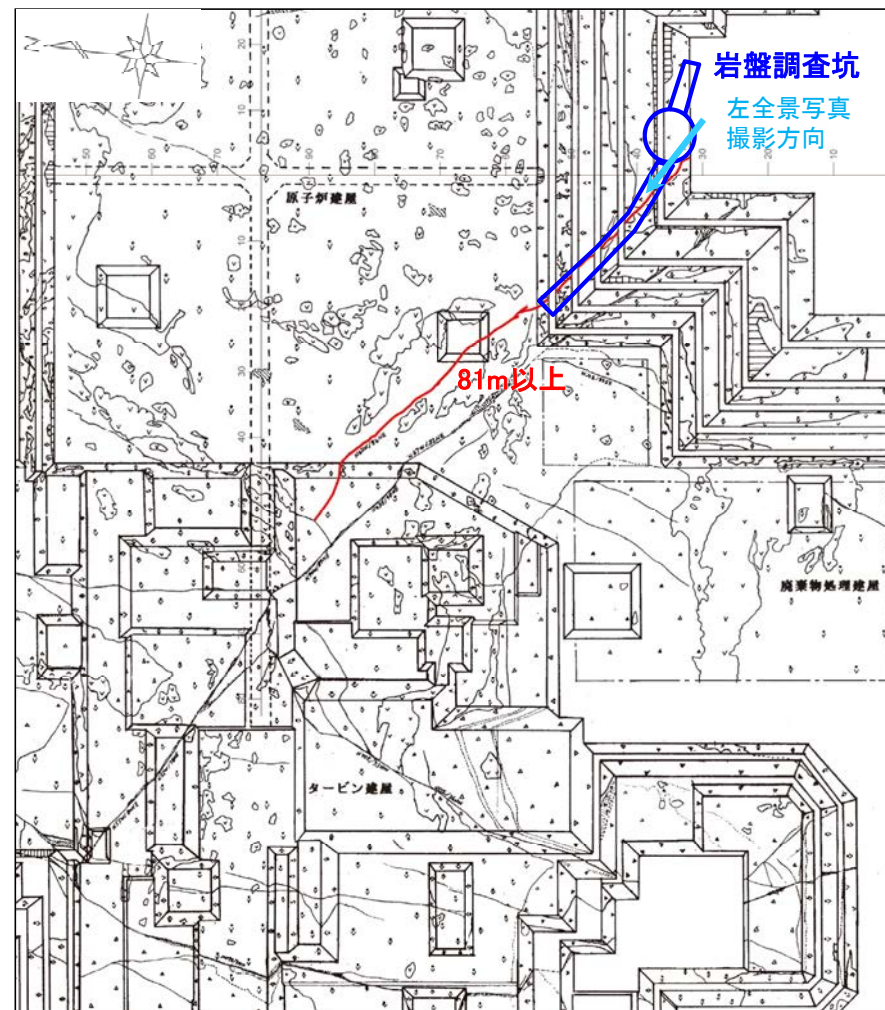


No.7付近底盤写真



No.7付近底盤写真(破碎部加筆)

この事例における破碎部の幅は10cm (①+③-1)である。



基礎掘削面スケッチ(1号機)

この事例における破碎部の長さは81m以上である。

余白

補足資料2. 3-2

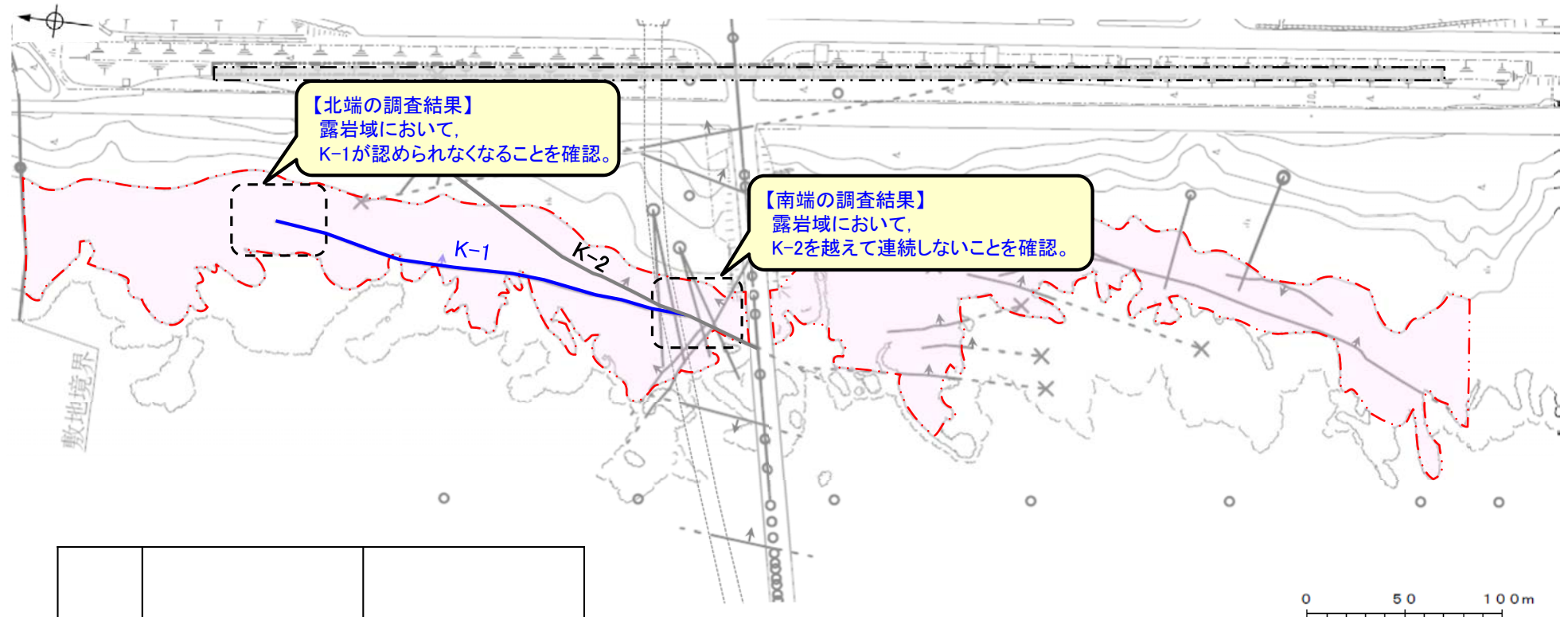
断層端部の調査結果

余白

(11) K-1端部の調査結果

K-1端部の調査結果 一概要

■K-1端部の調査結果の概要を以下に示す。

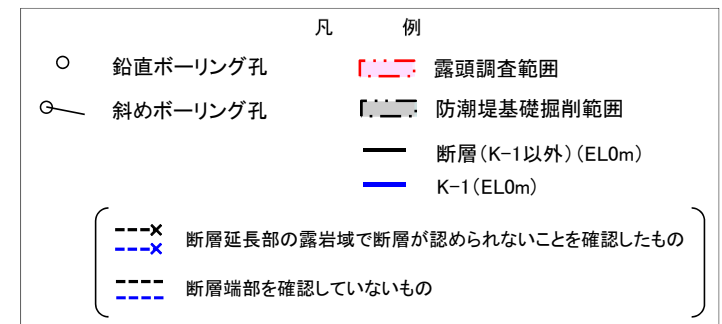


調査位置図

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-1	205m	N4° E / 58° SE*

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値



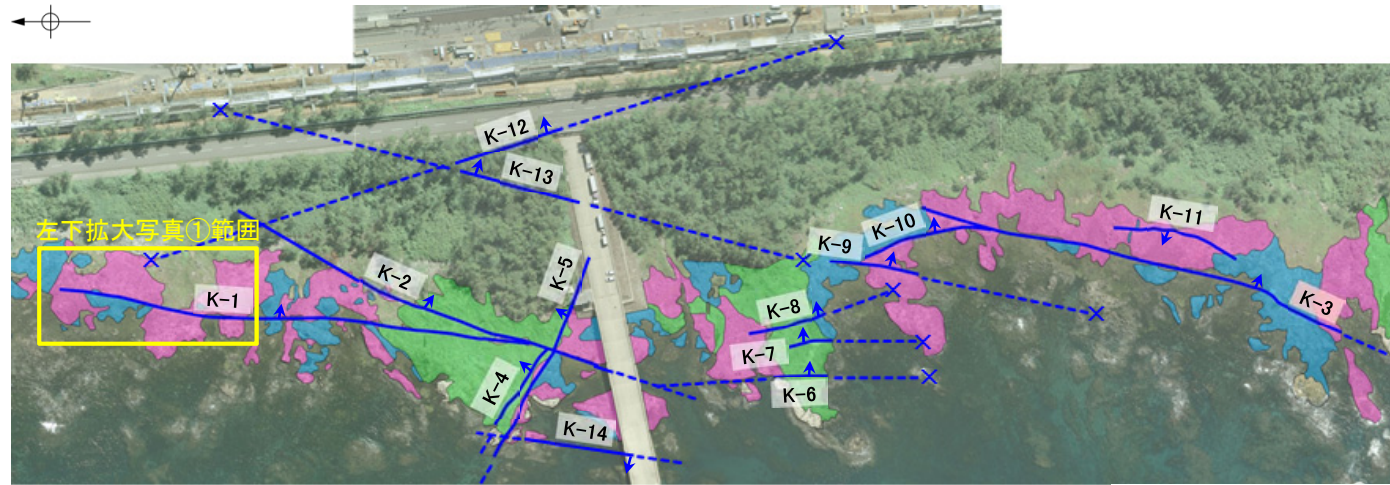
矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

K-1端部の調査結果 —北端：露岩域—

■K-1北端の調査結果を以下に示す。

【K-1北端の調査結果】

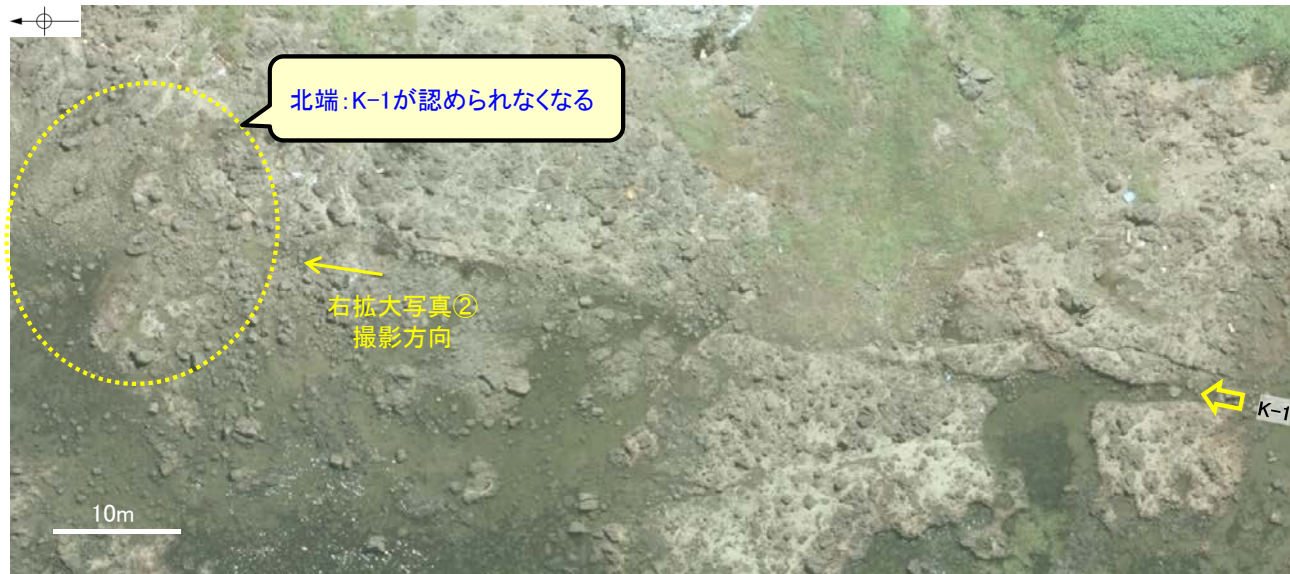
露岩域において、K-1が認められなくなることを確認。



断層分布図(海岸部)

0 50 100m

- 凡例
- 穴水累層 安山岩(均質)
 - 穴水累層 安山岩(角礫質)
 - 穴水累層 凝灰角礫岩
 - 断層(地表面)
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
 - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したものの矢印(➡)の向きは断層の傾斜方向を示す



拡大写真①
K-1の北方付近



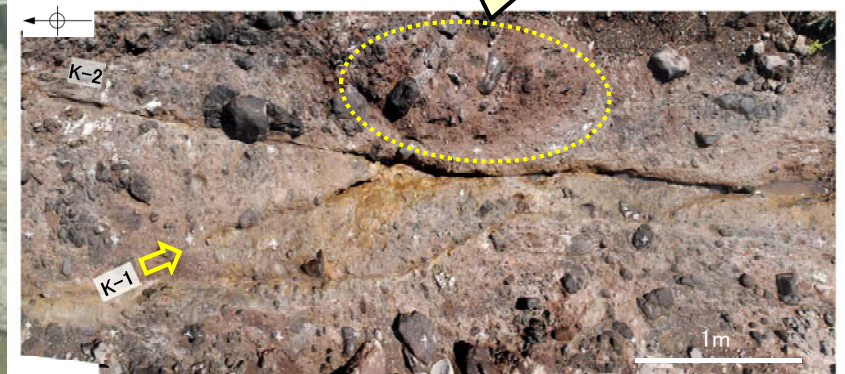
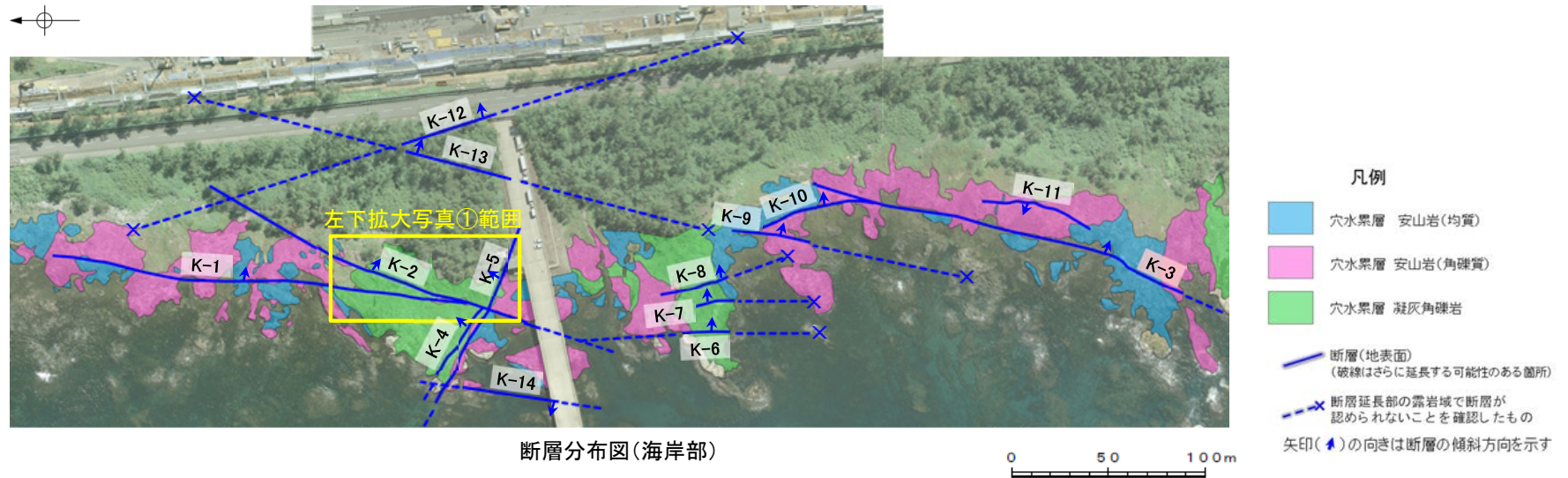
拡大写真②
K-1の北方延長

K-1端部の調査結果 ー南端:露岩域ー

■K-1南端の調査結果を以下に示す。

【K-1南端の調査結果】

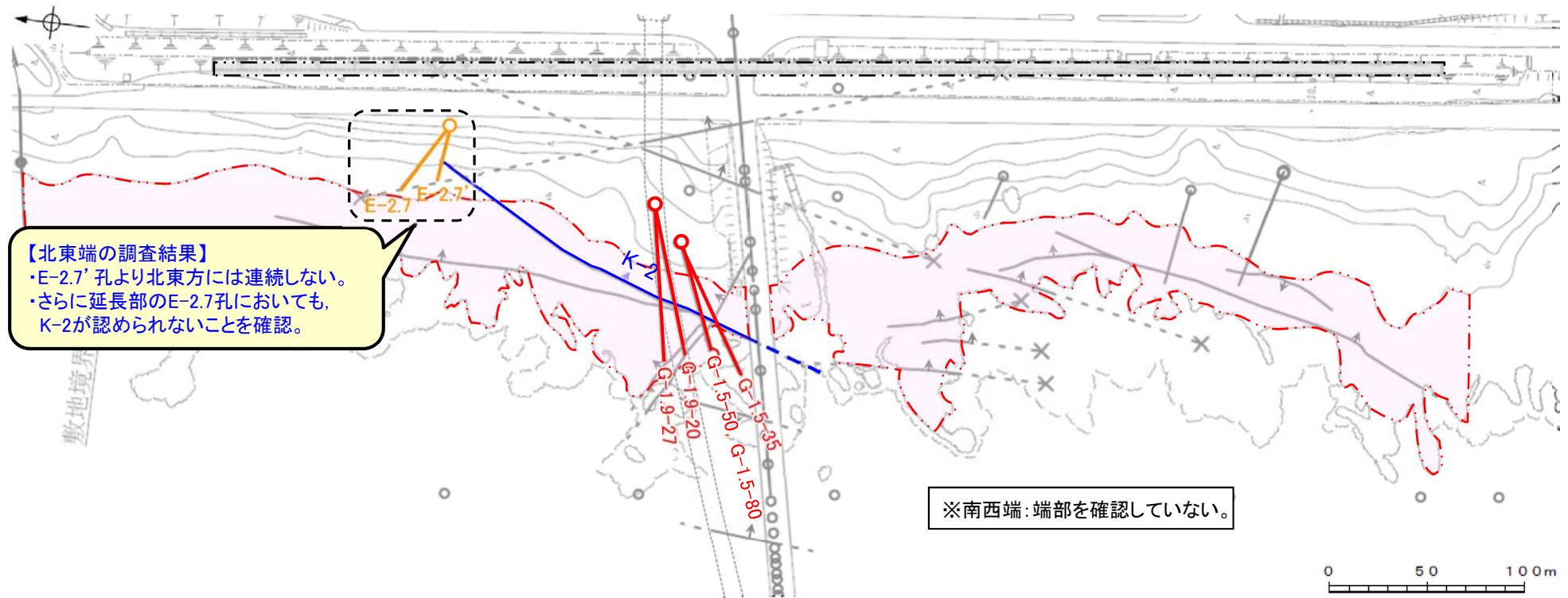
露岩域において、K-1はK-2を越えて連続しないことを確認。



(12) K-2端部の調査結果

K-2端部の調査結果 一概要一

■K-2端部の調査結果の概要を以下に示す。



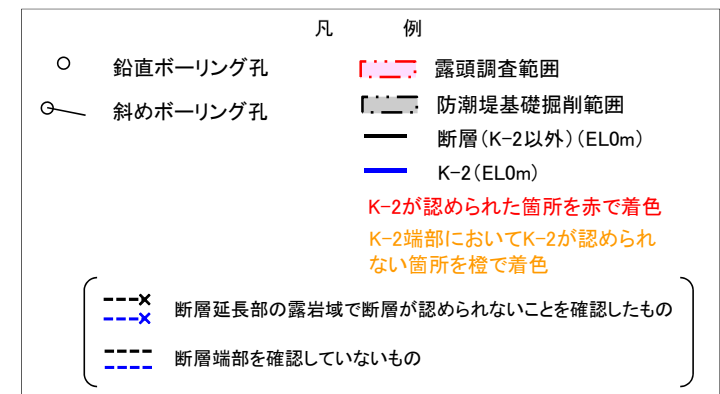
K-2端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北東端	E-2.7' 孔	北東端の止め
	E-2.7孔	さらに延長部の止め

	延長	走向/傾斜
K-2	180m以上	N19°E/72°SE*

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値

調査位置図



矢印(♠)の向きは断層の傾斜方向を示す

K-2端部の調査結果 —北東端:E-2.7' 孔①—

■ K-2北東端の調査結果を以下に示す。

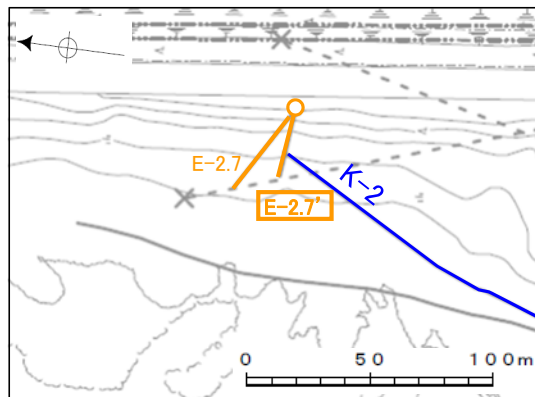
【K-2北東端の調査結果】

- ・K-2は、露岩域において北東方に連続する。
- ・露岩域の北東端で確認したK-2の位置、走向・傾斜を考慮して、北東方への想定延長範囲を設定。
- ・**E-2.7' 孔の想定延長範囲内に、K-2が認められないため、K-2はこれ以上連続しない。**
- ・さらに、延長部のE-2.7'孔においても、K-2が認められないことを確認している。

○北東端の止めとしているE-2.7' 孔の調査結果を以降に示す。

【E-2.7' 孔の調査結果】

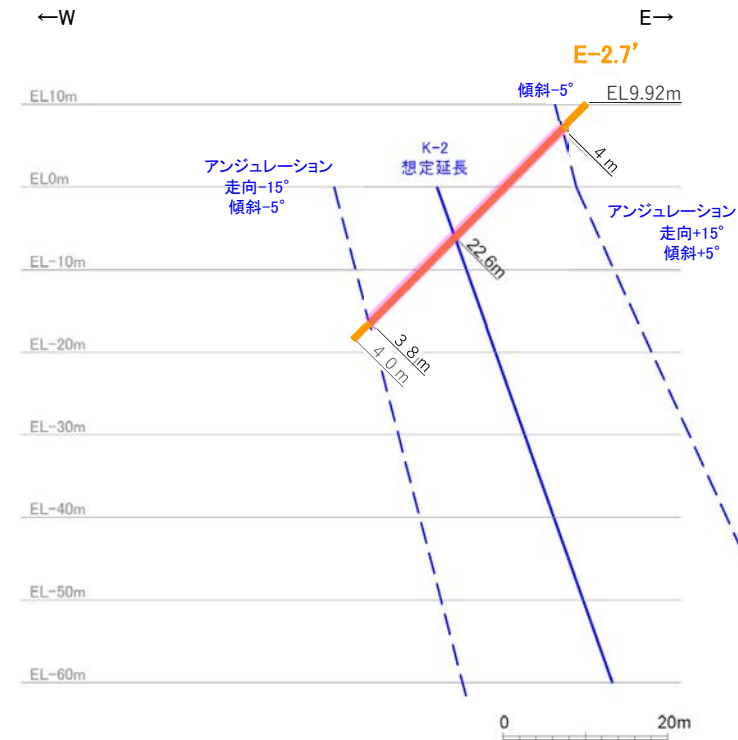
- ・右の断面図に示すとおり、K-2の想定延長範囲は、深度4～38mとなる。
- ・想定延長範囲において、K-2は認められない。
- （想定延長範囲のコア写真は次頁参照）



調査位置図

— K-2 (EL0m)

橙: K-2端部においてK-2が認められない箇所



■ K-2の想定延長範囲

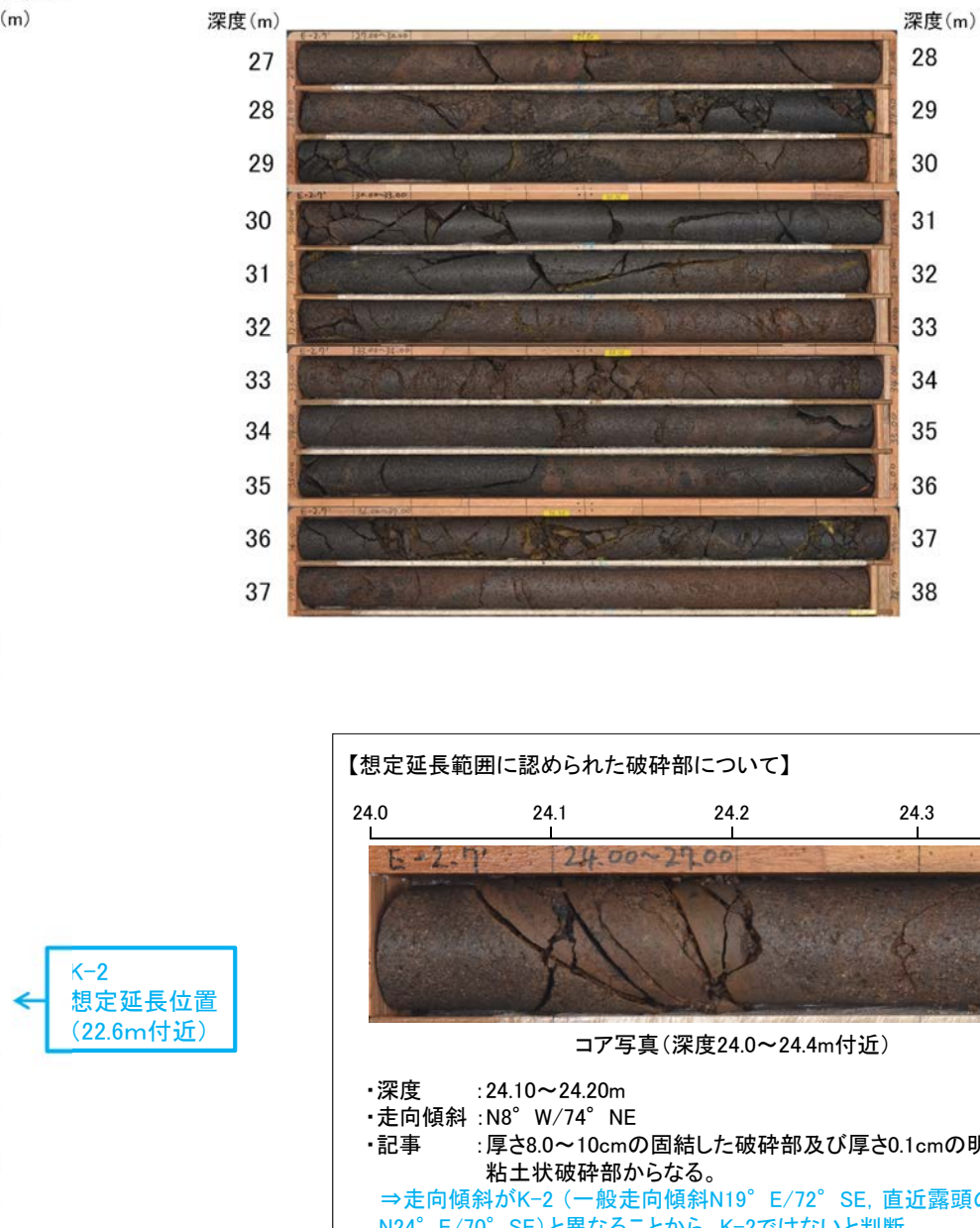
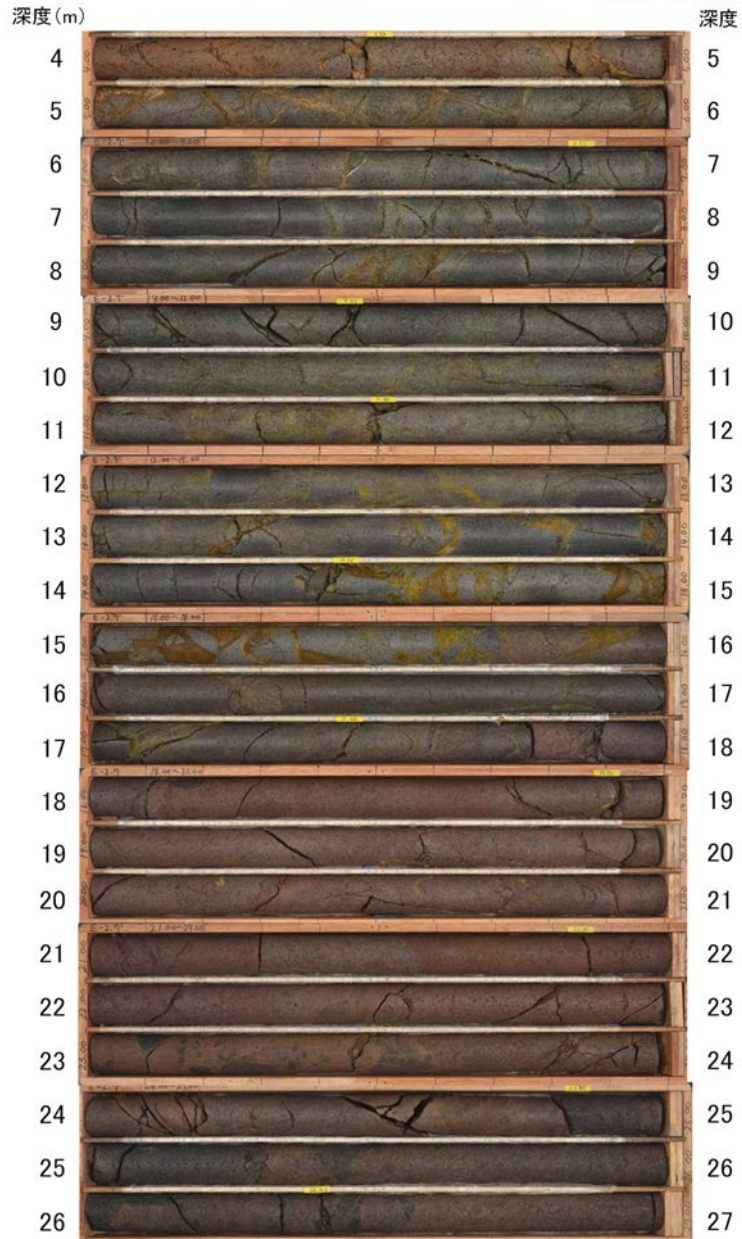
E-2.7' 孔断面図(掘進方向)

K-2端部の調査結果 ー北東端:E-2.7' 孔②ー

・K-2想定延長範囲(深度4~38m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集1 P.10-12-9

E-2.7' 孔(孔口標高9.92m, 掘進長40m, 傾斜45°)



← K-2
想定延長位置
(22.6m付近)

【想定延長範囲に認められた破砕部について】

コア写真(深度24.0~24.4m付近)

- ・深度 : 24.10~24.20m
- ・走向傾斜 : N8° W/74° NE
- ・記事 : 厚さ8.0~10cmの固結した破砕部及び厚さ0.1cmの明褐~褐色の粘土状破砕部からなる。

⇒ 走向傾斜がK-2 (一般走向傾斜N19° E/72° SE, 直近露頭の走向傾斜N24° E/70° SE)と異なることから, K-2ではないと判断。

コア写真(深度4~38m)

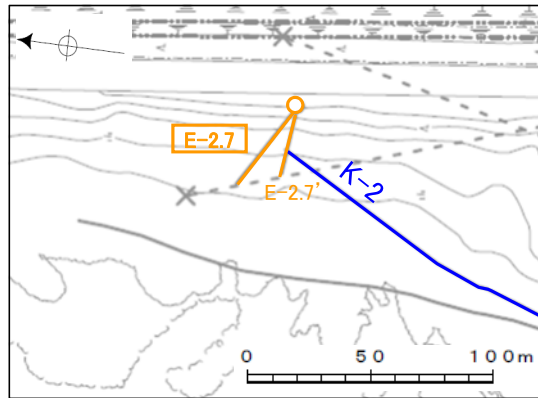
E-2.7' 孔において, K-2の想定延長範囲(深度4~38m)にK-2は認められない。

K-2端部の調査結果 —北東端延長部:E-2.7孔①—

○北東端延長部の調査結果を以降に示す。

【E-2.7孔の調査結果】

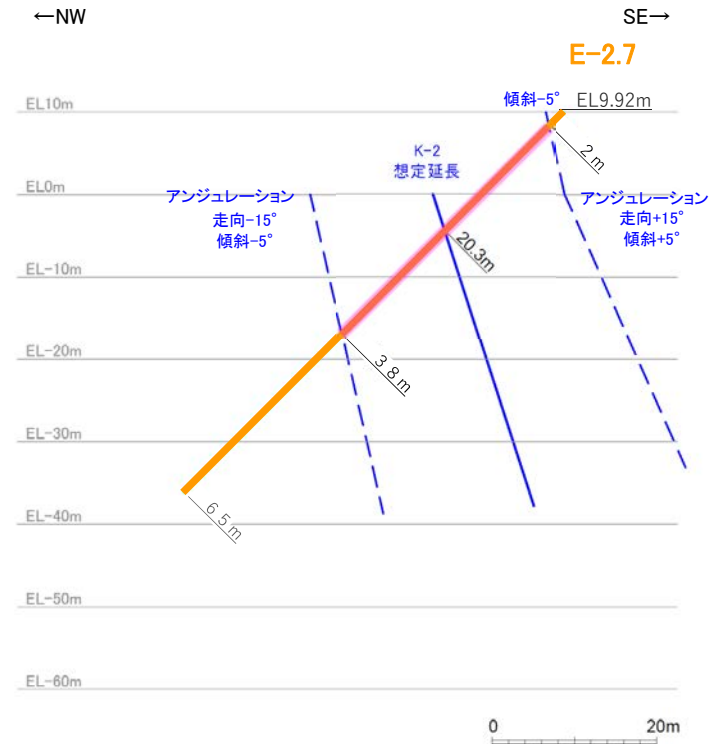
- ・右の断面図に示すとおり、K-2の想定延長範囲は、深度2m～38mとなる。
- ・想定延長範囲において、K-2は認められない。
(想定延長範囲のコア写真は次頁参照)



調査位置図

— K-2 (EL0m)

橙: K-2端部においてK-2が認められない箇所



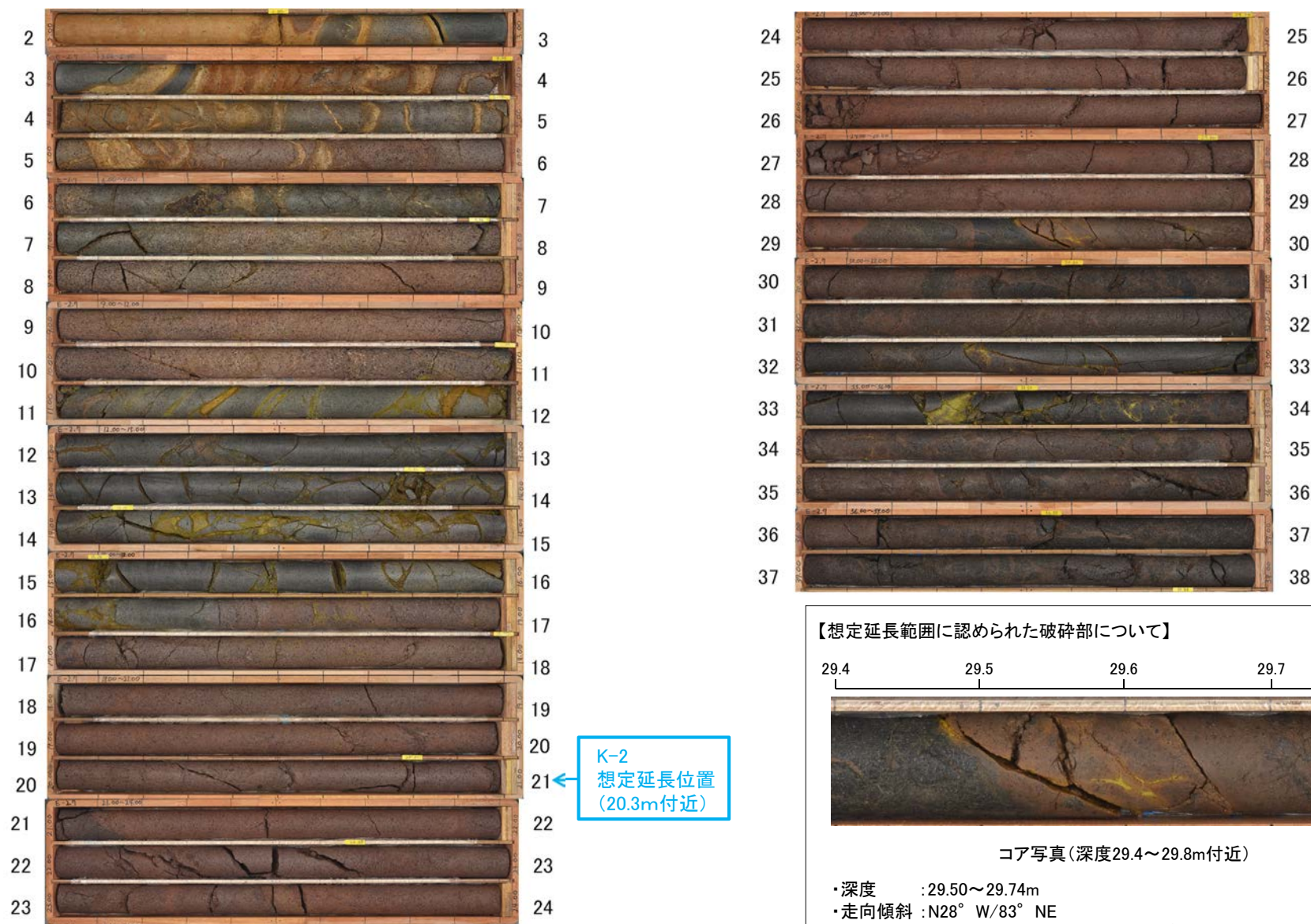
■ K-2の想定延長範囲

E-2.7孔断面図
(掘進方向)

・K-2想定延長範囲(深度2~38m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集1 P.10-12-7~8

E-2.7孔(孔口標高9.92m, 掘進長65m, 傾斜45°)



コア写真(深度2~38m)

【想定延長範囲に認められた破砕部について】

29.4 29.5 29.6 29.7 29.8

コア写真(深度29.4~29.8m付近)

- ・深度 : 29.50~29.74m
- ・走向傾斜 : N28° W/83° NE
- ・記事 : 厚さ12cmの固結した破砕部及び厚さ0.1cmの黄褐色の粘土状破砕部からなる。

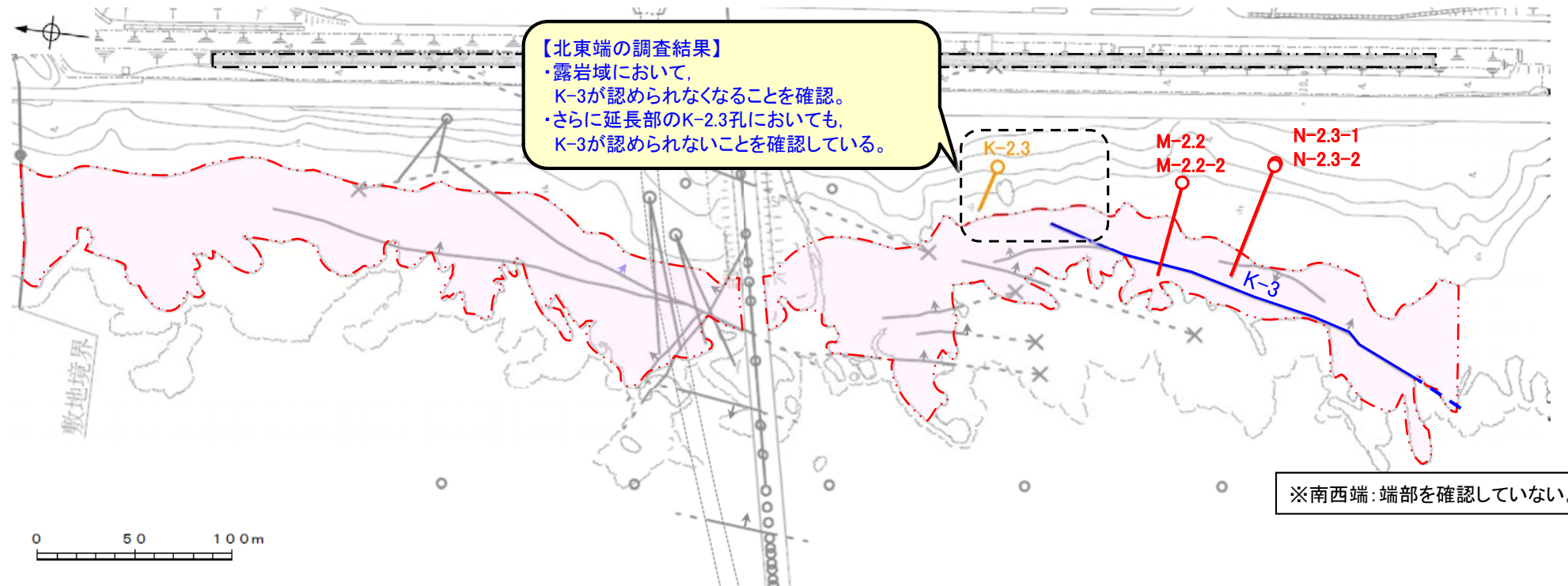
⇒走向傾斜がK-2(一般走向傾斜N19° E/72° SE, 直近露頭の走向傾斜N24° E/70° SE)と異なることから, K-2ではないと判断。

E-2.7孔において, K-2の想定延長範囲(深度2~38m)にK-2は認められない。

(13) K-3端部の調査結果

K-3端部の調査結果 一概要

■K-3端部の調査結果の概要を以下に示す。



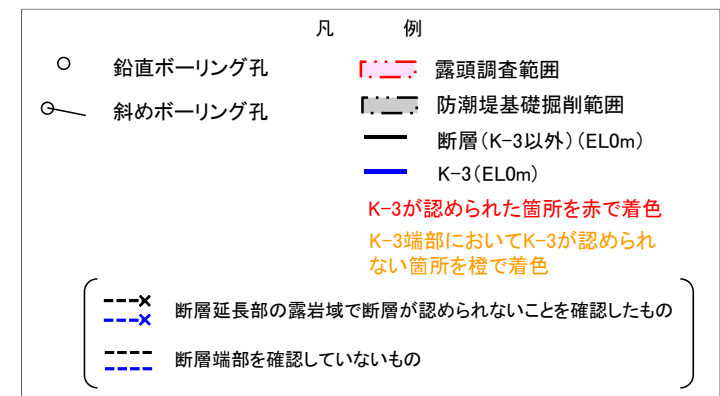
K-3端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北東端	露岩域	北東端の止め
	K-2.3孔	さらに延長部の止め

調査位置図

	延長	走向/傾斜
K-3	200m以上	N16°E/70°SE*

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値



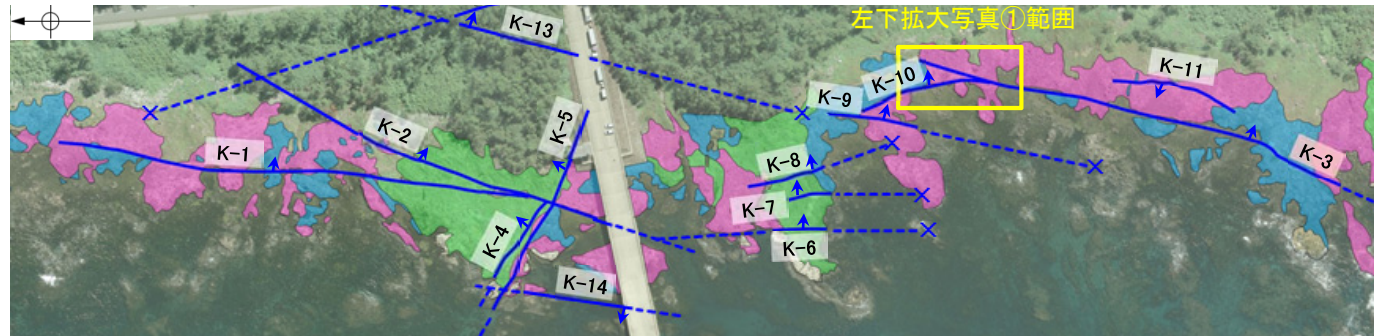
矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

K-3端部の調査結果 —北東端:露岩域—

■K-3北東端の調査結果を以下に示す。

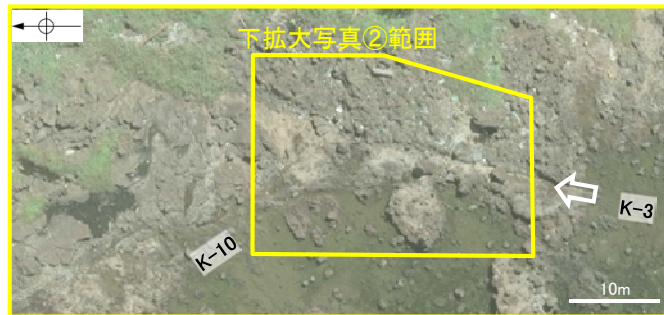
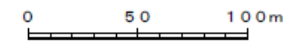
【K-3北東端の調査結果】

- ・露岩域において、K-3が認められなくなることを確認。
- ・さらに、延長部のK-2.3孔においても、K-3が認められないことを確認している。

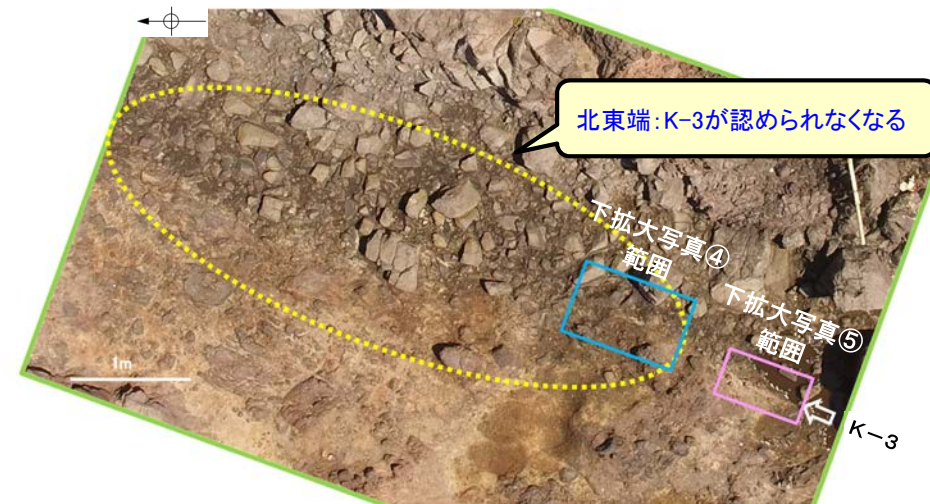


断層分布図(海岸部)

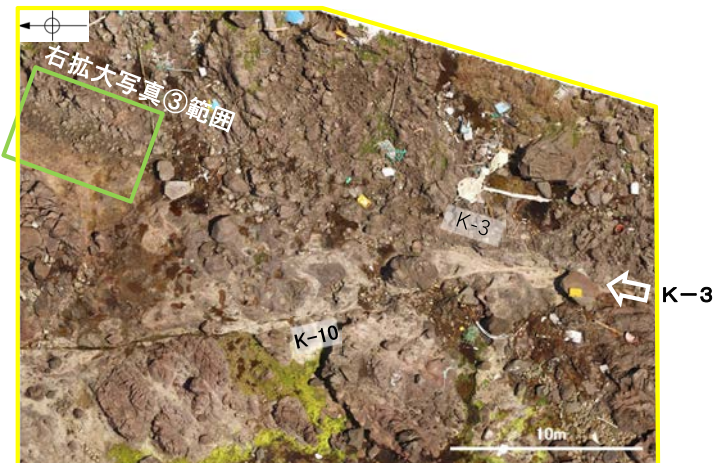
- 凡例
- 穴水累層 安山岩(均質)
 - 穴水累層 安山岩(角礫質)
 - 穴水累層 凝灰角礫岩
 - 断層(地表面)
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
 - x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す



拡大写真①
K-10の北東方付近



拡大写真③



拡大写真②



拡大写真④



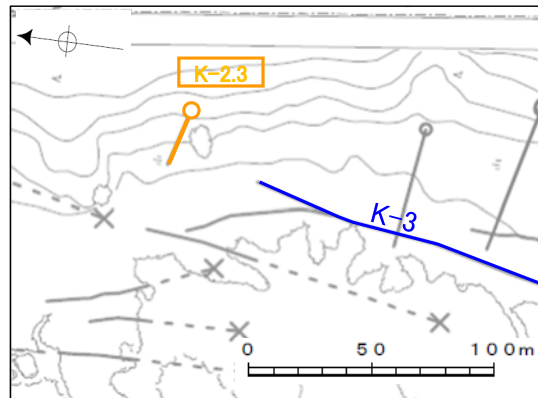
拡大写真⑤

K-3端部の調査結果 —北東端延長部:K-2.3孔①—

○北東端延長部の調査結果を以降に示す。

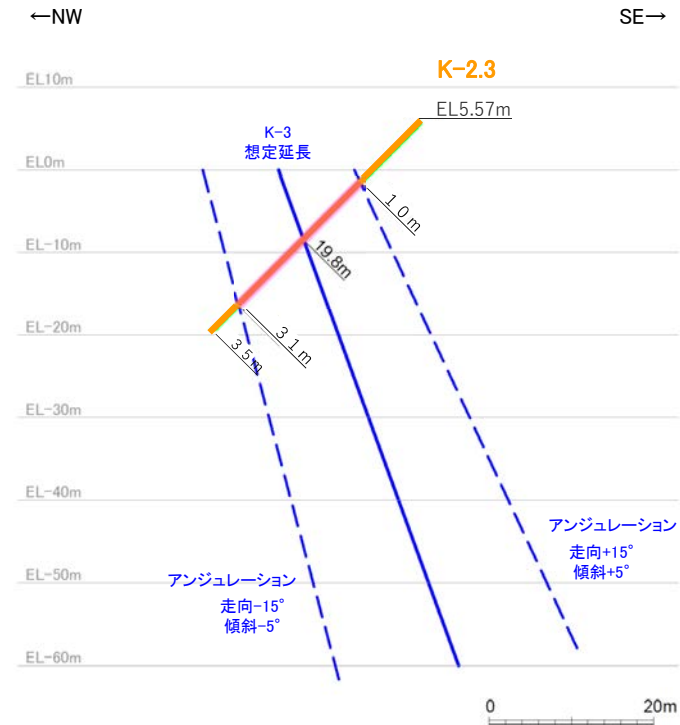
【K-2.3孔の調査結果】

- ・右の断面図に示すとおり、K-3の想定延長範囲は、深度10m～31mとなる。
- ・想定延長範囲において、K-3は認められない。
(想定延長範囲のコア写真は次頁参照)



調査位置図
— K-3(EL0m)

橙: K-3端部においてK-3が認められない箇所



— K-3の想定延長範囲

K-2.3断面図
(掘進方向)

K-3端部の調査結果 —北東端延長部:K-2.3孔②—

・K-3想定延長範囲(深度10~31m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集1 P.10-13-8

K-2.3孔(孔口標高5.57m, 掘進長35m, 傾斜45°)



← K-3
想定延長位置
(19.8m付近)

コア写真(深度10~31m)

【想定延長範囲に認められた破砕部について】

12.6 12.7 12.8 12.9 13.0



コア写真(深度12.6~13.0m付近)

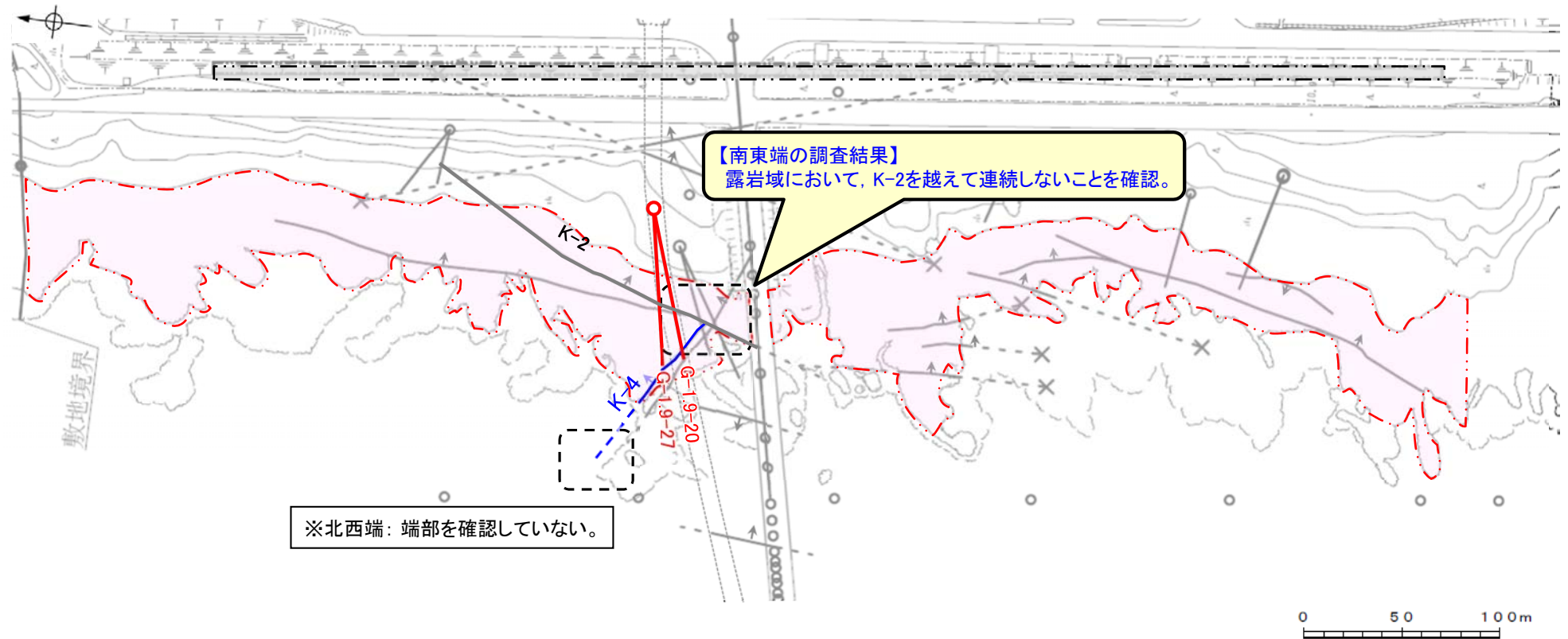
- ・深度 : 12.77~12.83m
- ・走向傾斜 : N28° E/89° NW
- ・記事 : 厚さ4.2~5.0cmの固結した破砕部からなる。
⇒走向傾斜がK-3(一般走向傾斜N16° E/70° SE, 直近露頭の走向傾斜N12° E/74° SE)と異なることから, K-3ではないと判断。

K-2.3孔において, K-3の想定延長範囲(深度10~31m)にK-3は認められない。

(14) K-4端部の調査結果

K-4端部の調査結果 一概要

■K-4端部の調査結果の概要を以下に示す。



調査位置図

K-4端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
南東端	露岩域	南東端の止め

	延長	走向/傾斜
K-4	45m以上	N56° W / 85° NE

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値

凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- 露頭調査範囲
- 防潮堤基礎掘削範囲
- 断層(K-4以外)(EL0m)
- K-4(EL0m)
- K-4が認められた箇所を赤で着色

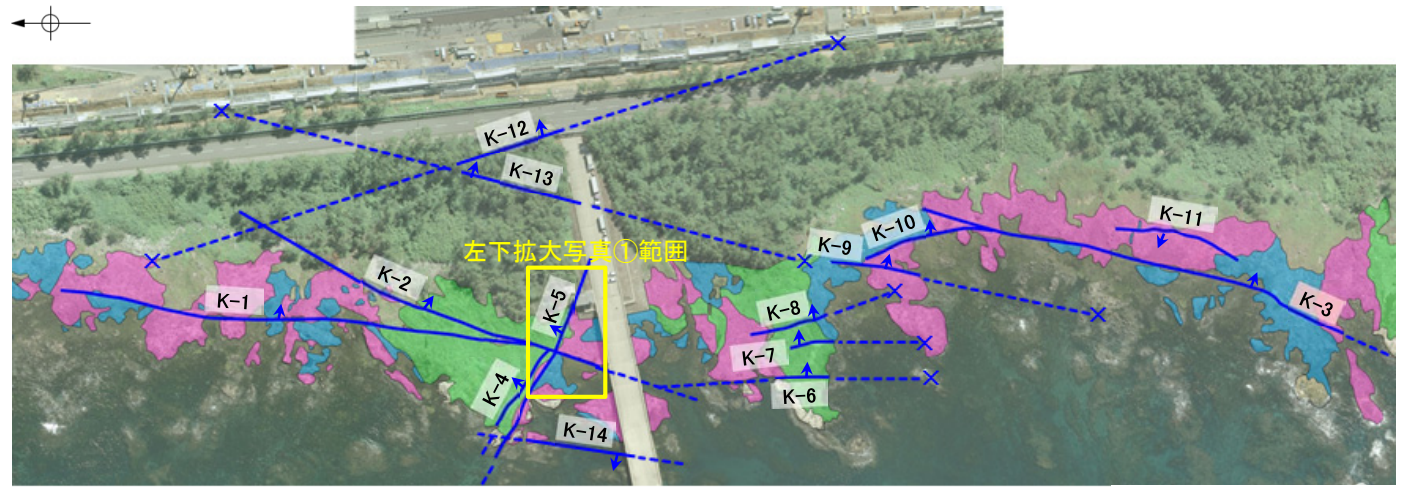
---x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
 ---x 断層端部を確認していないもの

矢印(↑)の向きは断層の傾斜方向を示す

K-4端部の調査結果 ー南東端:露岩域ー

■K-4南東端の調査結果を以下に示す。

【K-4南東端の調査結果】
露岩域において、K-4はK-2を越えて連続しないことを確認。



断層分布図(海岸部)

- 凡例
- 穴水累層 安山岩(均質)
 - 穴水累層 安山岩(角礫質)
 - 穴水累層 凝灰角礫岩
 - 断層(地表面)
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
 - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す



拡大写真①
K-4の南東方付近



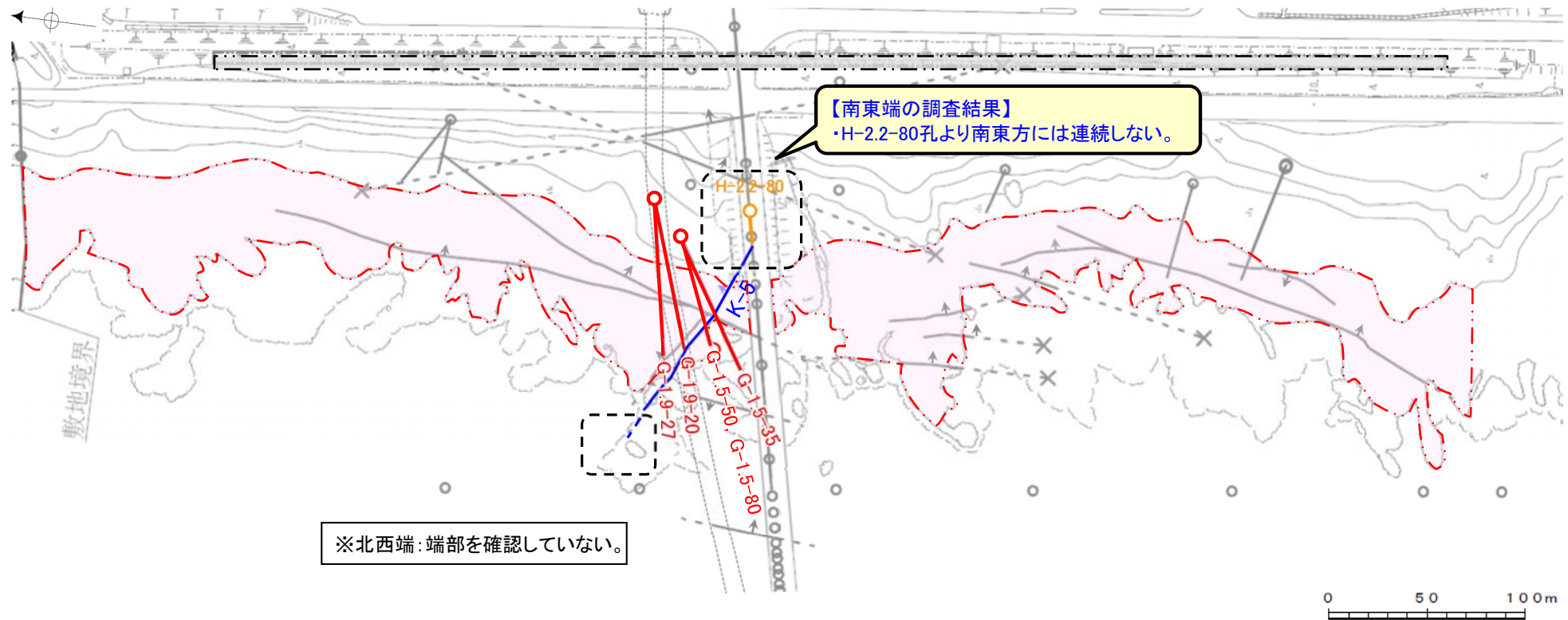
拡大写真②
K-4とK-2の会合部

南東端:K-2を越えて
連続しない

(15) K-5端部の調査結果

K-5端部の調査結果

■K-5端部の調査結果の概要を以下に示す。



調査位置図

K-5端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
南東端	H-2.2-80孔	南東端の止め

	延長	走向/傾斜
K-5	75m以上	N63° W / 64° NE

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値

凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- 露頭調査範囲
- 防潮堤基礎掘削範囲
- 断層(K-5以外)(EL0m)
- K-5(EL0m)
- K-5が認められた箇所を赤で着色
- K-5端部においてK-5が認められない箇所を橙で着色

---x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
--- 断層端部を確認していないもの

矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

K-5端部の調査結果 ー南東端:H-2.2-80孔①ー

■ K-5南東端の調査結果を以下に示す。

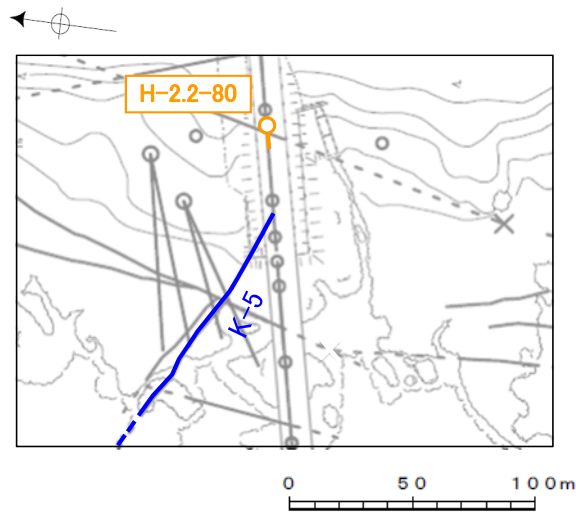
【K-5南東端の調査結果】

- ・K-5は、露岩域において南東方に連続する。
- ・露岩域の南東端で確認したK-5の位置、走向・傾斜を考慮して、南東方への想定延長範囲を設定。
- ・H-2.2-80孔の想定延長範囲内に、K-5が認められないため、K-5はこれ以上連続しない。

○南東端の止めとしているH-2.2-80孔の調査結果を以降に示す。

【H-2.2-80孔の調査結果】

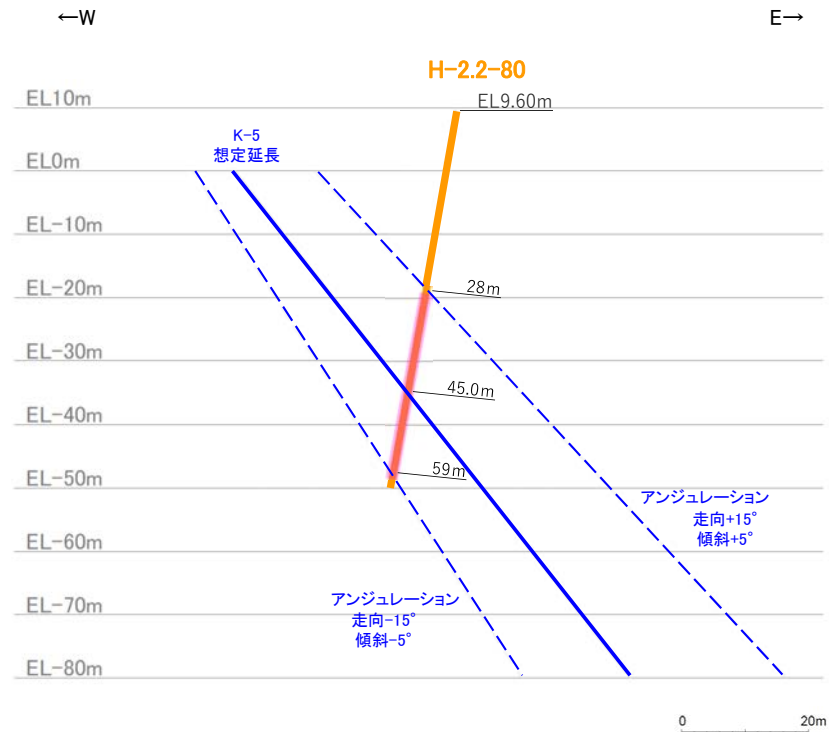
- ・右の断面図に示すとおり、K-5の想定延長範囲は、深度28～59mとなる。
- ・想定延長範囲において、K-5は認められない。
- （想定延長範囲のコア写真は次頁参照）



調査位置図

— K-5 (EL0m)

橙: K-5端部においてK-5が認められない箇所



— K-5の想定延長範囲

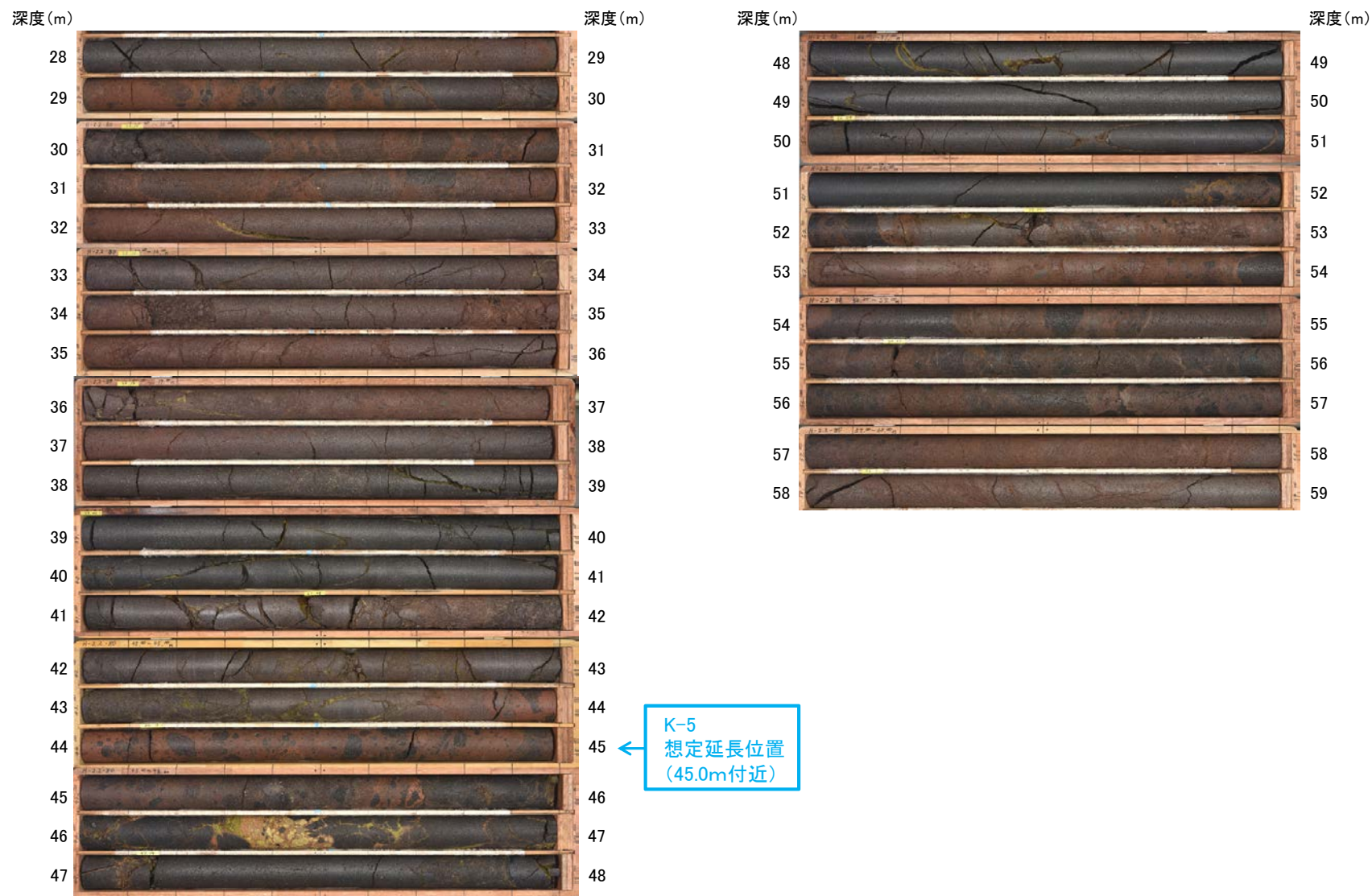
H-2.2-80孔断面図(掘進方向)

K-5端部の調査結果 ー南東端:H-2.2-80孔②ー

・K-5想定延長範囲(深度28～59m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集1 P.10-17-18～19

H-2.2-80孔(孔口標高9.60m, 掘進長60m, 傾斜80°)



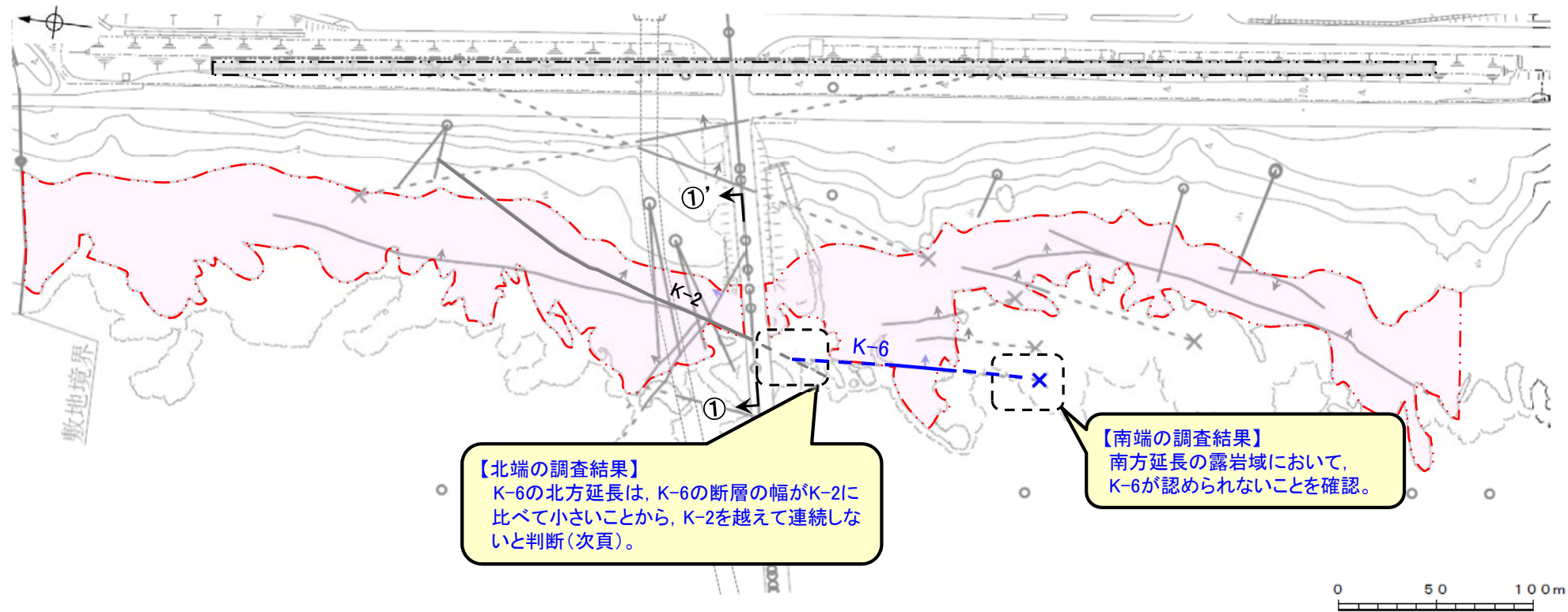
コア写真(深度28～59m)

H-2.2-80孔において、K-5の想定延長範囲(深度28～59m)にK-5は認められない。

(16) K-6端部の調査結果

K-6端部の調査結果 一概要一

■K-6端部の調査結果の概要を以下に示す。



【北端の調査結果】
K-6の北方延長は、K-6の断層の幅がK-2に比べて小さいことから、K-2を越えて連続しないと判断(次頁)。

【南端の調査結果】
南方延長の露岩域において、K-6が認められないことを確認。

調査位置図

K-6端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	取水路沿いの調査	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-6	25m以上 130m以下	N2° W / 60° NE

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値

凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- x 断層端部を確認していないもの
- x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- x 断層端部を確認していないもの

--- 露頭調査範囲
 防潮堤基礎掘削範囲
--- 断層(K-6以外)(EL0m)
--- K-6(EL0m)

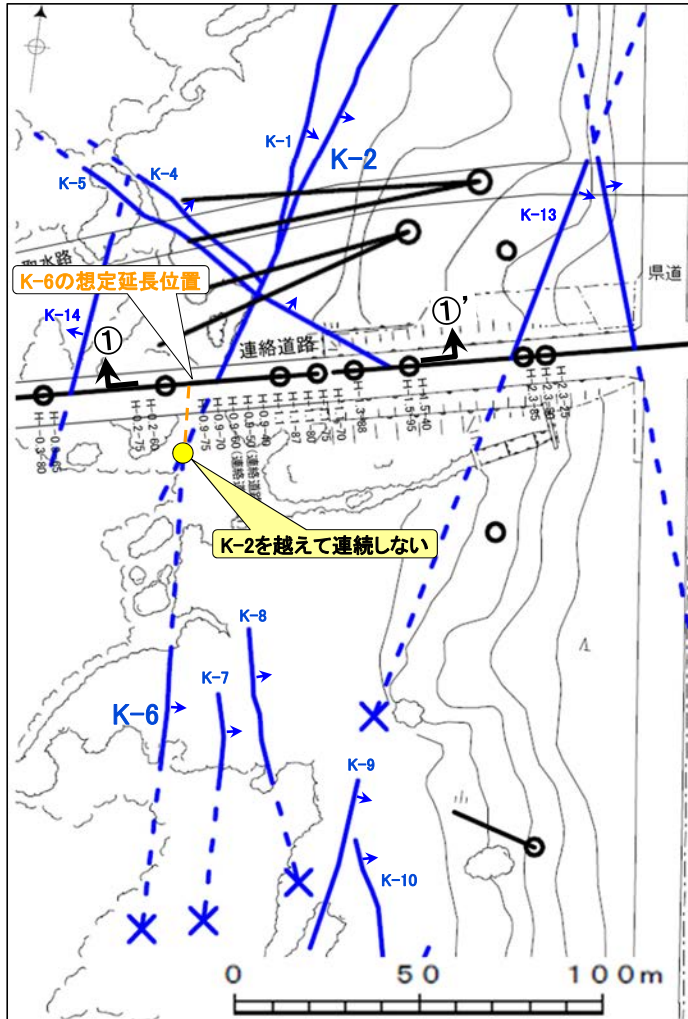
矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

K-6端部の調査結果 —北端:取水路沿いの調査—

■K-6北端の調査結果を以下に示す。

【K-6北端の調査結果】

①-①'断面において、K-6の想定延長範囲で確認された破砕部(K-2を除く)は、隣接孔に連続しない破砕部のみでK-6とは対応しない。これに加え、K-6は破砕部の幅がK-2に比べて小さいことから、K-2を越えて連続しない断層と判断した。

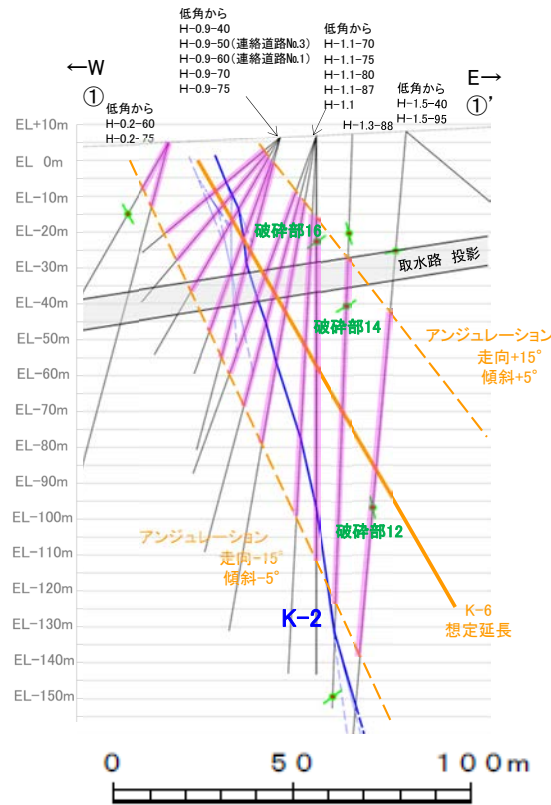


矢印(★)の向きは断層の傾斜方向を示す

平面図

凡例

- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- 断層 (EL.0m)
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)



①-①'断面図

- 連続性が乏しい破砕部 (3cm以上)
(両側の線は傾斜方向(走向を考慮した偽傾斜))
- K-2(主線を太線で表記)
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- K-6 想定延長位置
(破線はアンジュレーション範囲)
- K-6の想定延長範囲

①-①'断面におけるK-6の想定延長範囲

孔名	想定延長深度(m)			想定延長範囲に認められる幅3cm以上の破砕部(K-2を除く)
	上端	中央	下端	
H-0.2-60	-	-	15	なし
H-0.2-75	-	-	19	なし
H-0.9-40	5	23.4	43	なし
H-0.9-50	5	24.5	45	なし
H-0.9-60	6	26.6	50	なし
H-0.9-70	6	30.1	58	なし
H-0.9-75	7	32.6	64	なし
H-1.1-70	16	41.7	71	なし
H-1.1-75	17	45.2	78	なし
H-1.1-80	18	49.7	87	なし
H-1.1-87	21	58.6	107	なし
H-1.1	22	63.9	119	破砕部16(N48° E/56° NW, 幅7cm)が認められるものの、隣接孔に連続しない(本資料P.39)。
H-1.3-88	34	77.1	131	破砕部14(N64° E/69° NW, 幅3cm)が認められるものの、隣接孔に連続しない(本資料P.39)。
H-1.5-95	50	94.4	147	破砕部12(N35° W/79° NE, 幅5cm)が認められるものの、隣接孔に連続しない(本資料P.39)。

・それぞれのボーリング柱状図等は、データ集1, 2, 3

K-2, K-6の破砕部の性状

断層名	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅*
K-2	N19° E/72° SE	28cm (94cm)
K-6	N2° W/60° NE	7cm (9cm)

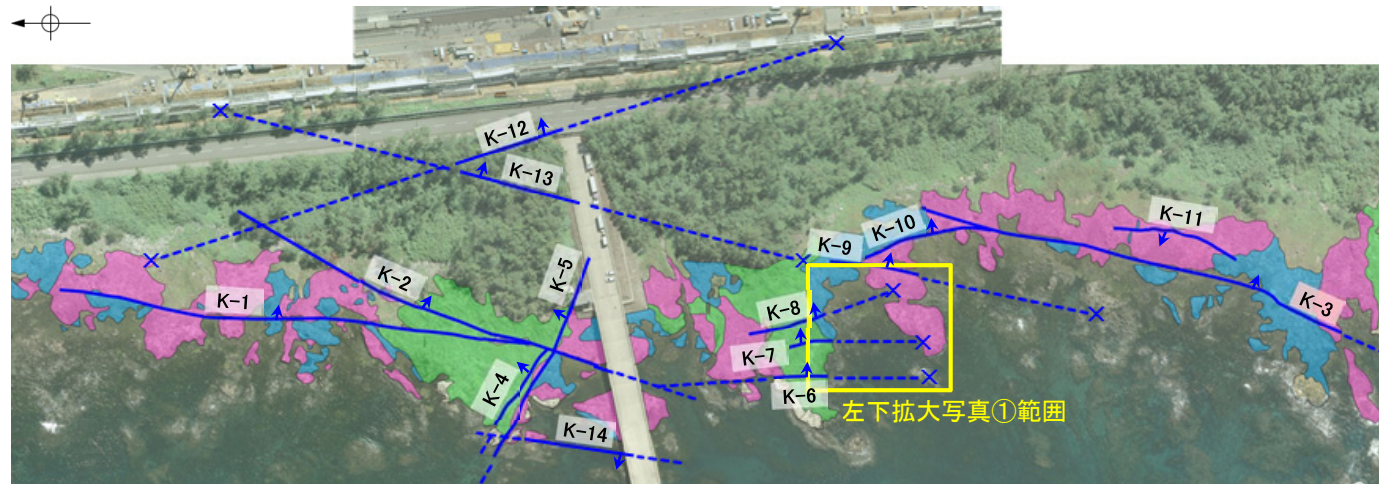
*:すべての破砕部の平均値
(下段括弧内は最大値)。

K-6端部の調査結果 ー南端:露岩域ー

■K-6南端の調査結果を以下に示す。

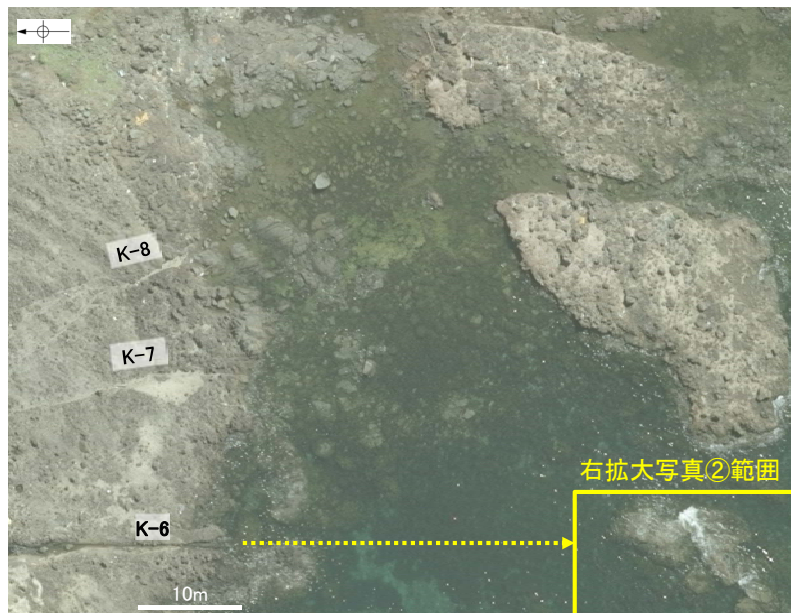
【K-6南端の調査結果】

南方延長の露岩域において、K-6が認められないことを確認。

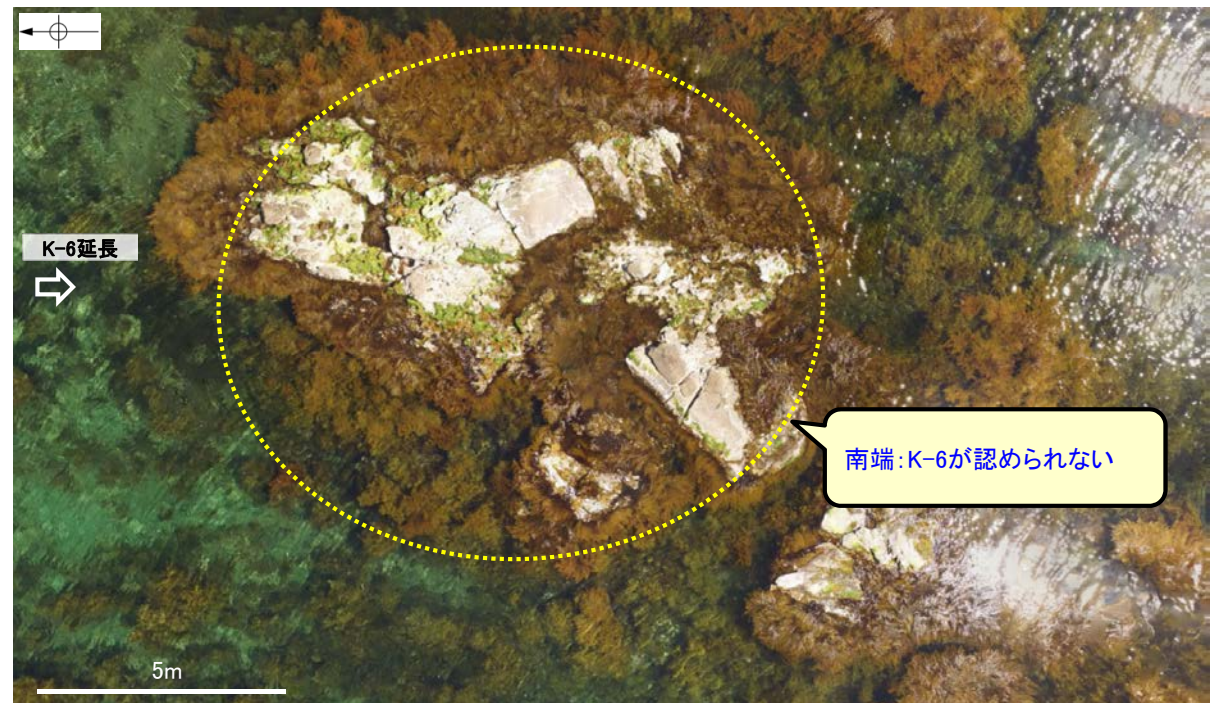


断層分布図(海岸部)

0 50 100m



拡大写真①
K-6の南方延長付近

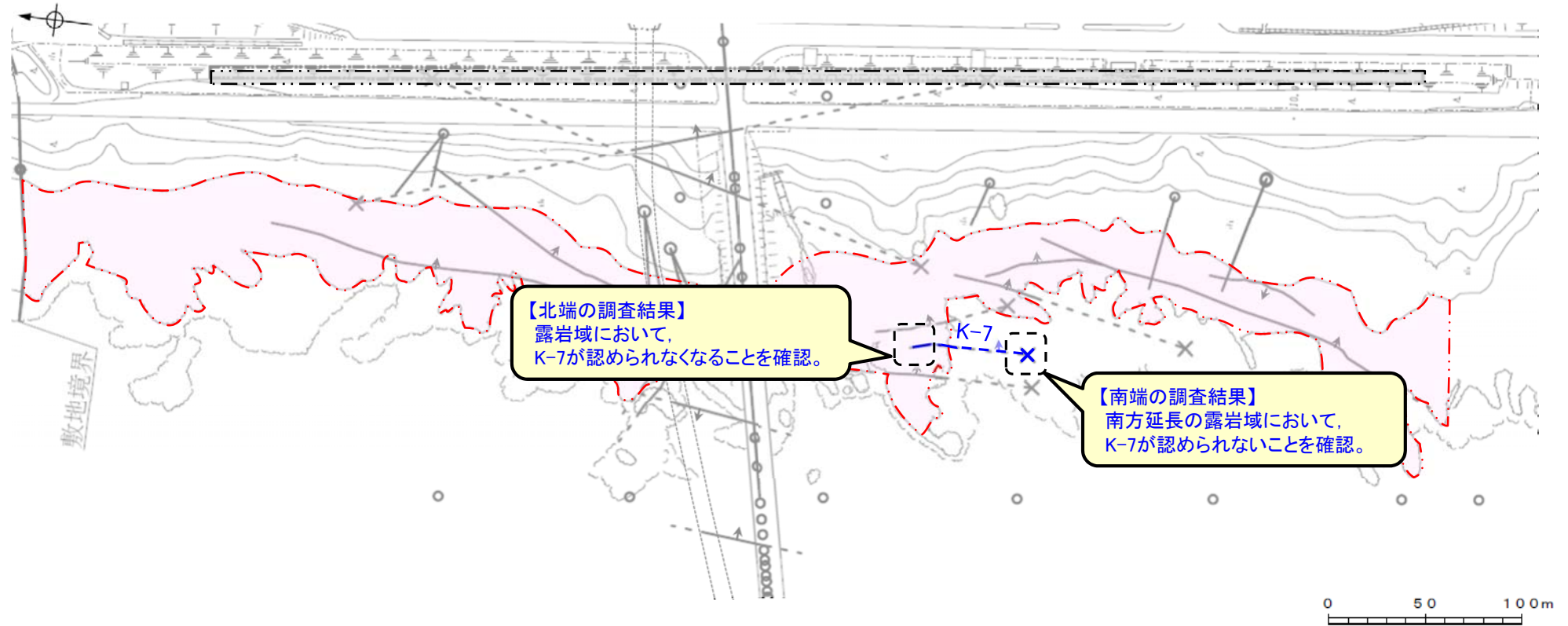


拡大写真②

(17) K-7端部の調査結果

K-7端部の調査結果 一概要一

■K-7端部の調査結果の概要を以下に示す。



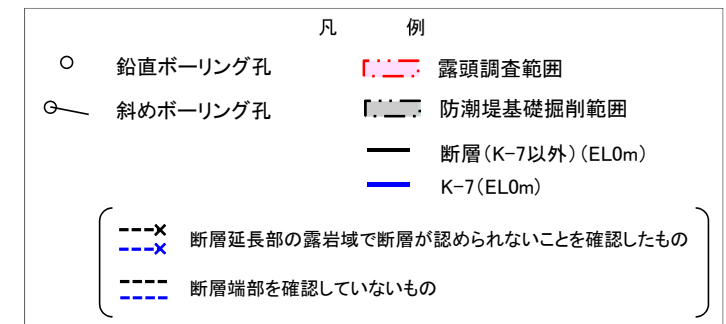
調査位置図

K-7端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-7	20m以上 55m以下	N8° W / 88° NE

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値



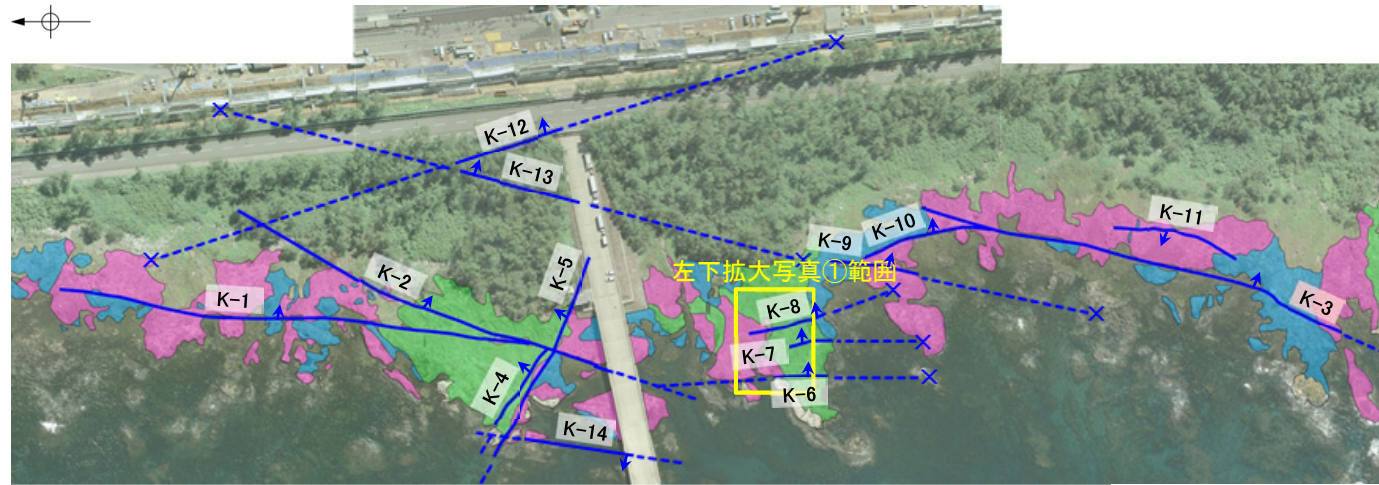
矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

K-7端部の調査結果 —北端:露岩域—

■K-7北端の調査結果を以下に示す。

【K-7北端の調査結果】

露岩域において、K-7が認められなくなることを確認。



断層分布図(海岸部)

0 50 100m

- 凡例
- 穴水累層 安山岩(均質)
 - 穴水累層 安山岩(角礫質)
 - 穴水累層 凝灰角礫岩
 - 断層(地表面)
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
 - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したものの矢印(↖)の向きは断層の傾斜方向を示す



拡大写真①
K-7の北方付近



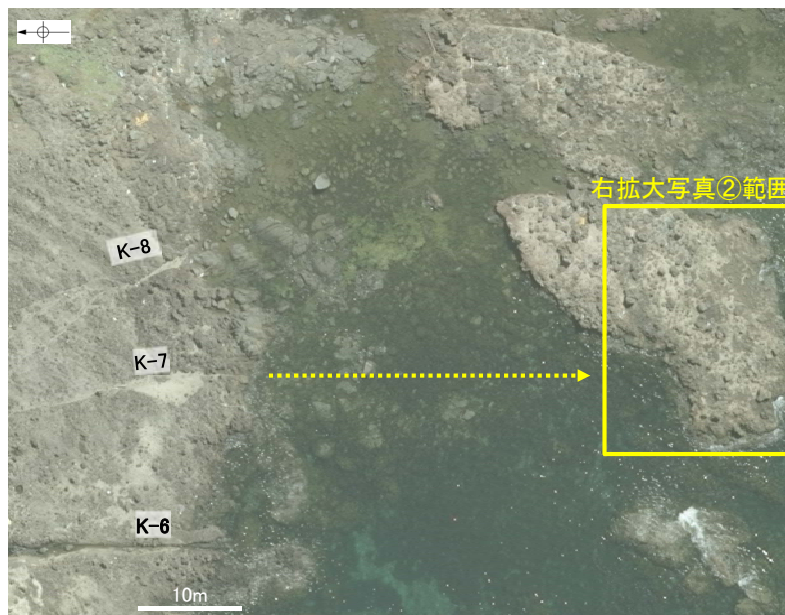
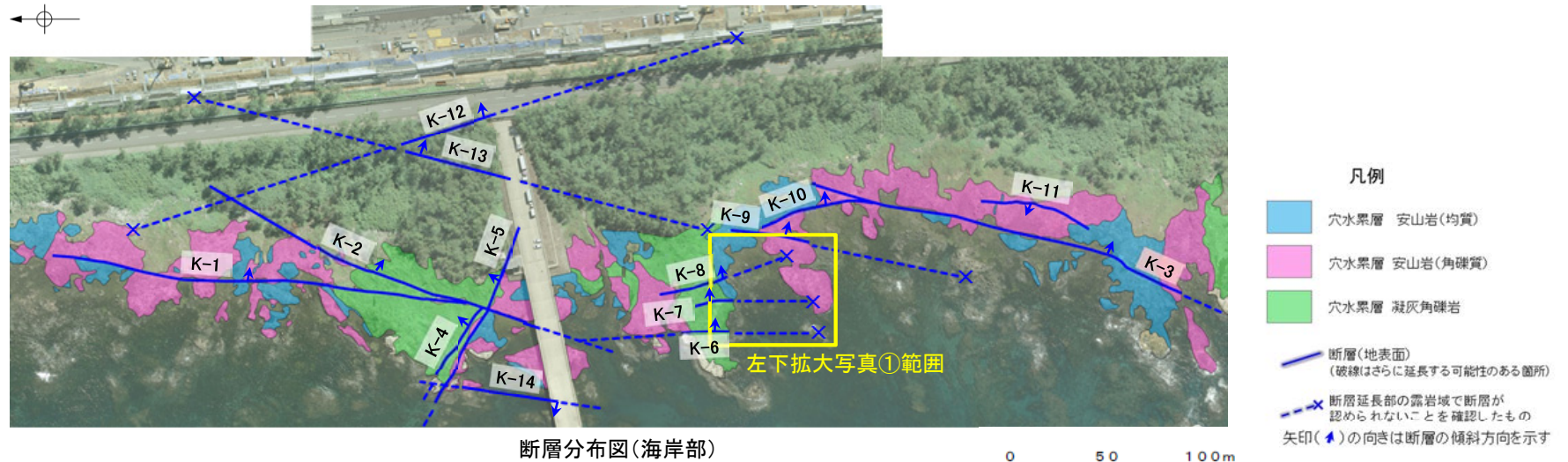
拡大写真②
K-7の北方延長

K-7端部の調査結果 ー南端：露岩域ー

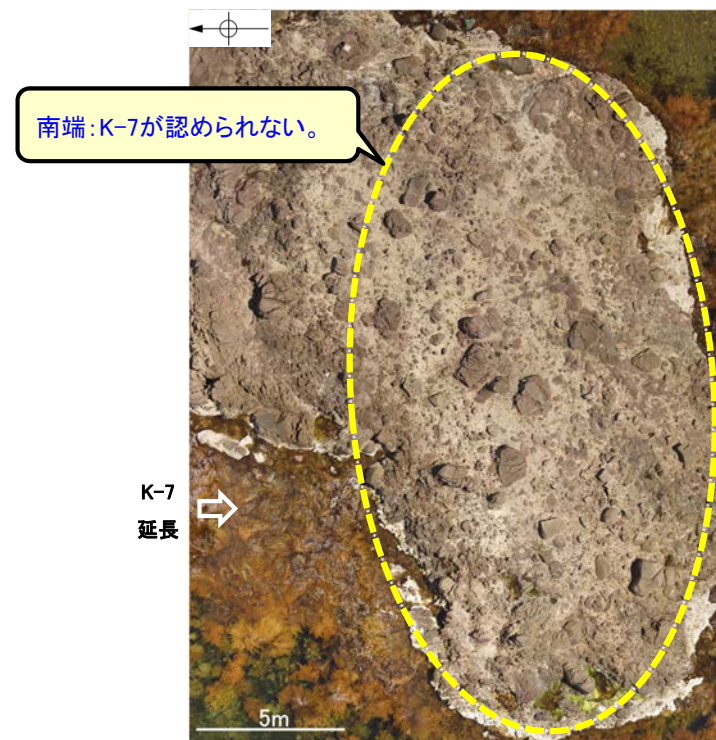
■K-7南端の調査結果を以下に示す。

【K-7南端の調査結果】

南方延長の露岩域において、K-7が認められないことを確認。



拡大写真①
K-7の南方延長付近

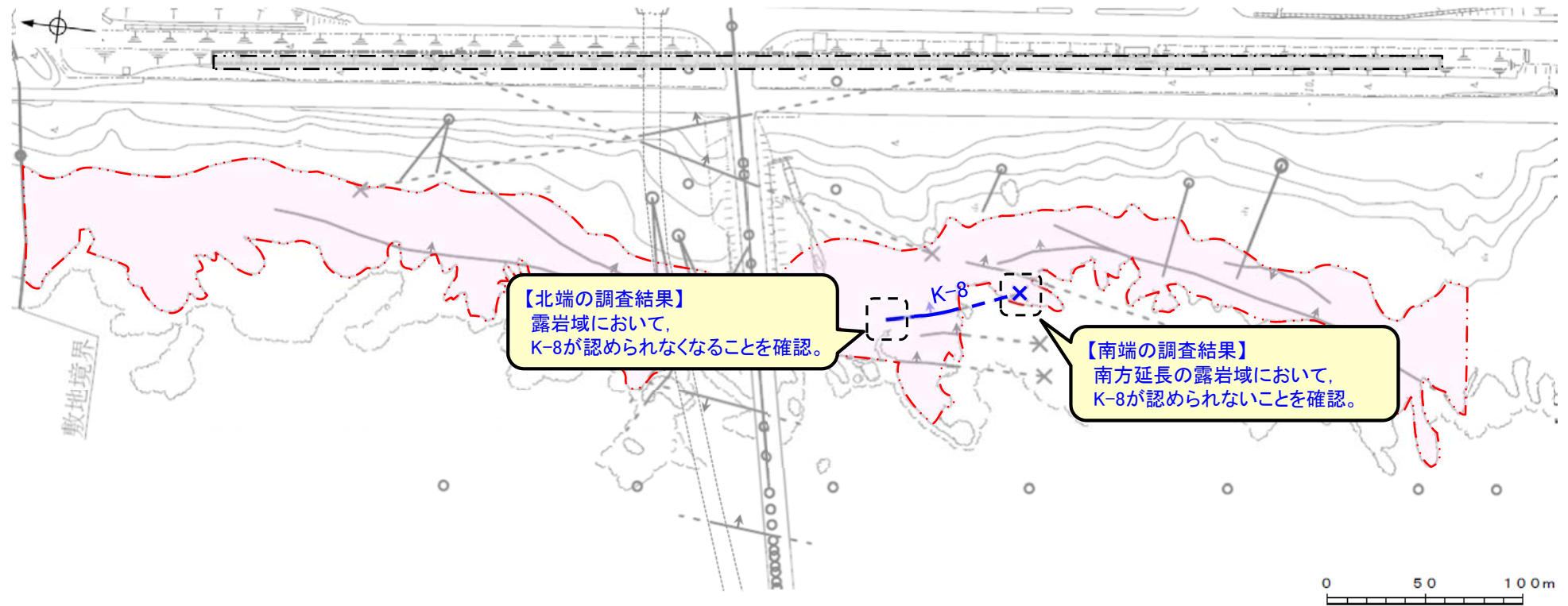


拡大写真②

(18) K-8端部の調査結果

K-8端部の調査結果 一概要一

■K-8端部の調査結果の概要を以下に示す。



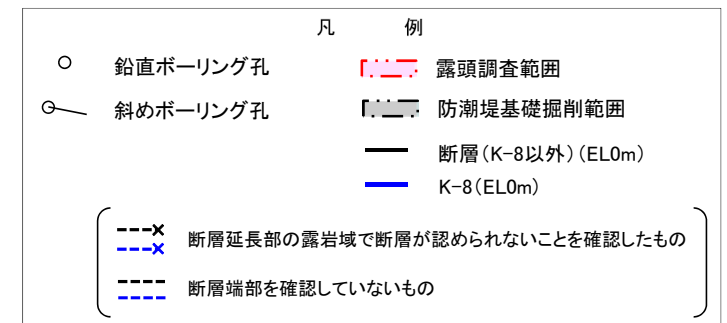
調査位置図

K-8端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-8	35m以上 70m以下	N15° W / 80° NE

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値



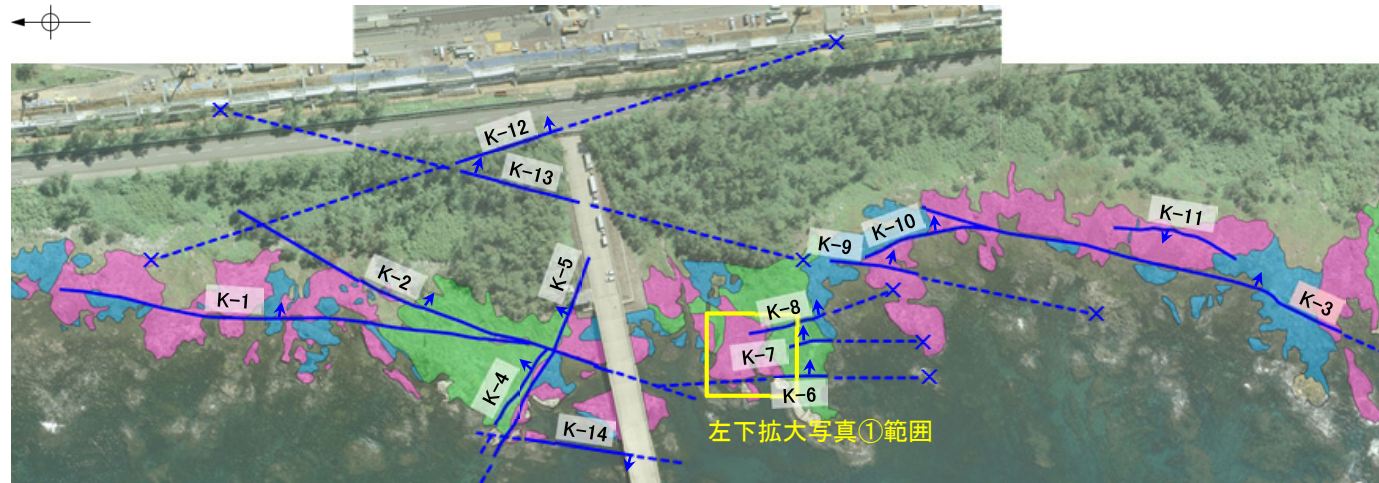
矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

K-8端部の調査結果 —北端：露岩域—

■K-8北端の調査結果を以下に示す。

【K-8北端の調査結果】

露岩域において、K-8が認められなくなることを確認。



断層分布図(海岸部)



拡大写真①
K-8の北方付近

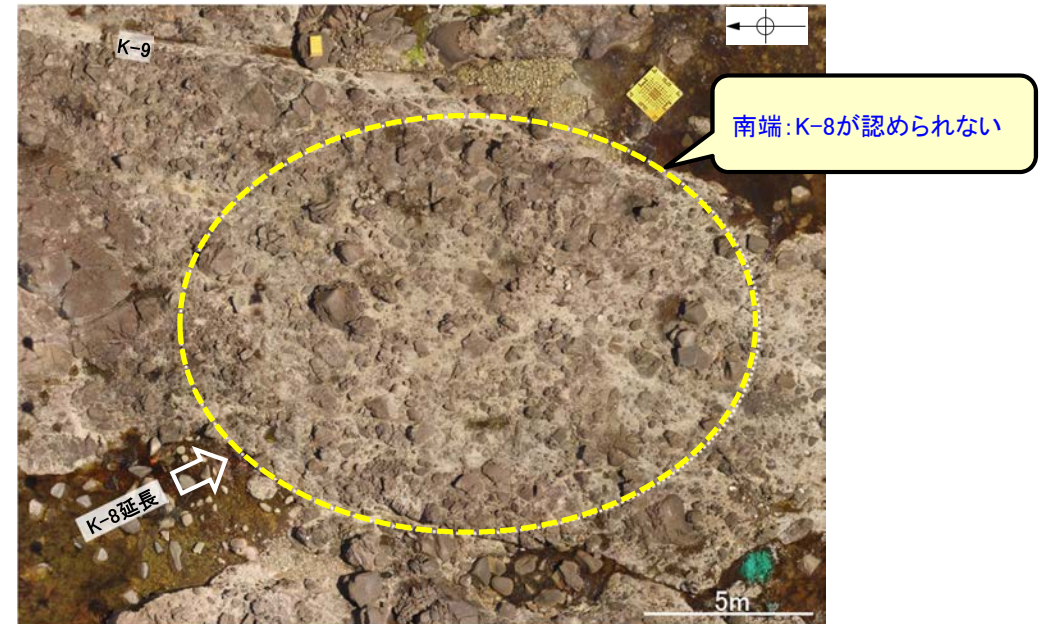
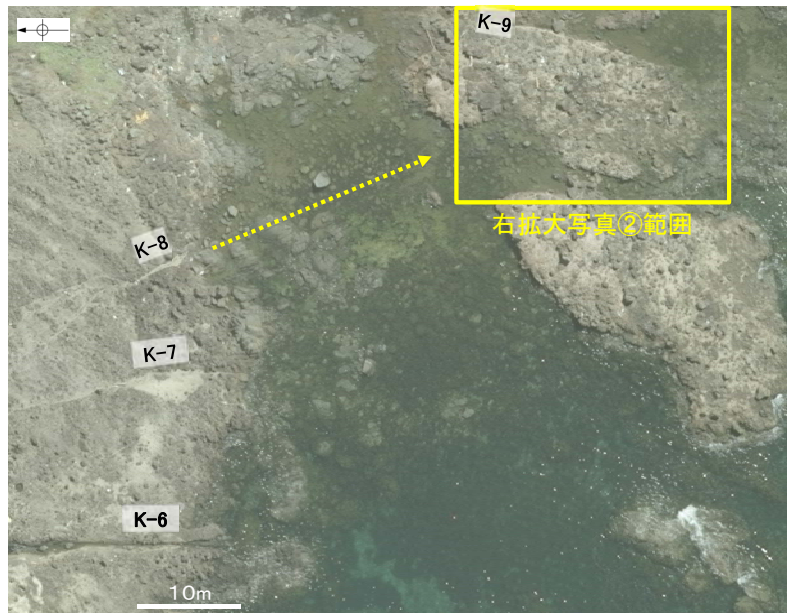
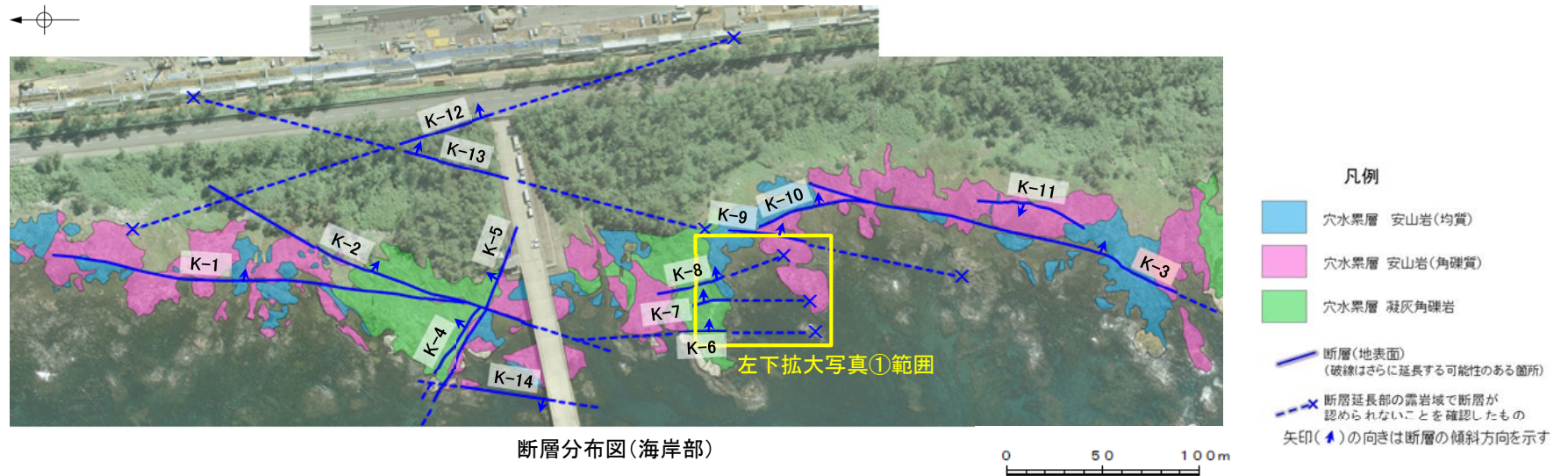


拡大写真②
K-8の北方延長

K-8端部の調査結果 ー南端：露岩域ー

■K-8南端の調査結果を以下に示す。

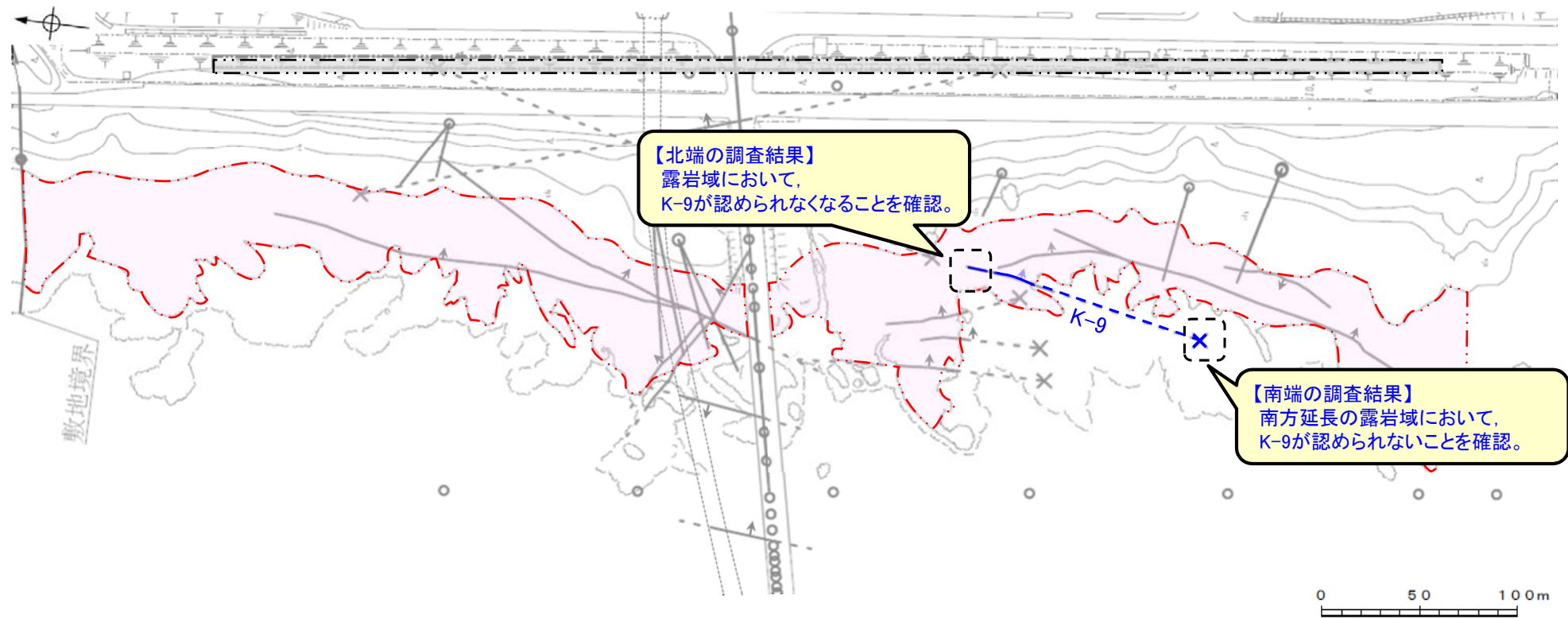
【K-8南端の調査結果】
南方延長の露岩域において、K-8が認められないことを確認。



(19) K-9端部の調査結果

K-9端部の調査結果 一概要一

■K-9端部の調査結果の概要を以下に示す。



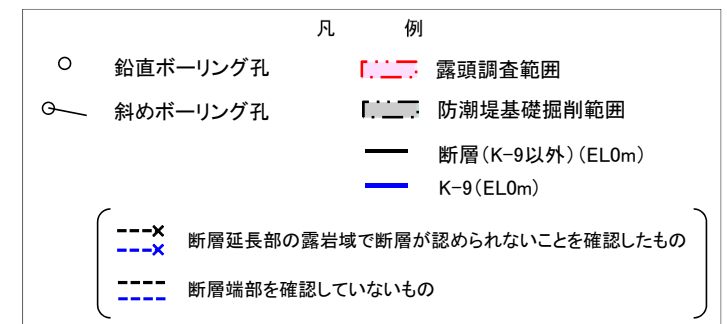
調査位置図

K-9端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-9	40m以上 120m以下	N10° E / 88° SE

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値



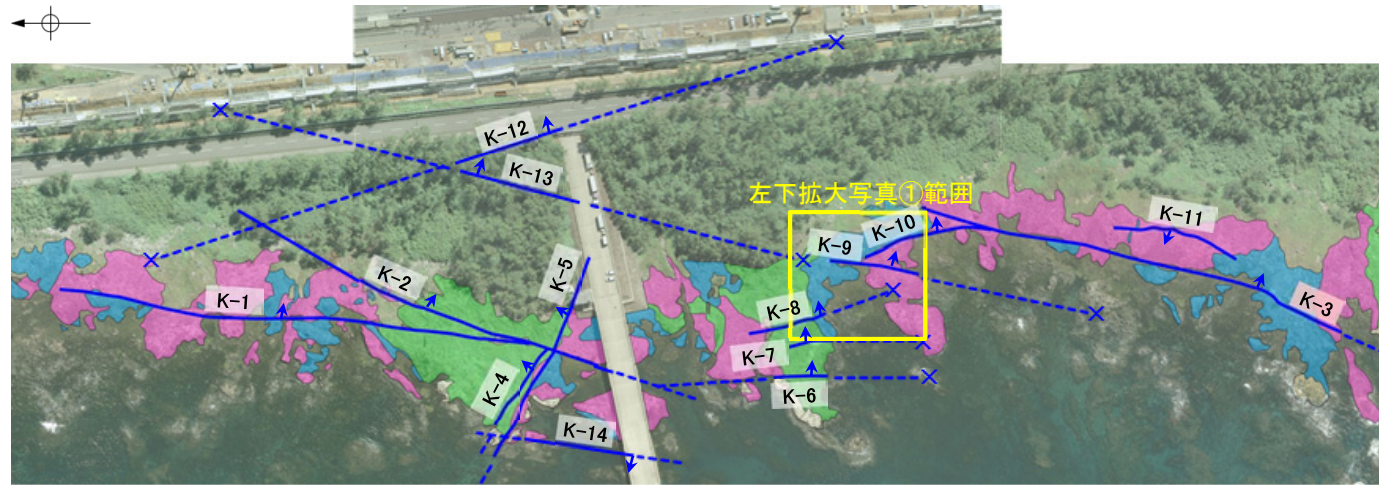
矢印(↑)の向きは断層の傾斜方向を示す

K-9端部の調査結果 —北端：露岩域—

■K-9北端の調査結果を以下に示す。

【K-9北端の調査結果】

露岩域において、K-9が認められなくなることを確認。



0 50 100m



拡大写真①
K-9の北方付近



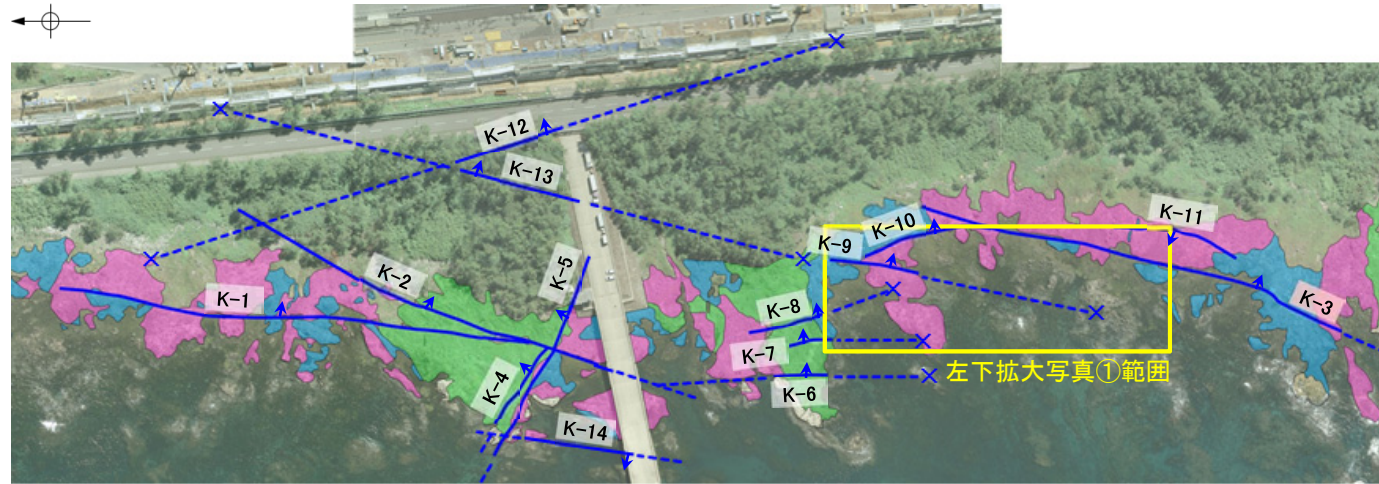
拡大写真②
K-9の北方延長

K-9端部の調査結果 —南端：露岩域—

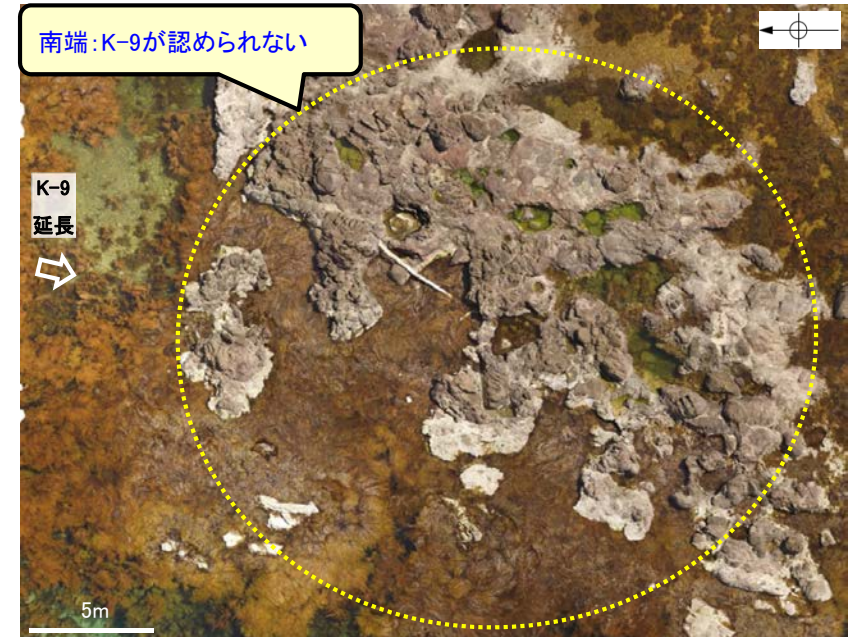
■K-9南端の調査結果を以下に示す。

【K-9南端の調査結果】

南方延長の露岩域において、K-9が認められないことを確認。



拡大写真①
K-9の南方延長付近

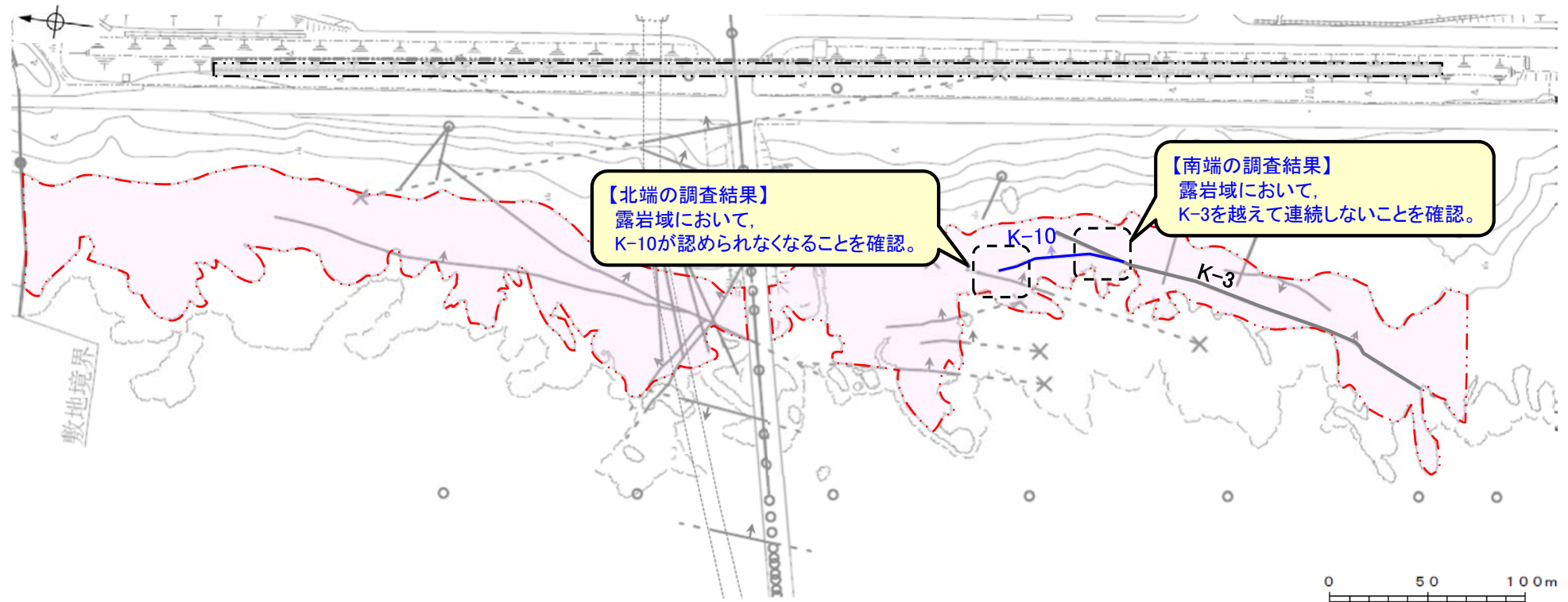


拡大写真②

(20) K-10端部の調査結果

K-10端部の調査結果 ー概要ー

■K-10端部の調査結果の概要を以下に示す。



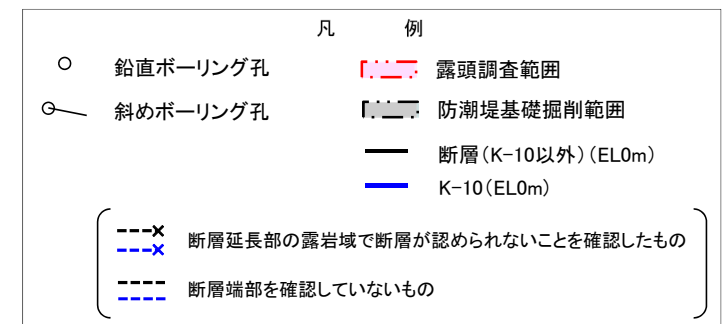
調査位置図

K-10端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-10	60m	N16° W / 62° NE

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値

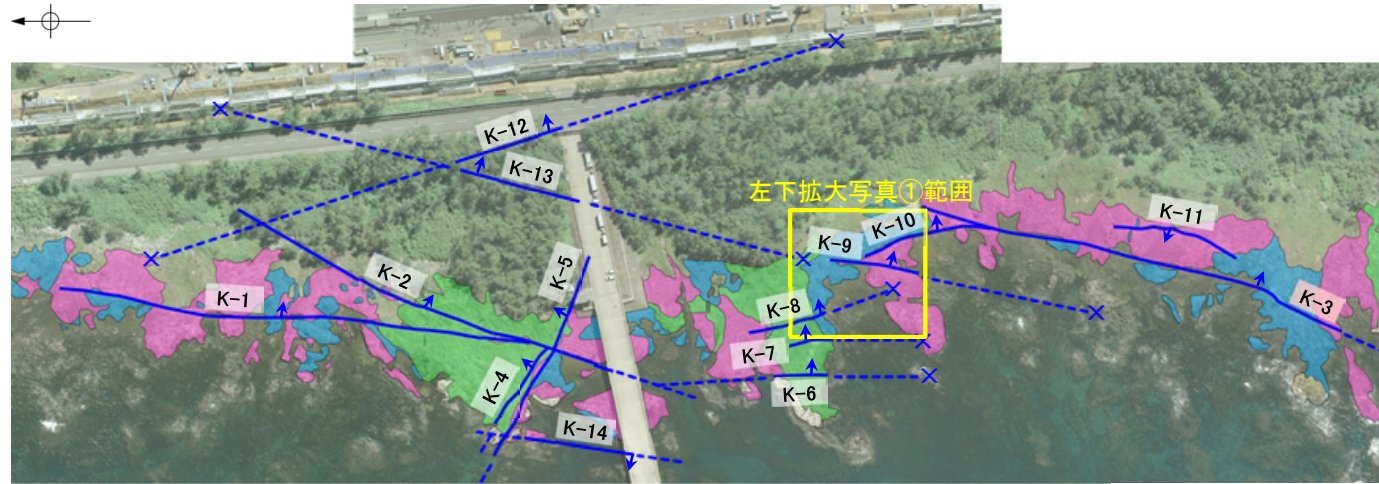


矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

K-10端部の調査結果 —北端:露岩域—

■K-10北端の調査結果を以下に示す。

【K-10北端の調査結果】
露岩域において、K-10が認められなくなることを確認。



0 50 100m



拡大写真①
K-10の北方付近



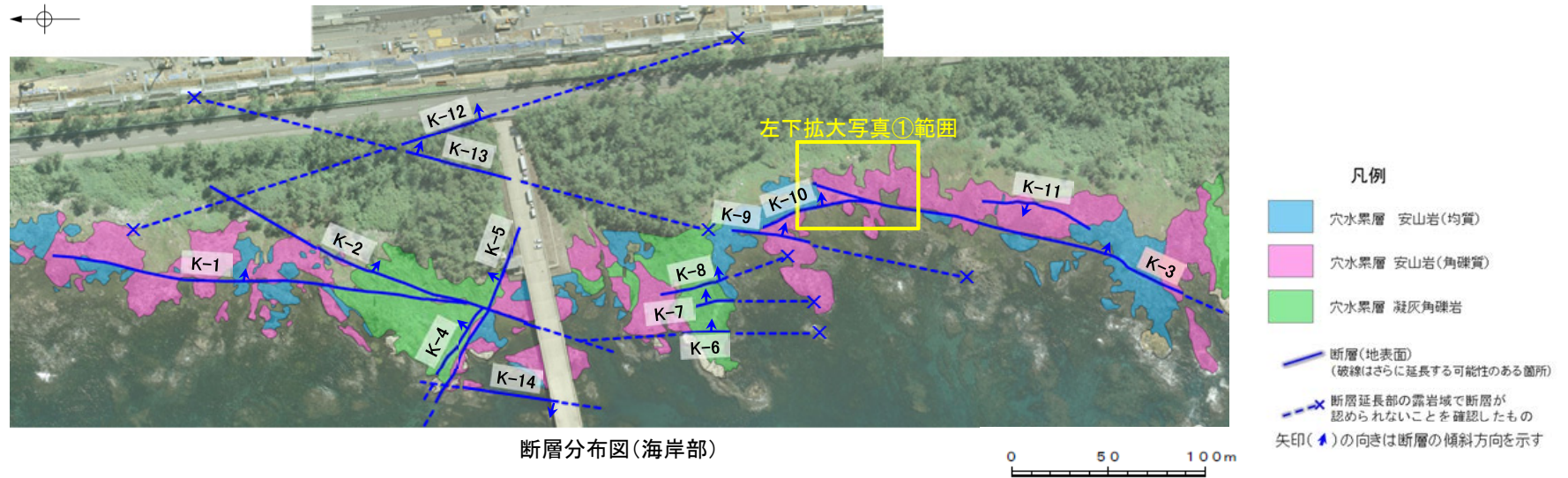
拡大写真②
K-10の北方延長

K-10端部の調査結果 — 南端: 露岩域 —

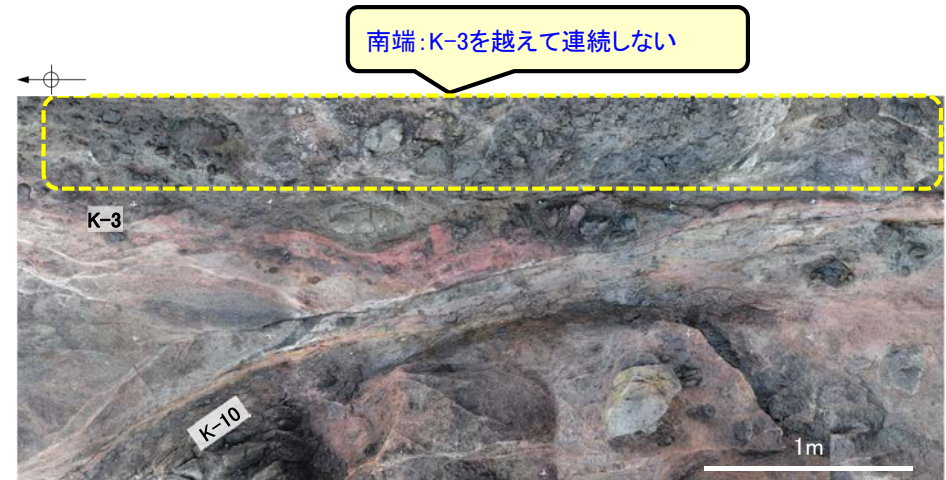
■K-10南端の調査結果を以下に示す。

【K-10南端の調査結果】

露岩域において、K-10はK-3を越えて連続しないことを確認。



拡大写真①
K-10の南方付近

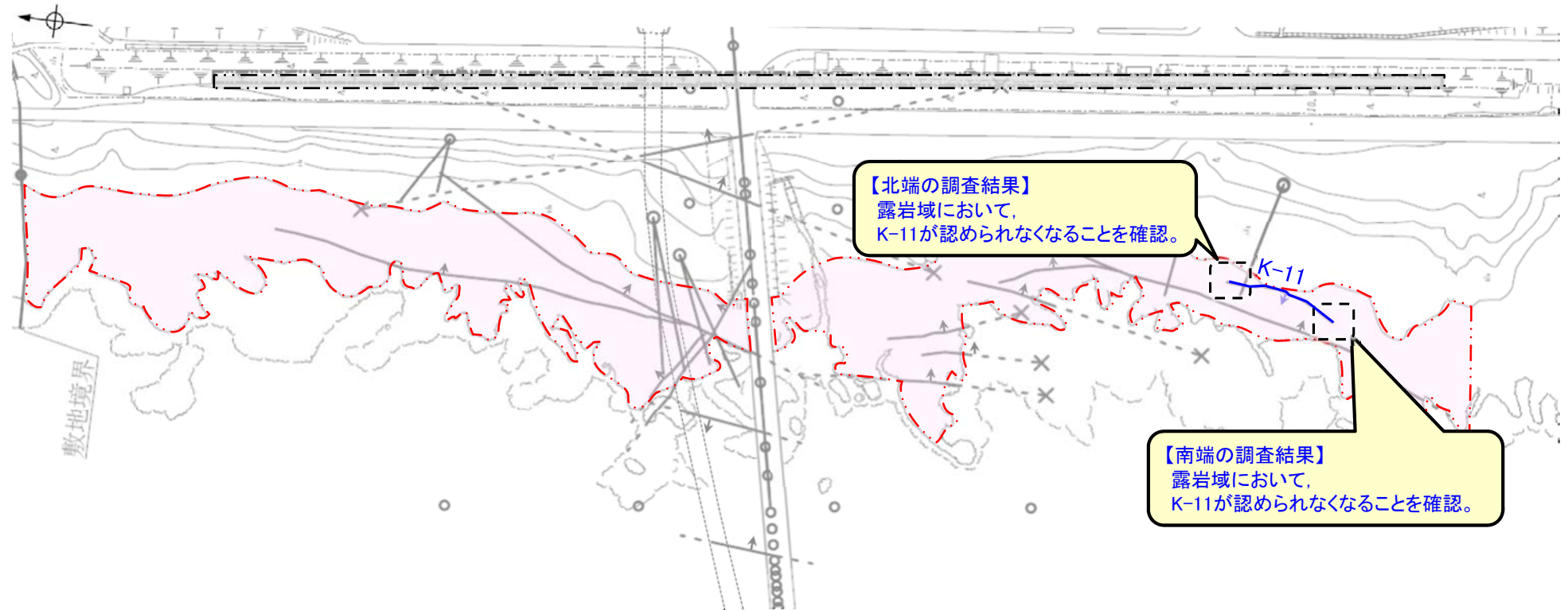


拡大写真②
K-10とK-3の会合部

(21) K-11端部の調査結果

K-11端部の調査結果 ー概要ー

■K-11端部の調査結果の概要を以下に示す。



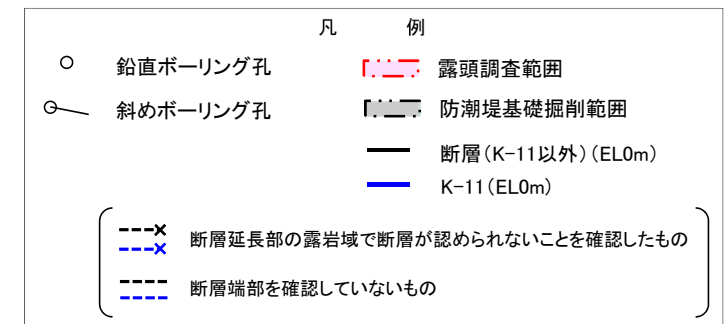
調査位置図

K-11端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-11	60m	N14° E / 70° NW

* 走向は一般走向
傾斜は海岸部露頭の値

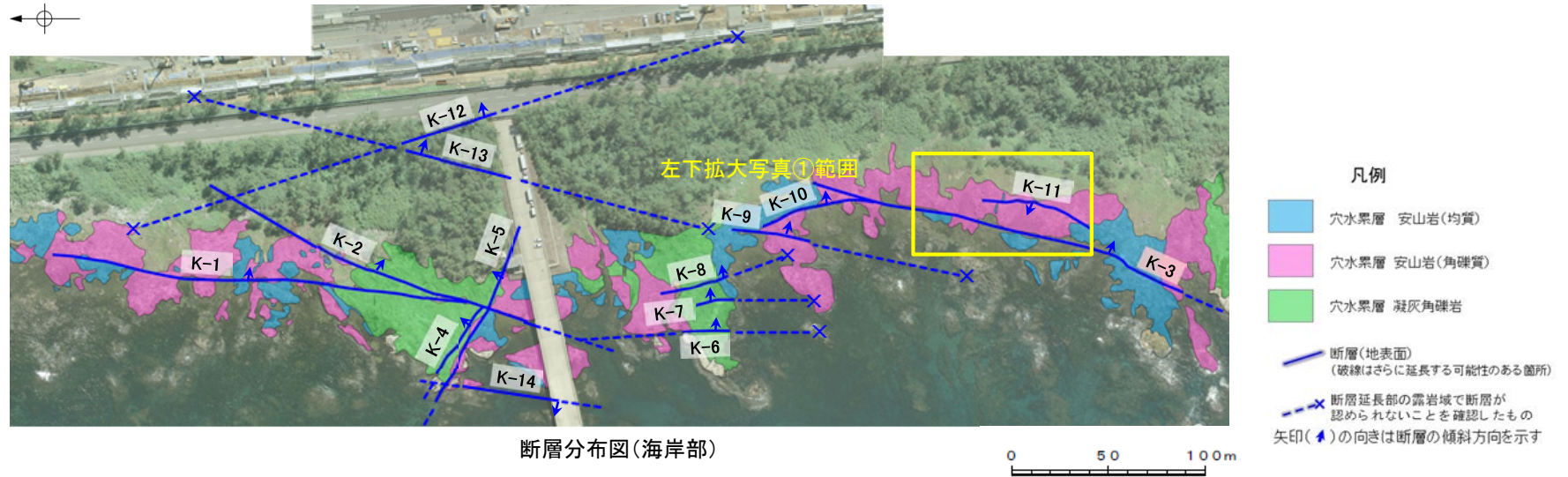


矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

K-11端部の調査結果 —北端:露岩域—

■K-11北端の調査結果を以下に示す。

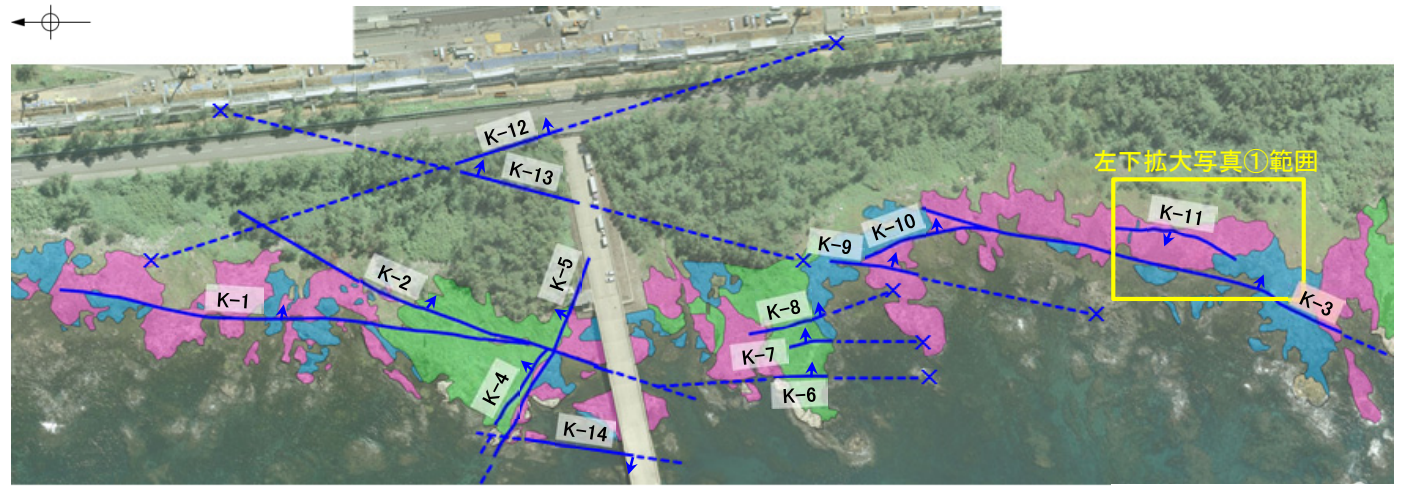
【K-11北端の調査結果】
露岩域において、K-11が認められなくなることを確認。



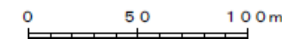
K-11端部の調査結果 —南端:露岩域—

■K-11南端の調査結果を以下に示す。

【K-11南端の調査結果】
露岩域において、K-11が認められなくなることを確認。



断層分布図(海岸部)



拡大写真①
K-11の南方付近

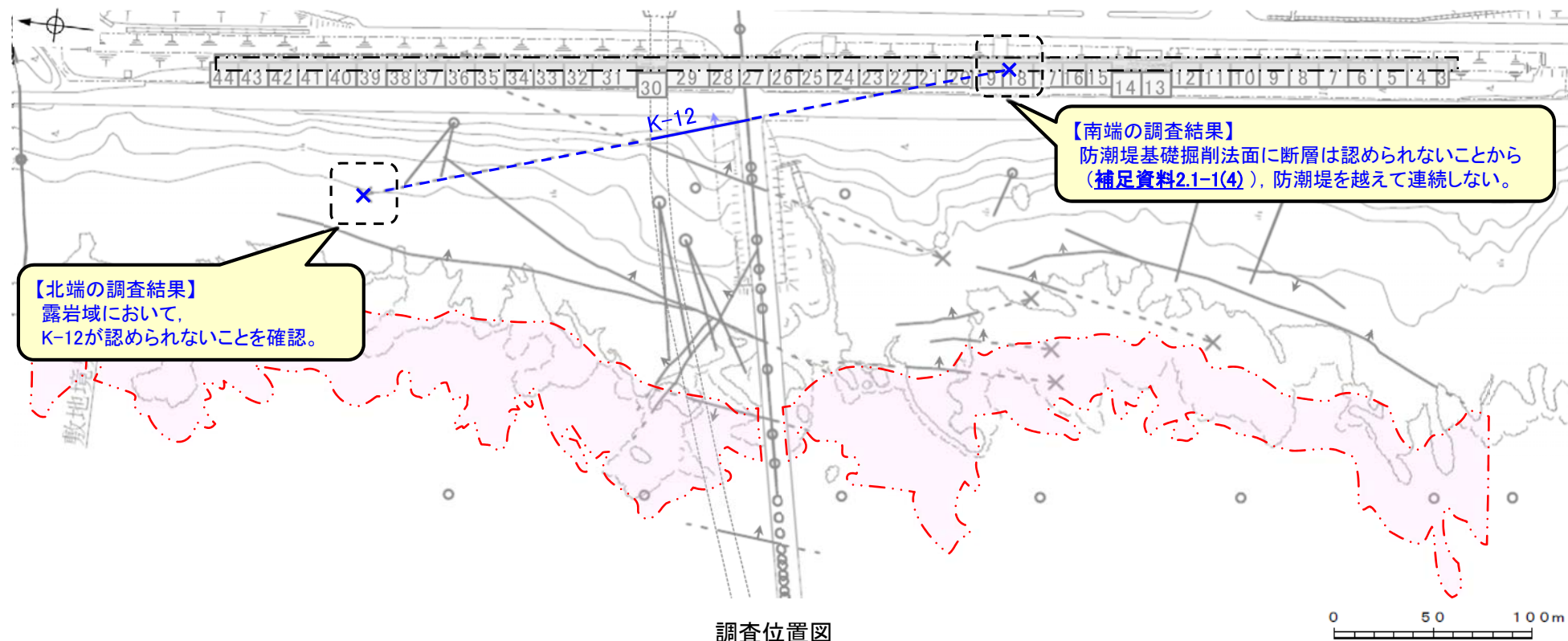


拡大写真②
K-11の南方延長

(22) K-12端部の調査結果

K-12端部の調査結果 ー概要ー

■K-12端部の調査結果の概要を以下に示す。

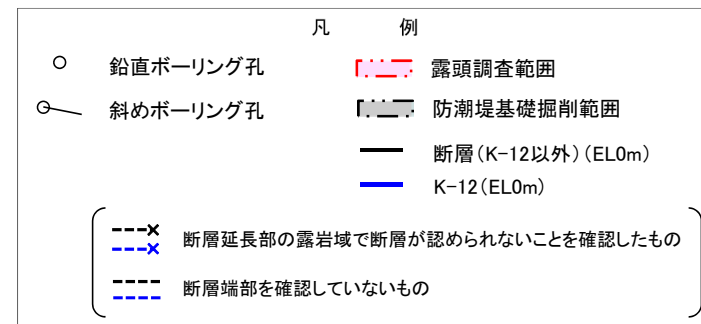


K-12端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	露岩域	北端の止め
南端	防潮堤	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-12	50m以上 335m以下	N19° W / 71° NE

* 走向は、一般走向
傾斜は、ボーリングで確認したすべての破砕部のベクトル平均値

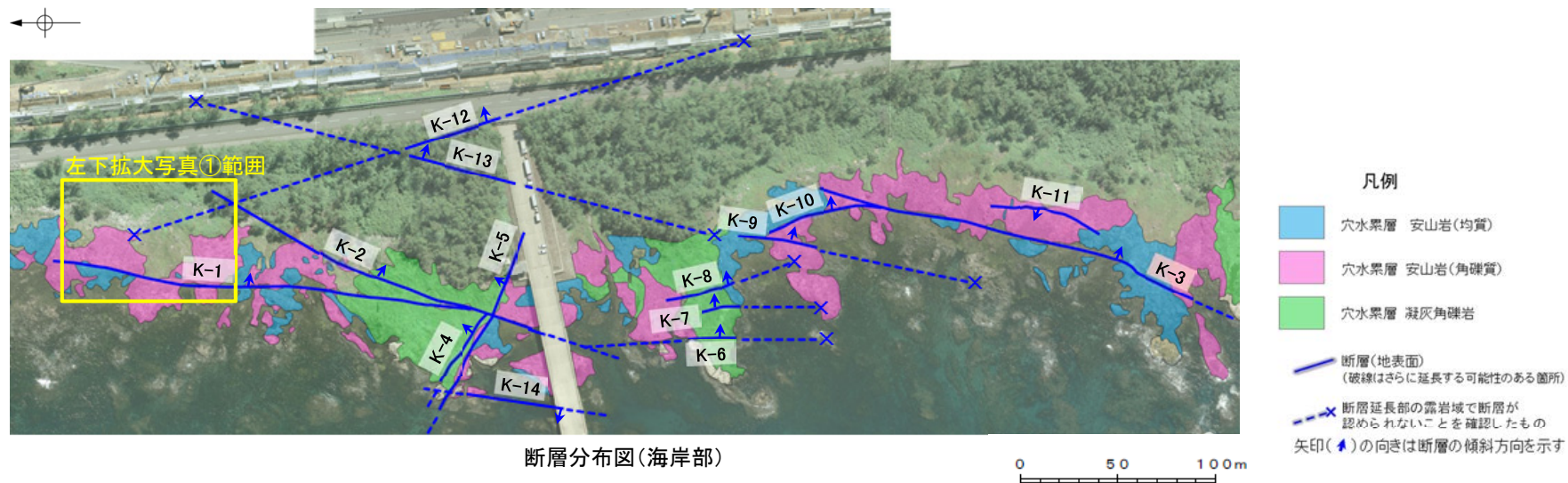


矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

K-12端部の調査結果 —北端:露岩域—

■K-12北端の調査結果を以下に示す。

【K-12北端の調査結果】
露岩域において、K-12が認められないことを確認。



拡大写真①
K-12の北方付近

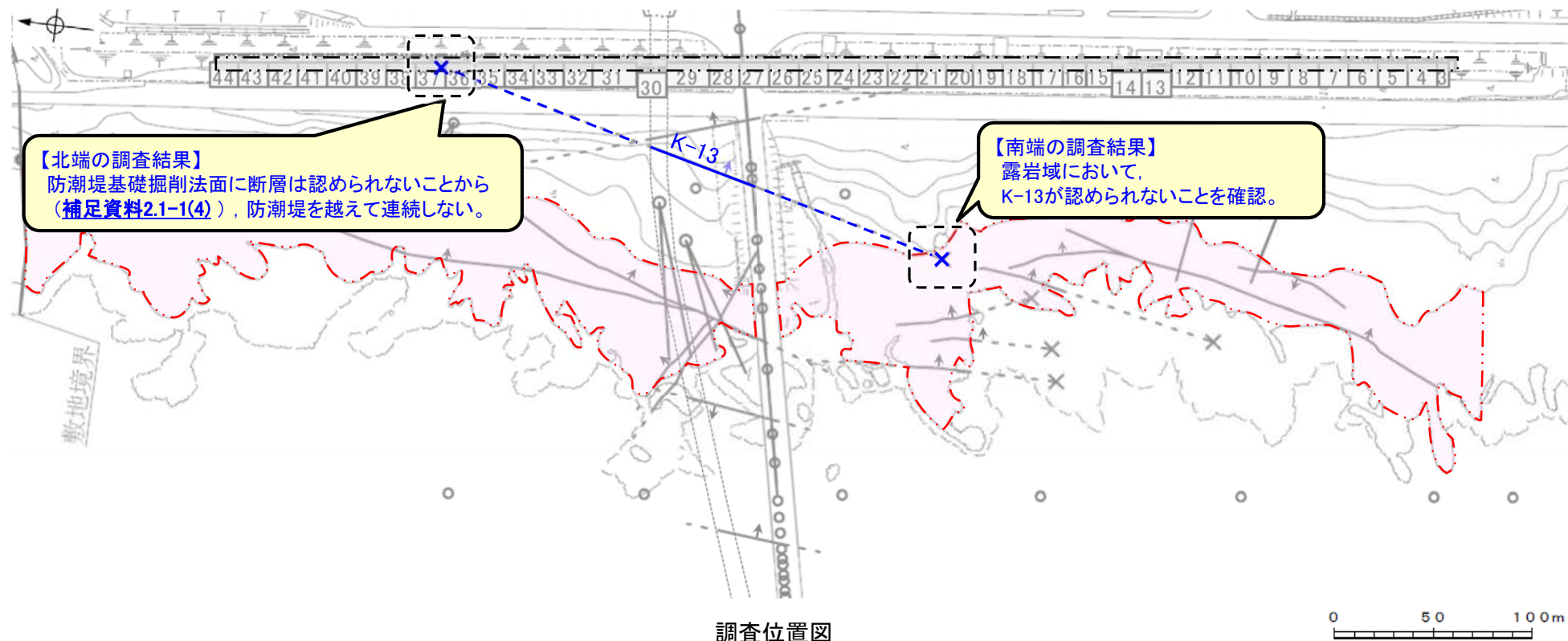


拡大写真②
K-12の北方延長

(23) K-13端部の調査結果

K-13端部の調査結果 ー概要ー

■K-13端部の調査結果の概要を以下に示す。

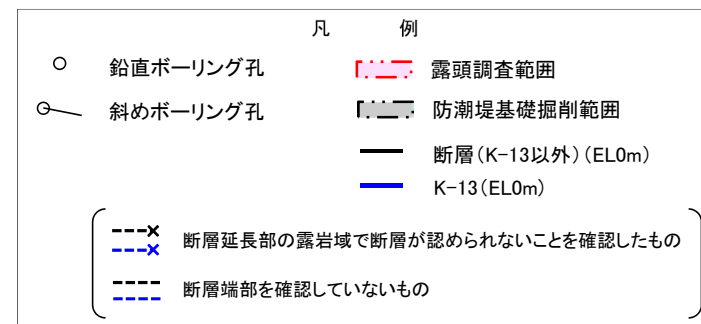


K-13端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	防潮堤	北端の止め
南端	露岩域	南端の止め

	延長	走向/傾斜
K-13	55m以上 275m以下	N13° E / 73° SE

* 走向は、一般走向
傾斜は、ボーリングで確認したすべての破砕部のベクトル平均値

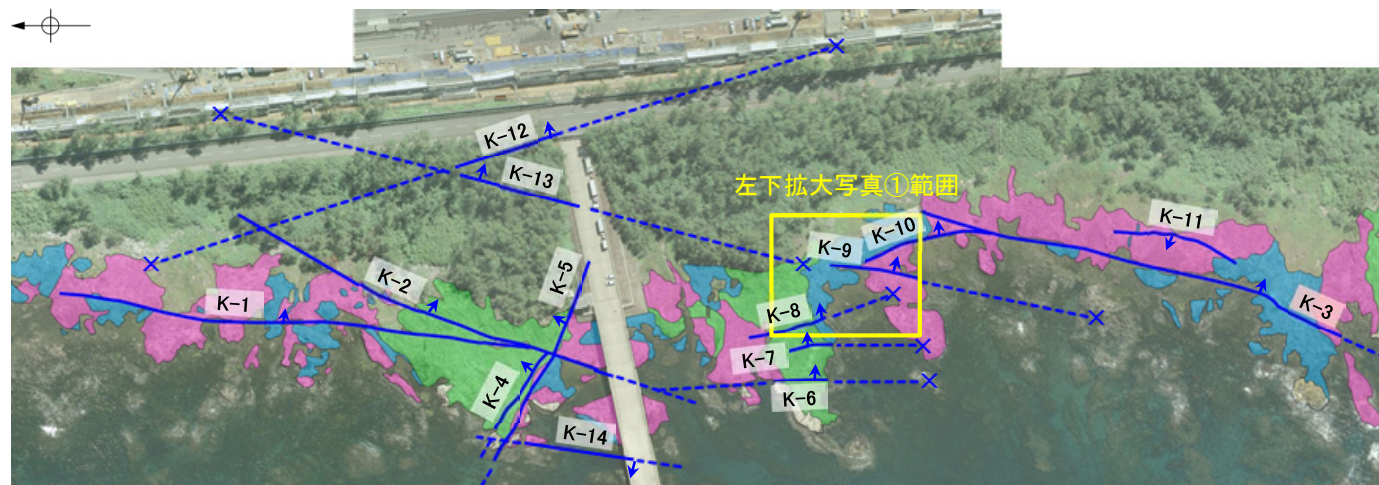


矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

K-13端部の調査結果 —南端:露岩域—

■K-13南端の調査結果を以下に示す。

【K-13南端の調査結果】
露岩域において、K-13が認められないことを確認。



- 凡例
- 穴水累層 安山岩(均質)
 - 穴水累層 安山岩(角礫質)
 - 穴水累層 凝灰角礫岩
 - 断層(地表面)
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
 - 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
矢印(↑)の向きは断層の傾斜方向を示す

断層分布図(海岸部)

0 50 100m



拡大写真①
K-13の南方付近



拡大写真②
K-13の南方延長

補足資料2. 3-4

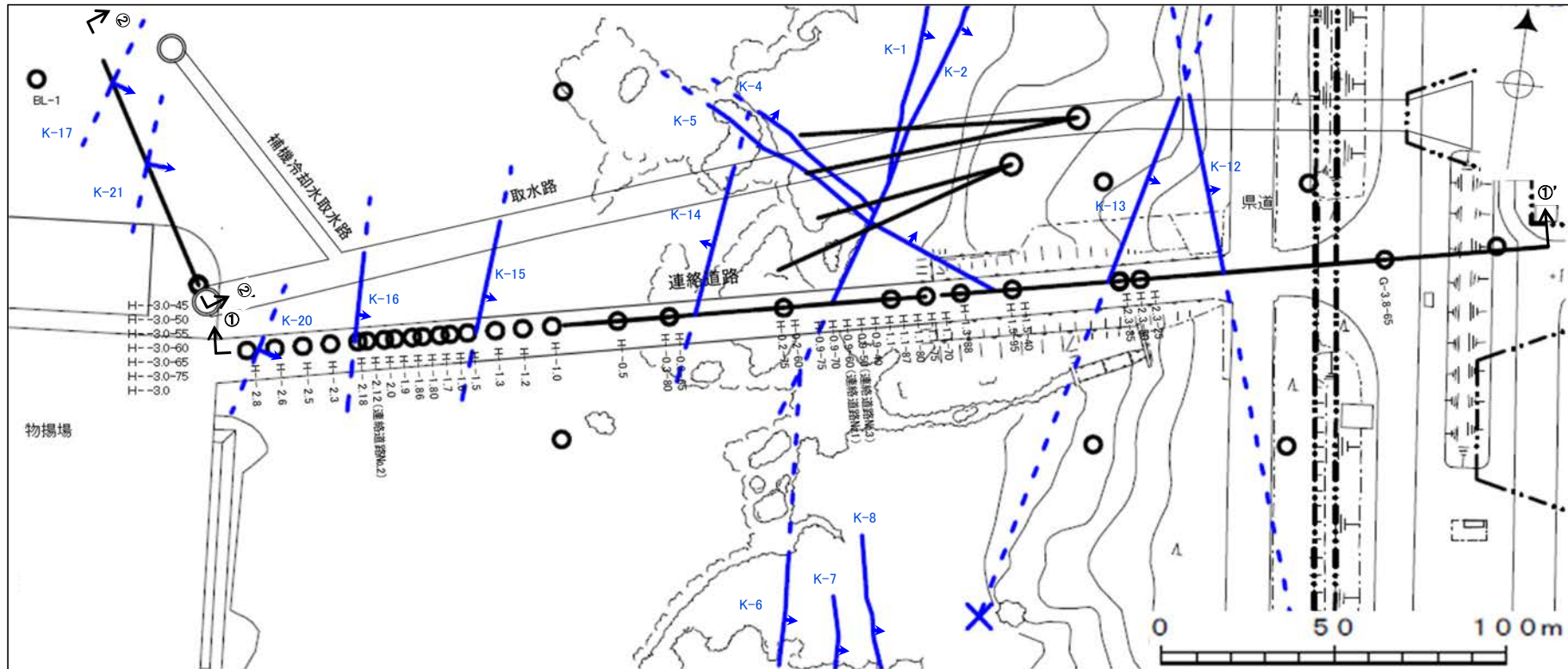
取水路沿いの調査における破砕部の抽出結果

取水路沿いの調査における破砕部の抽出結果

○抽出基準に基づき、132箇所の破砕部を連続性の検討対象となる破砕部として抽出した(平面図は下図、断面図は次頁、性状一覧は次々頁)。

【抽出した破砕部(幅3cm以上)の位置】

【平面図】

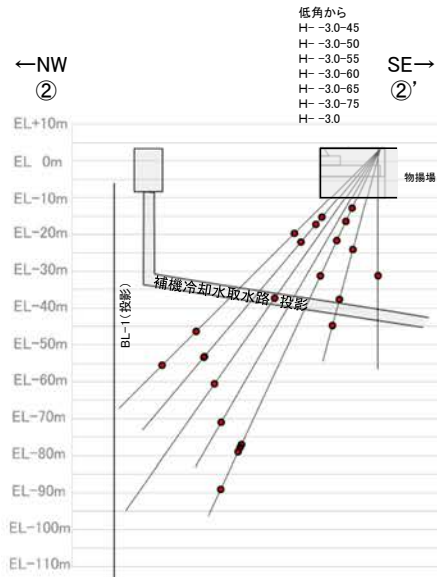


矢印(➡)の向きは断層の傾斜方向を示す

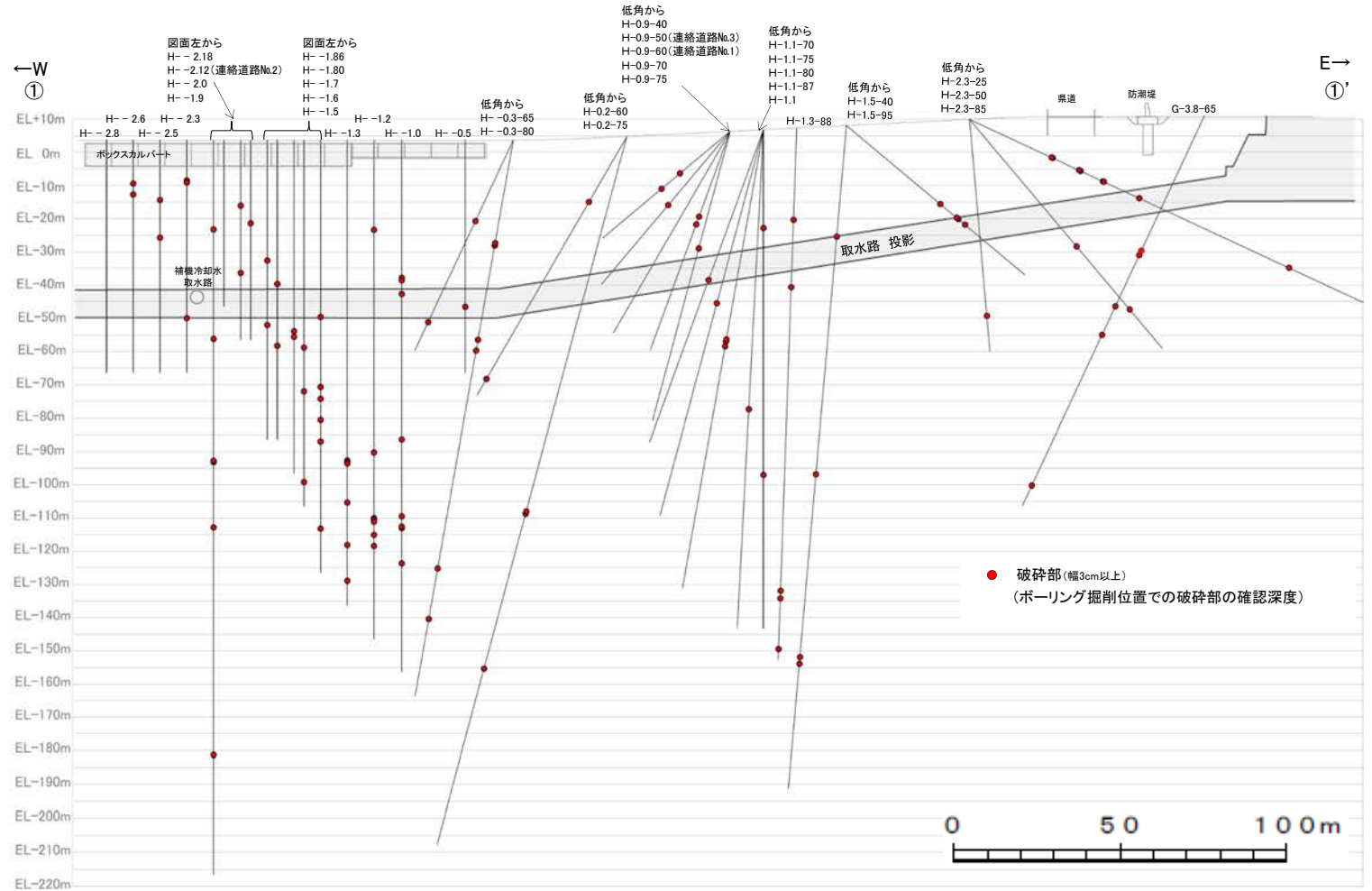
凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- ⊙ 斜めボーリング孔
- ▭ 基礎掘削面
- 断層(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- 断層端部を確認していないもの
- K-O (海岸部 EL 0m)
(K-18, K-19については地表付近まで連続しないため記載していない)

【断面図】



②-②' 断面図



①-①' 断面図

【抽出した破砕部(幅3cm以上)の性状一覧】

孔名	確認深度 (m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)
H- -3.0-45	32.84	EL-19.58	N9° E/62° SE	3
	70.46	EL-46.18	N8° E/86° SE	13
	83.49	EL-55.40	N1° W/67° NE	5
H- -3.0-50	24.56	EL-15.17	N63° W/31° NE	22
	27.13	EL-17.14	N12° W/48° NE	8
	33.37	EL-21.92	NS/70° E	19
	74.00	EL-53.05	N5° E/70° SE	8
	74.26	EL-53.25	N30° E/82° SE	10
H- -3.0-55	49.84	EL-37.19	N37° E/71° SE	15
	78.23	EL-60.44	N25° E/85° SE	14
H- -3.0-60	86.07	EL-70.90	N21° E/81° SE	4
H- -3.0-65	18.03	EL-12.70	N72° E/23° NW	7
	22.01	EL-16.31	N1° E/68° SE	4
	27.78	EL-21.54	N14° E/62° SE	16
	38.34	EL-31.11	N25° E/71° SE	8
	88.85	EL-76.89	NS/60° E	24
	89.76	EL-77.71	N2° W/64° NE	4
	91.04	EL-78.87	N2° E/77° SE	17
	102.18	EL-88.97	N83° W/16° SW	4
	28.57	EL-23.96	N13° W/76° NE	19
H- -3.0-75	42.59	EL-37.50	N2° E/66° SE	10
	49.98	EL-44.64	N30° E/54° SE	4
	34.73	EL-31.10	N18° E/69° SE	4
H- -2.6	13.09	EL-9.43	N3° E/65° SE	6
	16.38	EL-12.72	N38° E/41° NW	3
H- -2.5	18.10	EL-14.43	N21° E/52° SE	10
	29.44	EL-25.77	N28° E/62° SE	5
H- -2.3	12.21	EL-8.54	N21° W/63° NE	4
	12.80	EL-9.13	N15° E/55° SE	5
	53.63	EL-49.96	N28° E/71° NW	5
H- -2.18	26.91	EL-23.27	N3° W/63° NE	6
	59.88	EL-56.24	N12° W/67° NE	20
	96.42	EL-92.78	N7° W/54° NE	14
	96.86	EL-93.22	N16° W/58° NE	11
	116.51	EL-112.87	N20° W/59° NE	5
H- -2.0	185.01	EL-181.37	N17° E/68° NW	20
	19.73	EL-16.09	N24° W/70° NE	22
	40.01	EL-36.37	N4° E/69° SE	5
H- -1.9	25.04	EL-21.40	N18° W/68° NE	51
	36.28	EL-32.64	N22° W/63° NE	15
H- -1.86	55.70	EL-52.06	N51° E/70° SE	3
	43.35	EL-39.71	N19° W/74° NE	21
H- -1.80	61.95	EL-58.31	N15° E/73° SE	9
	57.55	EL-53.91	N8° W/72° NE	26
H- -1.7	59.24	EL-55.60	N6° E/77° NW	4
	62.46	EL-58.82	N21° W/63° NE	22
H- -1.6	75.67	EL-72.03	N4° E/65° SE	17
	102.83	EL-99.19	N3° W/62° NE	4
H- -1.5	53.30	EL-49.66	N39° W/80° NE	4
	74.35	EL-70.71	N25° W/64° NE	16
	77.93	EL-74.29	N7° E/63° SE	21
	84.28	EL-80.64	N9° E/56° SE	9
	90.60	EL-86.96	N30° E/74° SE	9
	116.83	EL-113.19	N81° E/58° NW	7
	96.35	EL-92.66	N7° W/74° NE	14
H- -1.3	96.74	EL-93.05	N1° W/72° NE	3
	97.30	EL-93.61	NS/48° E	13
	108.99	EL-105.30	N29° E/60° SE	14
	121.79	EL-118.10	N5° E/52° SE	6
	132.56	EL-128.87	N24° E/58° NW	24
H- -1.2	27.05	EL-23.41	N15° E/69° SE	33
	93.90	EL-90.26	N16° E/77° NW	9
	113.68	EL-110.04	N9° W/64° NE	3
	114.05	EL-110.41	N16° W/73° NE	14
	114.75	EL-111.11	N7° E/78° SE	4
	118.76	EL-115.12	N2° W/64° SW	48
	122.07	EL-118.43	N18° E/53° SE	6
	41.51	EL-37.85	N4° W/64° NE	10
H- -1.0	42.25	EL-38.59	N13° E/64° SE	9
	46.36	EL-42.70	N4° E/80° SE	7
	90.03	EL-86.37	N20° E/75° NW	28
	113.16	EL-109.50	NS/57° E	5
	116.26	EL-112.60	N13° W/74° SW	3
	116.71	EL-113.05	N5° E/74° NW	4
H- -0.5	127.33	EL-123.67	N5° E/56° SE	11
	50.21	EL-46.57	N10° W/70° SW	31
H- -0.3-65	26.99	EL-20.77	N20° W/80° SW	4
	60.54	EL-51.18	N8° W/60° NE	11
	31.57	EL-27.40	N5° E/68° NW	72
H- -0.3-80	32.28	EL-28.10	N7° W/64° SW	4
	61.10	EL-56.48	N16° E/64° SE	15
	64.42	EL-59.75	N11° W/82° NE	3
	130.88	EL-125.20	N19° W/64° NE	11
	146.36	EL-140.45	N12° E/76° SE	6
H-0.2-60	22.77	EL-14.99	N26° W/62° NE	10
	84.35	EL-68.32	N26° E/80° SE	55
H-0.2-75	116.75	EL-108.04	N2° E/81° SE	47
	117.50	EL-108.77	N1° W/82° NE	12
H-0.2-75	165.78	EL-155.40	N22° W/77° NE	9
	19.65	EL-6.36	N23° E/75° SE	14
	26.90	EL-11.02	N21° W/70° NE	9
H-0.9-40	29.00	EL-15.95	N19° W/68° NE	11
H-0.9-70	27.35	EL-19.43	N8° E/76° SE	18
	29.82	EL-21.75	N3° W/79° NE	21
H-0.9-75	36.51	EL-29.00	N9° E/80° SE	22
H-1.1-70	48.17	EL-38.48	N15° E/80° SE	94
	54.12	EL-45.50	N26° E/80° SE	44
H-1.1-80	64.13	EL-56.38	N13° E/79° SE	16
	64.79	EL-57.03	N4° W/62° NE	4
	66.27	EL-58.48	N5° W/73° NE	6
H-1.1-87	84.30	EL-77.40	N20° E/81° SE	45
	29.63	EL-22.85	N48° E/56° NW	7
H-1.1	103.77	EL-96.99	N21° E/80° SE	71
	27.67	EL-20.38	N2° E/76° SE	10
H-1.3-88	47.96	EL-40.66	N64° E/69° NW	3
	139.30	EL-131.95	N6° E/78° SE	75
	141.57	EL-134.21	N13° E/80° SE	17
	156.84	EL-149.47	N49° E/57° NW	4
H-1.5-95	33.59	EL-25.43	N65° E/42° NW	4
	105.26	EL-96.83	N35° W/79° NE	5
	160.54	EL-151.90	N7° W/81° NE	10
	162.56	EL-153.91	N12° E/89° SE	4
H-1.5-40	36.76	EL-15.60	N65° W/26° NE	4
	43.18	EL-19.73	N13° E/72° SE	7
	43.81	EL-20.13	N8° E/65° SE	14
H-2.3-85	46.48	EL-21.85	N30° E/63° NW	8
	59.40	EL-49.28	N16° E/81° SE	27
H-2.3-50	49.99	EL-28.40	N29° W/71° NE	21
	74.75	EL-47.37	N7° E/71° SE	10
H-2.3-25	27.15	EL-1.58	N28° W/62° NE	10
	27.49	EL-1.73	N17° W/58° NE	7
	36.22	EL-5.42	N15° W/71° NE	6
	36.77	EL-5.65	N12° E/57° SE	13
	44.19	EL-8.79	N34° W/89° NE	4
	44.46	EL-8.90	N44° W/76° NE	4
	56.18	EL-13.85	N61° W/86° SW	11
	105.83	EL-34.84	N1° E/88° NW	5
G-3.8-65	44.78	EL-29.64	N62° W/86° NE	4
	46.31	EL-31.03	N52° W/87° NE	9
	63.28	EL-46.41	N11° E/73° SE	4
	72.80	EL-55.04	N13° W/79° NE	12
	122.66	EL-100.23	N20° E/57° SE	16

・抽出した破砕部の性状については、[補足資料2.4-1\(2\)\(3\)](#)、ボーリング柱状図等は、[データ集1.2.3](#)

補足資料2. 4－1

破碎部性状一覽表

余白

(2) K-1～K-21の性状一覧表

破碎部性状一覧表(海岸部露岩域)

■破碎部の性状の一覧表を以下に示す。

断層の破碎部性状一覧表(1/4)

名称	断層長さ※1	一般走向(真北)	傾斜	調査内容						破碎部の幅(cm)※3	破碎部の分類		
				調査方法	地点名・孔名	確認深度(m)	標高(m)	走向・傾斜(走向は真北)	地表面で測定した幅(cm)			破碎部の幅(cm)※2	
K-1	205m	N4° E	58° SE	露頭観察	a	—	—	地表面	—	7	6	10 (19)	③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	—	地表面	—	8	7		
					c	—	—	地表面	—	5	4		
					d	—	—	地表面	—	10	8		
					e	—	—	地表面	—	15	13		
					f	—	—	地表面	—	22	19		
					g	—	—	地表面	—	10	8		
					h	—	—	地表面	—	15	13		
					i	—	—	地表面	—	12	10		
					j	—	—	地表面	—	15	13		
					k	—	—	地表面	—	12	10		
					l	—	—	地表面	—	10	10		
					K-2	180m以上	N19° E	72° SE	露頭観察	a	—		
b	—	—	地表面	—						10	10		
c	—	—	地表面	—						10	10		
d	—	—	地表面	—						18	17		
e	—	—	地表面	—						10	10		
f	—	—	地表面	—						28	27		
g	—	—	地表面	—						15	14		
h	—	—	地表面	—						30	29		
i	—	—	地表面	—						48	46		
j	—	—	地表面	—						40	38		
k	—	—	地表面	—						13	12		
G-1.5-35	41.58	EL-19.36	N16° E/85° NW	—						18	—		
G-1.5-50	42.42	EL-28.01	N 4° E/79° SE	—						25	—		
G-1.5-80	77.82	EL-72.12	N8° E/72° SE	—					56	—			
	80.19	EL-74.48	N 6° E/75° SE	—					58	—			
G-1.9-20	50.10	EL-13.25	N 7° E/81° SE	—					4	—			
G-1.9-27	47.81	EL-17.82	N31° E/83° SE	—					31	—			
	19.65	EL-6.36	N23° E/75° SE	—					14	—			
H-0.9-40	25.68	EL-10.24	N2° W/57° NE	—					2	—			
	26.90	EL-11.02	N21° W/70° NE	—					9	—			
	20.93	EL-9.76	N27° E/71° SE	—					2	—			
H-0.9-50	21.57	EL-10.25	N31° E/83° SE	—					1	—			
	26.52	EL-14.05	N13° E/69° SE	—					1	—			
	26.75	EL-14.22	N1° E/56° SE	—					(3)	—			
	29.00	EL-15.95	N19° W/68° NE	—					11	—			
H-0.9-60	23.15	EL-13.78	N6° E/75° SE	—					(3)	—			
	27.44	EL-17.49	N4° W/85° NE	—					2	—			
H-0.9-70	31.58	EL-21.08	N16° E/74° SE	—					(3)	—			
	27.35	EL-19.43	N8° E/76° SE	—					18	—			
	29.82	EL-21.75	N3° W/79° NE	—					21	—			
H-0.9-75	39.68	EL-31.02	N12° W/87° NE	—					2	—			
	36.51	EL-29.00	N9° E/80° SE	—					22	—			
H-1.1-70	46.91	EL-39.04	N12° E/79° SE	—					2	—			
	49.65	EL-41.69	N10° E/89° SE	—					2	—			
	48.17	EL-38.48	N15° E/80° SE	—					94	—			
H-1.1-75	58.59	EL-48.28	N7° E/77° SE	—					(3)	—			
	54.12	EL-45.50	N26° E/80° SE	—					44	—			
H-1.1-80	64.13	EL-56.38	N13° E/79° SE	—					16	—			
	64.79	EL-57.03	N4° W/62° NE	—					4	—			
	65.18	EL-57.41	N14° W/83° NE	—					1	—			
	66.27	EL-58.48	N5° W/73° NE	—					6	—			
	66.90	EL-59.10	N6° E/84° SE	—					(3)	—			
H-1.1-87	84.30	EL-77.40	N20° E/81° SE	—	45	—							
H-1.1	103.77	EL-96.99	N21° E/80° SE	—	71	—							
H-1.3-88	139.30	EL-131.95	N6° E/78° SE	—	75	—							
	141.57	EL-134.21	N13° E/80° SE	—	17	—							
H-1.5-95	160.54	EL-151.90	N7° W/81° NE	—	10	—							
	162.56	EL-153.91	N12° E/89° SE	—	4	—							

※1:露頭もしくはボーリングにより破碎部が認められないことを確認した地点までの長さ。端部が確認できなかったものを〇m以上と記載。海岸部において、延長部が海中と
なる箇所は、断層を直接確認した長さ及び延長の露岩域で断層が確認されなかった地点までの長さをそれぞれ算定し、〇m以上〇m以下という記載とした。
※2:地表面で測定した幅はP.2.4-1-3の考え方にに基づき、面の傾斜を考慮し補正。また、幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記。
※3:すべての破碎部の平均値(下段括弧内は最大値)
平均値は表中□で算定。なお、同一孔で複数破碎部が確認される場合、幅が大きい破碎部の値を用いた。

破碎部性状一覧表(海岸部露岩域)

断層の破碎部性状一覧表(2/4)

名称	断層長さ※1	一般走向 (真北)	傾斜	調査内容						破碎部の幅 (cm)※3	破碎部の分類	
				調査方法	地点名・孔名	確認深度(m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	地表面で 測定した幅 (cm)			破碎部の幅 (cm)※2
K-3	200m以上	N16° E	70° SE	露頭観察	a	—	地表面	—	18	17	12 (19)	③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	地表面	—	18	17		
					c	—	地表面	—	20	19		
					d	—	地表面	—	10	9		
					e	—	地表面	—	12	11		
					f	—	地表面	—	18	17		
				ボーリング調査	M-2.2	48.83	EL-31.52	N2° W/81° NE	—	11		
					M-2.2-2	78.25	EL-72.57	N6° W/74° NE	—	1		
K-4	45m以上	N56° W	85° NE	露頭観察	a	—	地表面	—	26	26	13 (26)	① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	地表面	—	6	6		
					c	—	地表面	—	10	10		
					d	—	地表面	—	12	12		
e	—	地表面	—		10	10						
f	—	地表面	—		18	18						
ボーリング調査	G-1.9-20	71.29	EL-20.49	N57° W/80° NE	—	5						
	G-1.9-27	84.69	EL-34.56	N52° W/68° NE	—	15						
K-5	75m以上	N63° W	64° NE	露頭観察	a	—	地表面	—	15	13	11 (18)	① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	地表面	—	20	18		
					c	—	地表面	—	20	18		
					d	—	地表面	—	12	11		
					e	—	地表面	—	5	4		
					f	—	地表面	—	7	6		
				ボーリング調査	G-1.5-35	40.06	EL-18.49	N62° W/88° NE	—	18		
					G-1.5-50	46.73	EL-31.31	N69° W/72° NE	—	8		
K-6	25m以上 130m以下	N2° W	60° NE	露頭観察	a	—	地表面	—	6	5	7 (9)	③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	地表面	—	10	9		
K-7	20m以上 55m以下	N8° W	88° NE	露頭観察	a	—	地表面	—	11	11	8 (11)	③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	地表面	—	2	2		
					c	—	地表面	—	11	11		
K-8	35m以上 70m以下	N15° W	80° NE	露頭観察	a	—	地表面	—	21	21	11 (21)	③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	地表面	—	10	10		
					c	—	地表面	—	4	4		
K-9	40m以上 120m以下	N10° E	88° SE	露頭観察	a	—	地表面	—	12	12	7 (12)	③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	地表面	—	4	4		
					c	—	地表面	—	6	6		
K-10	60m	N16° W	62° NE	露頭観察	a	—	地表面	—	10	9	9 (10)	③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	地表面	—	11	10		
					c	—	地表面	—	9	8		
K-11	60m	N14° E	70° NW	露頭観察	a	—	地表面	—	8	8	9 (9)	③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
					b	—	地表面	—	10	9		
					c	—	地表面	—	10	9		

※1:露頭もしくはボーリングにより破碎部が認められないことを確認した地点までの長さ。端部が確認できなかったものを〇m以上と記載。海岸部において、延長部が海中となる箇所は、断層を直接確認した長さ及び延長の露岩域で断層が確認されなかった地点までの長さをそれぞれ算定し、〇m以上〇m以下という記載とした。

※2:地表面で測定した幅はP.2.4-1-3の考えに基づき、面の傾斜を考慮し補正。また、幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記。

※3:すべての破碎部の平均値(下段括弧内は最大値)平均値は表中□で算定。なお、同一孔で複数破碎部が確認される場合、幅が大きい破碎部の値を用いた。

断層の破碎部性状一覧表(3/4)

名称	断層長さ※1	走向 (真北)	傾斜	調査内容							破碎部の幅 (cm)※3	破碎部の分類	
				調査方法	地点名・孔名	確認深度(m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	地表面で 測定した幅 (cm)	破碎部の幅 (cm)※2			
K-12	50m以上 335m以下	N19° W	71° NE	ボーリング 調査	H-2.3-25	27.15	EL-1.58	N28° W/62° NE	—	10	14 (21)	① 粘土状破碎部 ②-1 砂状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部	
						27.49	EL-1.73	N17° W/58° NE	—	7			
						49.99	EL-28.40	N29° W/71° NE	—	21			
						72.80	EL-55.04	N13° W/79° NE	—	12			
K-13	55m以上 275m以下	N13° E	73° SE	ボーリング 調査	H-1.5-40	43.18	EL-19.73	N13° E/72° SE	—	7	21 (27)	① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部	
						43.81	EL-20.13	N8° E/65° SE	—	14			
						59.40	EL-49.28	N16° E/81° SE	—	27			
						75.72	EL-57.69	N9° W/86° NE	—	(3)			
K-14	40m以上	N7° E	66° NW	ボーリング 調査	H- -2.18	185.01	EL-181.37	N17° E/68° NW	—	20	37 (72)	① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部	
						H- -1.3	132.56	EL-128.87	N24° E/58° NW	—			24
						H- -1.2	118.76	EL-115.12	N2° W/64° SW	—			48
						H- -1.0	90.03	EL-86.37	N20° E/75° NW	—			28
						H- -0.5	50.21	EL-46.57	N10° W/70° SW	—			31
						H- -0.3-80	31.57	EL-27.40	N5° E/68° NW	—			72
						32.28	EL-28.10	N7° W/64° SW	—	4			
K-15	30m以上	N4° E	68° SE	ボーリング 調査	H- -1.3	13.13	EL-9.44	NS/70° E	—	(3)	14 (33)	① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部	
						13.48	EL-9.79	N2° E/65° SE	—	1			
						H- -1.2	27.05	EL-23.41	N15° E/69° SE	—			33
						41.51	EL-37.85	N4° W/64° NE	—	10			
						H- -1.0	42.25	EL-38.59	N13° E/64° SE	—			9
K-16	20m以上	N2° W	66° NE	ボーリング 調査	H- -2.3	12.21	EL-8.54	N21° W/63° NE	—	4	18 (51)	① 粘土状破碎部 ②-1 砂状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部	
						12.80	EL-9.13	N15° E/55° SE	—	5			
						H- -2.18	26.91	EL-23.27	N3° W/63° NE	—			6
						H- -2.12	30.88	EL-27.24	N6° W/63° NE	—			2
						33.27	EL-29.63	N23° E/69° SE	—	(3)			
						H- -2.0	19.73	EL-16.09	N24° W/70° NE	—			22
						40.01	EL-36.37	N4° E/69° SE	—	5			
						H- -1.9	25.04	EL-21.40	N18° W/68° NE	—			51
						H- -1.86	36.28	EL-32.64	N22° W/63° NE	—			15
						H- -1.80	43.35	EL-39.71	N19° W/74° NE	—			21
						61.95	EL-58.31	N15° E/73° SE	—	9			
						H- -1.7	57.55	EL-53.91	N8° W/72° NE	—			26
						71.32	EL-67.68	N13° E/72° SE	—	2			
						H- -1.6	62.46	EL-58.82	N21° W/63° NE	—			22
						75.67	EL-72.03	N4° E/65° SE	—	17			
						H- -1.5	74.35	EL-70.71	N25° W/64° NE	—			16
						77.93	EL-74.29	N7° E/63° SE	—	21			
						84.28	EL-80.64	N9° E/56° SE	—	9			
						90.60	EL-86.96	N30° E/74° SE	—	9			
						H- -1.3	96.35	EL-92.66	N7° W/74° NE	—			14
						96.74	EL-93.05	N1° W/72° NE	—	3			
						97.30	EL-93.61	NS/48° E	—	13			
						97.44	EL-93.75	N4° W/66° NE	—	2			
108.99	EL-105.30	N29° E/60° SE	—	14									
H- -1.2	113.68	EL-110.04	N9° W/64° NE	—	3								
114.05	EL-110.41	N16° W/73° NE	—	14									
114.75	EL-111.11	N7° E/78° SE	—	4									
K-17	-	N18° E	78° SE	ボーリング 調査	H- -3.0-45	70.46	EL-46.18	N8° E/86° SE	—	13	12 (17)	① 粘土状破碎部 ②-1 砂状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部	
						74.00	EL-53.05	N5° E/70° SE	—	8			
						74.26	EL-53.25	N30° E/82° SE	—	10			
						H- -3.0-55	78.23	EL-60.44	N25° E/85° SE	—			14
						H- -3.0-60	86.07	EL-70.90	N21° E/81° SE	—			4
						H- -3.0-65	91.04	EL-78.87	N2° E/77° SE	—			17
91.53	EL-79.31	N33° E/67° SE	—	(3)									

※1: 露頭もしくはボーリングにより破碎部が認められないことを確認した地点までの長さ。端部が確認できなかったものを○m以上と記載。海岸部において、延長部が海中と ※3: すべての破碎部の平均値(下段括弧内は最大値)

なる箇所は、断層を直接確認した長さ及び延長の露岩域で断層が確認されなかった地点までの長さをそれぞれ算定し、○m以上○m以下という記載とした。

※2: 地表面で測定した幅はP.2.4-1-3の考え方にに基づき、面の傾斜を考慮し補正。また、幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記。

平均値は表中□で算定。なお、同一孔で複数破碎部が確認される場合、幅が大きい破碎部の値を用いた。

断層の破碎部性状一覧表(4/4)

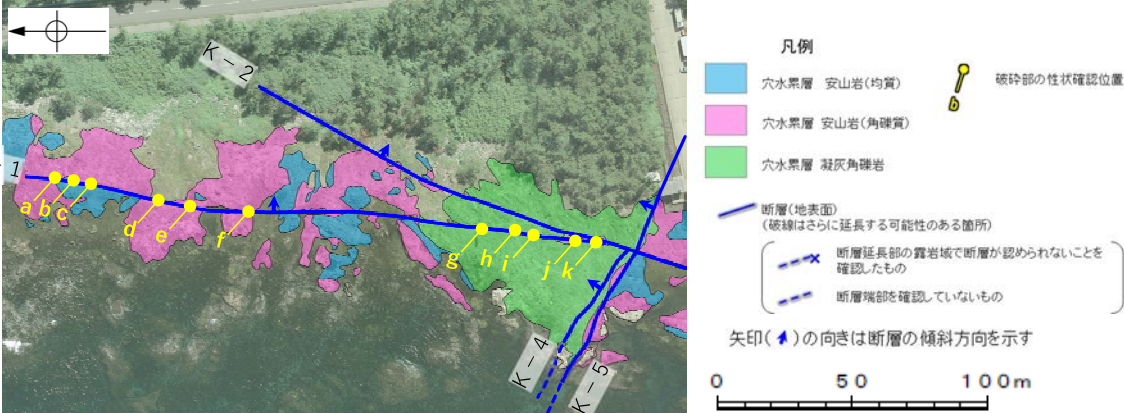
名称	断層長さ※1	走向 (真北)	傾斜	調査内容							破碎部の幅 (cm)※3	破碎部の分類
				調査方法	地点名・孔名	確認深度(m)	標高 (m)	走向・傾斜 (走向は真北)	地表面で 測定した幅 (cm)	破碎部の幅 (cm)※2		
K-18	-	N8° E	78° SE	ボーリング 調査	H-0.2-60	84.35	EL-68.32	N26° E/80° SE	-	55	51 (55)	① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
						116.75	EL-108.04	N2° E/81° SE	-	47		
					H-0.2-75	117.50	EL-108.77	N1° W/82° NE	-	12		
						125.24	EL-116.24	N7° E/69° SE	-	2		
K-19	-	N15° W	65° NE	ボーリング 調査	H- -1.0	113.16	EL-109.50	NS/57° E	-	5	8 (11)	① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
						114.61	EL-110.95	N35° W/66° NE	-	1		
					H- -0.3-80	129.91	EL-124.25	N5° E/65° SE	-	2		
						130.88	EL-125.20	N19° W/64° NE	-	11		
						165.78	EL-155.40	N22° W/77° NE	-	9		
K-20	-	N15° E	63° SE	ボーリング 調査	H- -2.6	13.09	EL-9.43	N3° E/65° SE	-	6	5 (6)	① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
					H- -2.5	29.44	EL-25.77	N28° E/62° SE	-	5		
K-21	-	N4° E	66° SE	ボーリング 調査	H- -3.0-45	32.84	EL-19.58	N9° E/62° SE	-	3	11 (19)	① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
					H- -3.0-50	33.37	EL-21.92	NS/70° E	-	19		

※1:露頭もしくはボーリングにより破碎部が認められないことを確認した地点までの長さ。末端が確認できなかったものを〇m以上と記載。海岸部において、延長部が海中となる箇所は、断層を直接確認した長さ及び延長の露岩域で断層が確認されなかった地点までの長さをそれぞれ算定し、〇m以上〇m以下という記載とした。

※2:地表面で測定した幅はP.2.4-1-3の考え方に基づき、面の傾斜を考慮し補正。また、幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記。

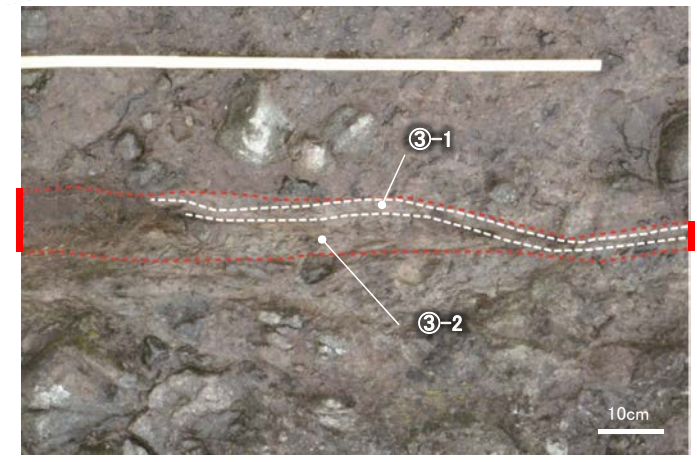
※3:すべての破碎部の平均値(下段括弧内は最大値)平均値は表中□で算定。なお、同一孔で複数破碎部が確認される場合、幅が大きい破碎部の値を用いた。

K-1の性状一覧表 露頭観察(1/1)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破砕部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-1	N4° E/58° SE	a	4~7	 <p>調査位置図</p>
		b	6~8	
		c	3~5	
		d	7~10	
		e	10~15	
		f	20~22	
		g	10	
		h	10~15	
		i	4~12	
		j	10~15	
		k	8~12	

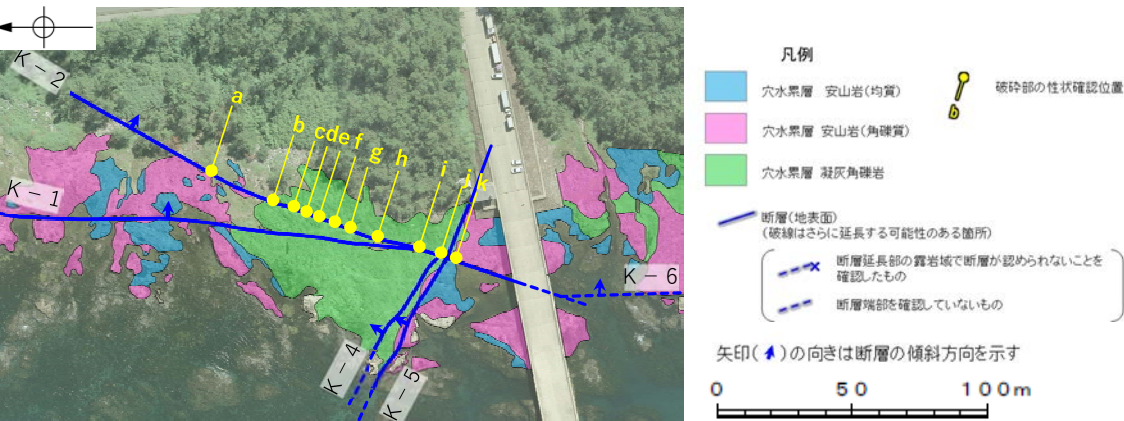


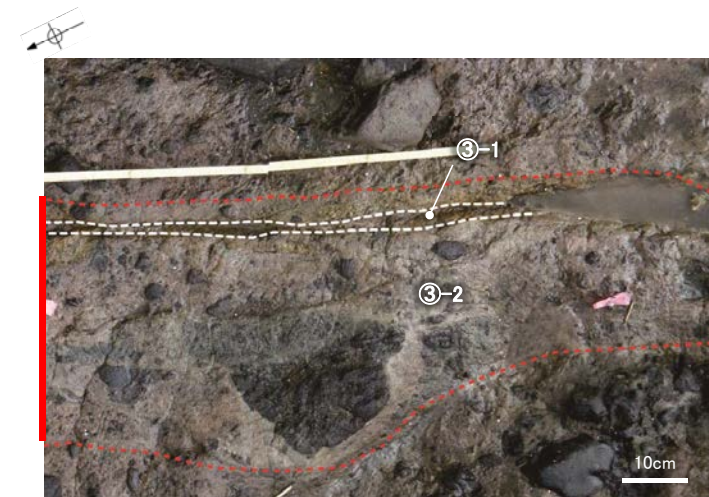
測定番号i地点 遠景



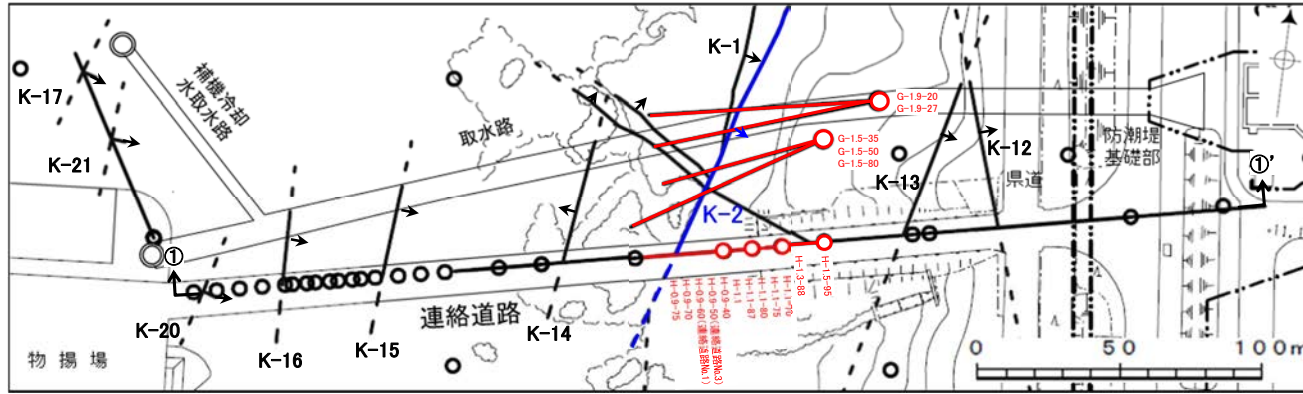
測定番号i地点の破砕部の状況

K-2の性状一覧表 露頭観察(1/1)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破砕部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-2	N19° E/72° SE	a	8~10	 <p>調査位置図</p>
		b	6~10	
		c	6~10	
		d	15~18	
		e	6~10	
		f	12~28	
		g	12~15	
		h	15~30	
		i	20~48	
		j	25~40	
		k	11~13	



ボーリング調査 位置図(K-2)

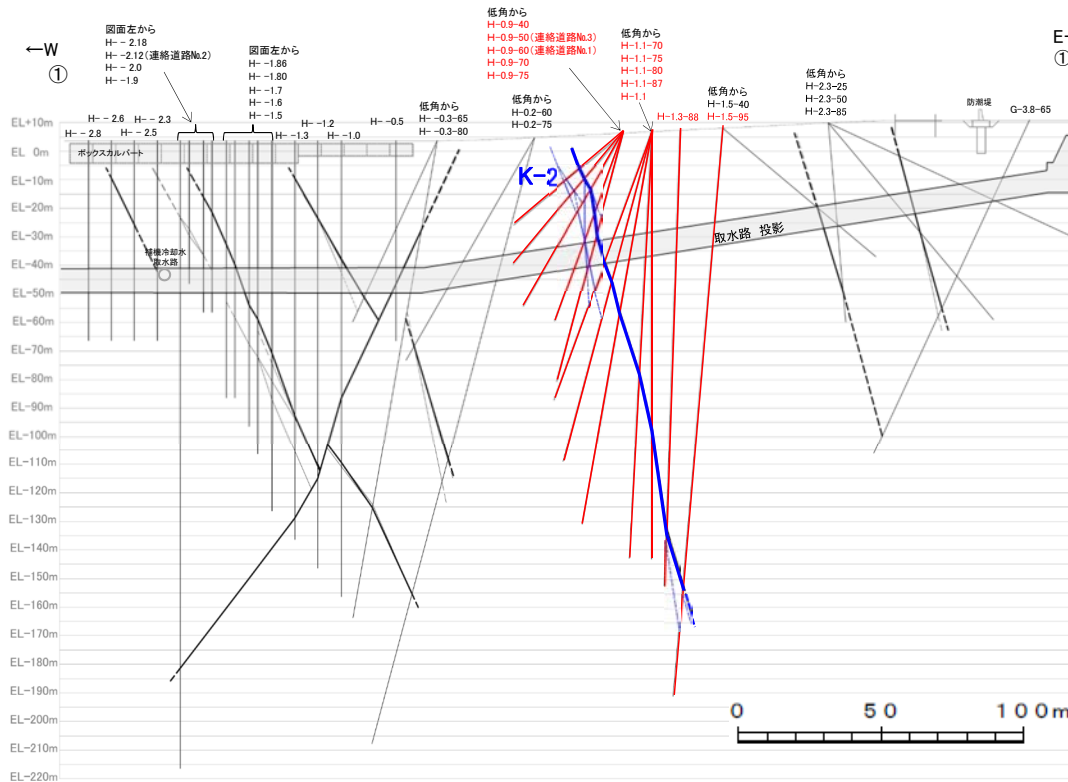


矢印(➡)の向きは断層の傾斜方向を示す

平面図

凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- K-2確認ボーリング孔
- 基礎掘削面
- K-2(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- K-2以外の断層(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- 断層端部を確認していないもの
- K+○ (海岸部 EL.0m)
(K-18, K-19については地表付近まで連続しないため記載していない)



①-①' 断面図





凡 例

- K-2(主部を太線で表記)
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- K-2以外の断層(主部を太線で表記)
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- K-2確認ボーリング孔
- ※ 取水路の構造物を断面図に投影。

K-2の性状一覧表 ボーリング調査(1/18)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p style="text-align: center;">41.4 41.5 41.6 41.7 41.8 41.9 42.0 (m)</p> <p style="text-align: center;">③-1 ②-2 ③-1</p> </div> <div style="flex: 0.5;"> <p style="text-align: center;">— 破碎部</p> </div> <div style="flex: 1;"> <p>① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部</p> </div> </div>
K-2	G-1.5-35 (傾斜35°)	41.58 (EL-19.36)	N16° E/85° NW	18	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p style="text-align: center;">42.0 42.1 42.2 42.3 42.4 42.5 42.6 (m)</p> <p style="text-align: center;">③-1 ① ③-1</p> </div> <div style="flex: 0.5;"> <p style="text-align: center;">— 破碎部</p> </div> </div>
	G-1.5-50 (傾斜50°)	42.42 (EL-28.01)	N 4° E/79° SE	25	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p style="text-align: center;">42.6 42.7 42.8 42.9 43.0 (m)</p> <p style="text-align: center;">③-1</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">※本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>

K-2の性状一覧表 ボーリング調査(2/18)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> — 破砕部 ②-1 砂状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: x-small;"> ②-2 角礫状破砕部 </div>
K-2	G-1.5-80 (傾斜80°)	77.82 (EL-72.12)	N 8° E/72° SE	56	<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: x-small;"> 76.276.376.476.576.676.776.8 (m) </div> 
					<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: x-small;"> 76.876.977.077.177.277.377.4 (m) </div>  <div style="text-align: right; font-size: x-small;">③-1</div>
					<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: x-small;"> 77.477.577.677.777.877.978.0 (m) </div>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: x-small;"> ③-1②-1③-1②-1③-1 </div>
					<div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: x-small;"> 78.078.178.278.378.478.578.6 (m) </div>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: x-small;"> ③-1②-2 </div>

K-2の性状一覧表 ボーリング調査(3/18)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> — 破碎部 ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> ②-2 角礫状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部 </div>
K-2	G-1.5-80 (傾斜80°)	80.19 (EL-74.48)	N 6° E/75° SE	58	<p>The core photographs show four segments with the following elevation markers (m):</p> <ul style="list-style-type: none"> Segment 1: 78.6 to 79.2 Segment 2: 79.2 to 79.8 Segment 3: 79.8 to 80.4 Segment 4: 80.4 to 81.0 <p>Fracture labels in the photographs include ③-2, ③-1, ②-2, ①, ③-1, ③-2, ③-1, and ③-1.</p>

K-2の性状一覧表 ボーリング調査(4/18)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> ▬ 破砕部 ②-2 角礫状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 </div>
K-2	G-1.9-20 (傾斜20°)	50.10 (EL-13.25)	N 7° E/81° SE	4	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">49.8 49.9 50.0 50.1 50.2 50.3 50.4 (m)</div> </div>
	G-1.9-27 (傾斜27°)	47.81 (EL-17.82)	N31° E/83° SE	31	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">47.4 47.5 47.6 47.7 47.8 47.9 48.0 (m)</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="margin-right: 10px;">48.0 48.1 48.2 48.3 48.4 48.5 48.6 (m)</div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">※本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>

K-2の性状一覧表 ボーリング調査(5/18)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真							
					① 粘土状破砕部	③-1 固結した粘土・砂状破砕部						
K-2	H-0.9-40 (傾斜40°)	19.65 (EL-6.36)	N 23° E/75° SE	14	19.4	19.5	19.6	19.7	19.8	19.9	20.0 (m)	
		25.68 (EL-10.24)	N2° W/57° NE	2	25.4	25.5	25.6	25.7	25.8	25.9	26.0 (m)	
		26.90 (EL-11.02)	N21° W/70° NE	9	26.6	26.7	26.8	26.9	27.0	27.1	27.2 (m)	

K-2の性状一覧表 ボーリング調査(6/18)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)※	コア写真							
					破砕部 ②-1 砂状破砕部 ②-2 角礫状破砕部	③-1 固結した粘土・砂状破砕部 ③-2 固結した角礫状破砕部						
K-2	H-0.9-50 (傾斜50°)	20.93 (EL-9.76)	N27° E/71° SE	2	20.6	20.7	20.8	20.9	21.0	21.1	21.2 (m)	
		21.57 (EL-10.25)	N 31° E/83° SE	1	21.3	21.4	21.5	21.6	21.7	21.8	21.9 (m)	
		26.52 (EL-14.05)	N 13° E/69° SE	1	26.2	26.3	26.4	26.5	26.6	26.7	26.8 (m)	
		26.75 (EL-14.22)	N 1° E/56° SE	(3)	26.4	26.5	26.6	26.7	26.8	26.9	27.0 (m)	

紫字: 第671回審査会合以降の追加調査に伴う変更箇所

※幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記

K-2の性状一覧表 ボーリング調査(7/18)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)*	コア写真 破砕部 ① 粘土状破砕部 ②-2 角礫状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部
K-2	H-0.9-50 (傾斜50°)	29.00 (EL-15.95)	N 19° W/68° NE	11	
		23.15 (EL-13.78)	N6° E/75° SE	(3)	
	H-0.9-60 (傾斜60°)	27.44 (EL-17.49)	N4° W/85° NE	2	
		31.58 (EL-21.08)	N16° E/74° SE	(3)	

紫字: 第671回審査会合以降の追加調査に伴う変更箇所

*幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記

K-2の性状一覧表 ボーリング調査(8/18)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> — 破碎部 </div> <div style="font-size: small; margin-top: 5px;"> ① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 </div>
K-2	H-0.9-70 (傾斜70°)	27.35 (EL-19.43)	N 8° E/76° SE	18	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">27.2 27.3 27.4 27.5 27.6 27.7 27.8 (m)</div> </div>
		29.82 (EL-21.75)	N 3° W/79° NE	21	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">29.1 29.2 29.3 29.4 (m)</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="margin-right: 10px;">29.4 29.5 29.6 29.7 29.8 29.9 30.0 (m)</div> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>
		39.68 (EL-31.02)	N12° W/87° NE	2	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">39.4 39.5 39.6 39.7 39.8 39.9 40.0 (m)</div> </div>

K-2の性状一覧表 ボーリング調査(9/18)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 破砕部 ① 粘土状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 ③-2 固結した角礫状破砕部
K-2	H-0.9-75 (傾斜75°)	36.51 (EL-29.00)	N 9° E/80° SE	22	
		46.91 (EL-39.04)	N12° E/79° SE	2	
		49.65 (EL-41.69)	N 10° E/89° SE	2	

K-2の性状一覧表 ボーリング調査(10/18)


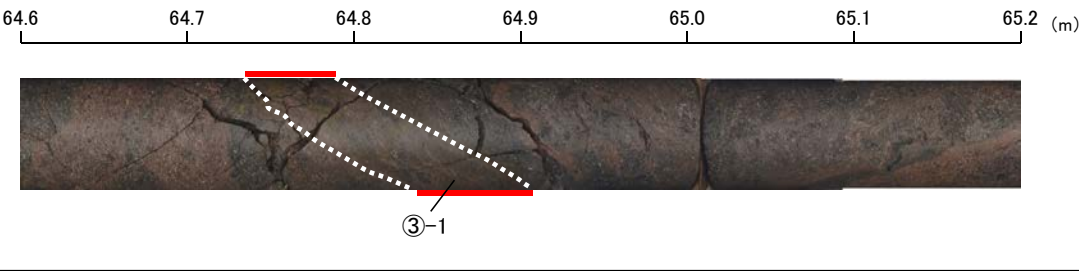
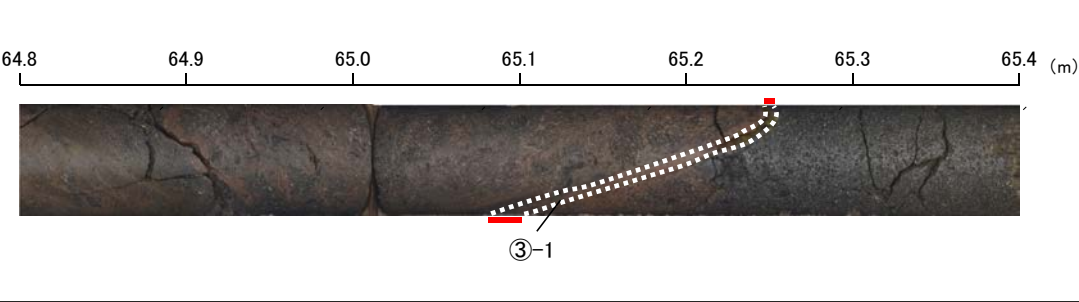
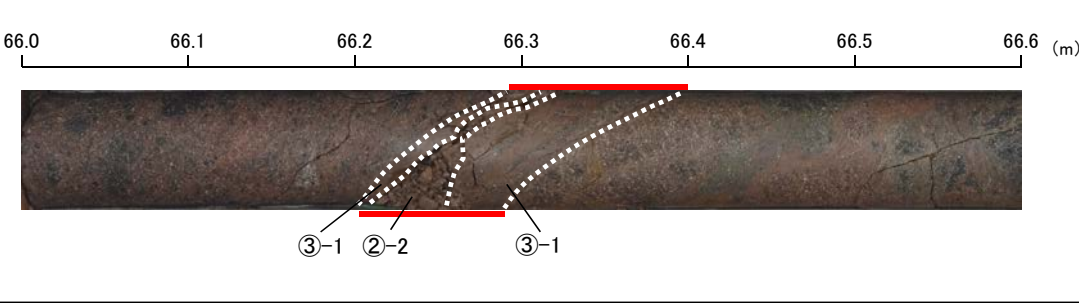
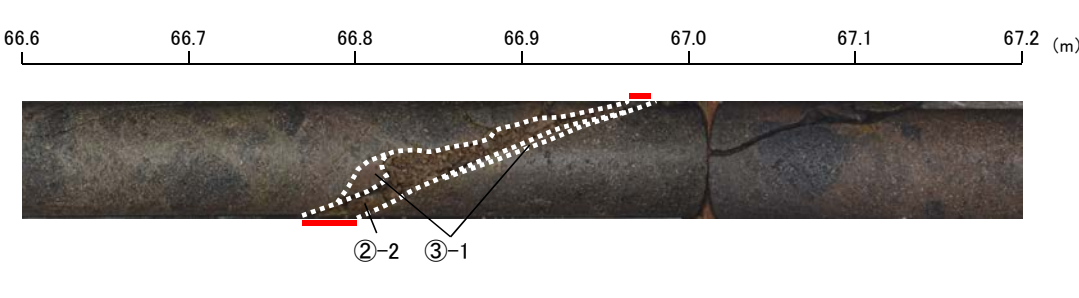
名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)*	コア写真 破砕部 ① 粘土状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 ③-2 固結した角礫状破砕部
K-2	H-1.1-70 (傾斜70°)	48.17 (EL-38.48)	N15° E/80° SE	94	<p>47.5 47.6 47.7 47.8 47.9 48.0 48.1 (m)</p> <p>③-2</p>
		48.7			<p>48.1 48.2 48.3 48.4 48.5 48.6 48.7 (m)</p> <p>③-1 ① ③-2</p>
		58.59 (EL-48.28)	N 7° E/77° SE	(3)	<p>48.7 48.8 48.9 49.0 49.1 49.2 49.3 (m)</p> <p>③-2</p>
					<p>49.3 49.4 49.5 49.6 49.7 (m)</p> <p>③-2</p>
					<p>58.3 58.4 58.5 58.6 58.7 58.8 58.9 (m)</p> <p>③-1</p>

※幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記

K-2の性状一覧表 ボーリング調査(11/18)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> — 破砕部</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> ① 粘土状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 ③-2 固結した角礫状破砕部 </div>
K-2	H-1.1-75 (傾斜75°)	54.12 (EL-45.50)	N 26° E/80° SE	44	<p>54.0 54.1 54.2 54.3 54.4 54.5 54.6 (m)</p> <p>54.6 54.7 54.8 54.9 55.0 55.1 55.2 (m)</p>
	H-1.1-80 (傾斜80°)	64.13 (EL-56.38)	N 13° E/79° SE	16	<p>63.9 64.0 64.1 64.2 64.3 64.4 64.5 (m)</p>

K-2の性状一覧表 ボーリング調査(12/18)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)※	 破碎部 コア写真 ②-2 角礫状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部
K-2	H-1.1-80 (傾斜80°)	64.79 (EL-57.03)	N 4° W/62° NE	4	
		65.18 (EL-57.41)	N 14° W/83° NE	1	
		66.27 (EL-58.48)	N 5° W/73° NE	6	
		66.90 (EL-59.10)	N 6° E/84° SE	(3)	

※幅が3cm未満であるが、四捨五入により3cmとなるものは(3)と表記





K-2の性状一覧表 ボーリング調査(13/18)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	<div style="text-align: right;"> — 破碎部 コア写真 ① 粘土状破碎部 ②-2 角礫状破碎部 ②-1 砂状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 </div>
K-2	H-1.1-87 (傾斜87°)	84.30 (EL-77.40)	N 20° E/81° SE	45	<p>83.3 83.4 83.5 83.6 83.7 83.8 83.9 (m)</p> <p>掘進区切り</p> <p>83.9 84.0 84.1 84.2 84.3 84.4 84.5 (m)</p> <p>84.5 84.6 84.7 ②-1 ① 84.8 ②-2 84.9 ②-1 85.0 ③-1 85.1 (m)</p> <p>85.1 85.2 85.3 85.4 85.5 85.6 85.7 (m)</p> <p>③-1</p>

K-2の性状一覧表 ボーリング調査(14/18)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 破砕部 ① 粘土状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 ③-2 固結した角礫状破砕部
K-2	H-1.1	103.77 (EL-96.99)	N 21° E/80° SE	71	<p>102.8 102.9 103.0 103.1 103.2 103.3 103.4 (m)</p> <p>103.4 103.5 103.6 103.7 103.8 103.9 104.0 (m)</p> <p>104.0 104.1 104.2 104.3 104.4 104.5 104.6 (m)</p> <p>104.6 104.7 104.8 104.9 105.0 105.1 105.2 (m)</p>

K-2の性状一覧表 ボーリング調査(15/18)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> コア写真 — 破砕部 <div style="font-size: small;"> ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 ③-2 固結した角礫状破砕部 </div> </div>
K-2	H-1.1	103.77 (EL-96.99)	N 21° E/80° SE	71	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-bottom: 5px;"> 105.2105.3105.4105.5105.6105.7105.8 (m) </div>  <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-bottom: 5px;"> 105.8105.9106.0106.1106.2106.3106.4 (m) </div>  <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-bottom: 5px;"> 106.4106.5106.6106.7106.8106.9107.0 (m) </div>  <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-bottom: 5px;"> 107.0107.1107.2107.3107.4107.5107.6 (m) </div>  </div>

K-2の性状一覧表 ボーリング調査(16/18)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> ▬ 破砕部 </div> <div style="margin-top: 5px;"> ① 粘土状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 ③-2 固結した角礫状破砕部 </div>
K-2	H-1.3-88 (傾斜88°)	139.30 (EL-131.95)	N 6° E/78° SE	75	137.1 137.2 137.3 137.4 137.5 137.6 137.7 (m) ③-1
					137.7 137.8 137.9 138.0 138.1 138.2 138.3 (m) ③-1
					138.3 138.4 138.5 138.6 138.7 138.8 138.9 (m) ③-1
					138.9 139.0 139.1 139.2 139.3 139.4 139.5 (m) ③-1 ① ③-2
					139.5 139.6 139.7 139.8 139.9 140.0 140.1 (m) ③-2

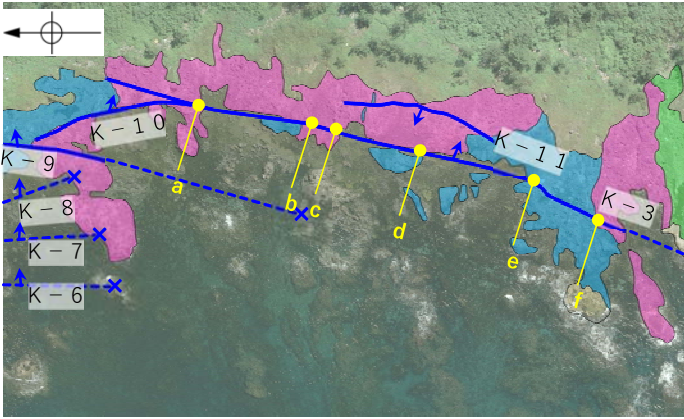

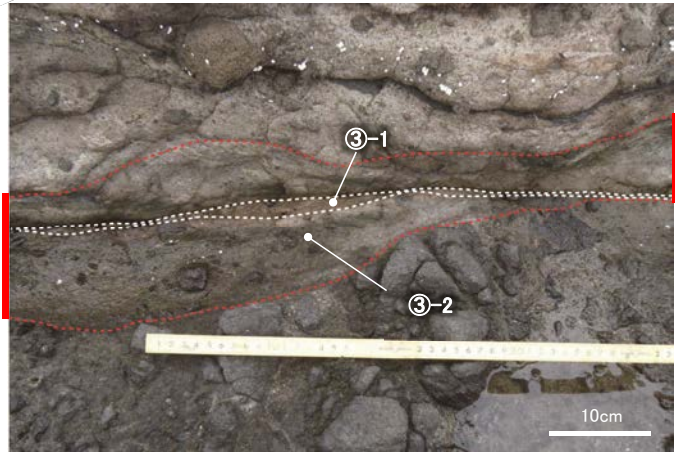
K-2の性状一覧表 ボーリング調査(17/18)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> — 破砕部</div> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> ① 粘土状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 </div>
K-2	H-1.3-88 (傾斜88°)	141.57 (EL-134.21)	N 13° E/80° SE	17	<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> 141.0 141.1 141.2 141.3 141.4 141.5 141.6 (m) </div>
					<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> 141.6 141.7 141.8 141.9 142.0 142.1 142.2 (m) </div>
					<div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> 142.2 142.3 142.4 142.5 142.6 142.7 142.8 (m) </div>

K-2の性状一覧表 ボーリング調査(18/18)

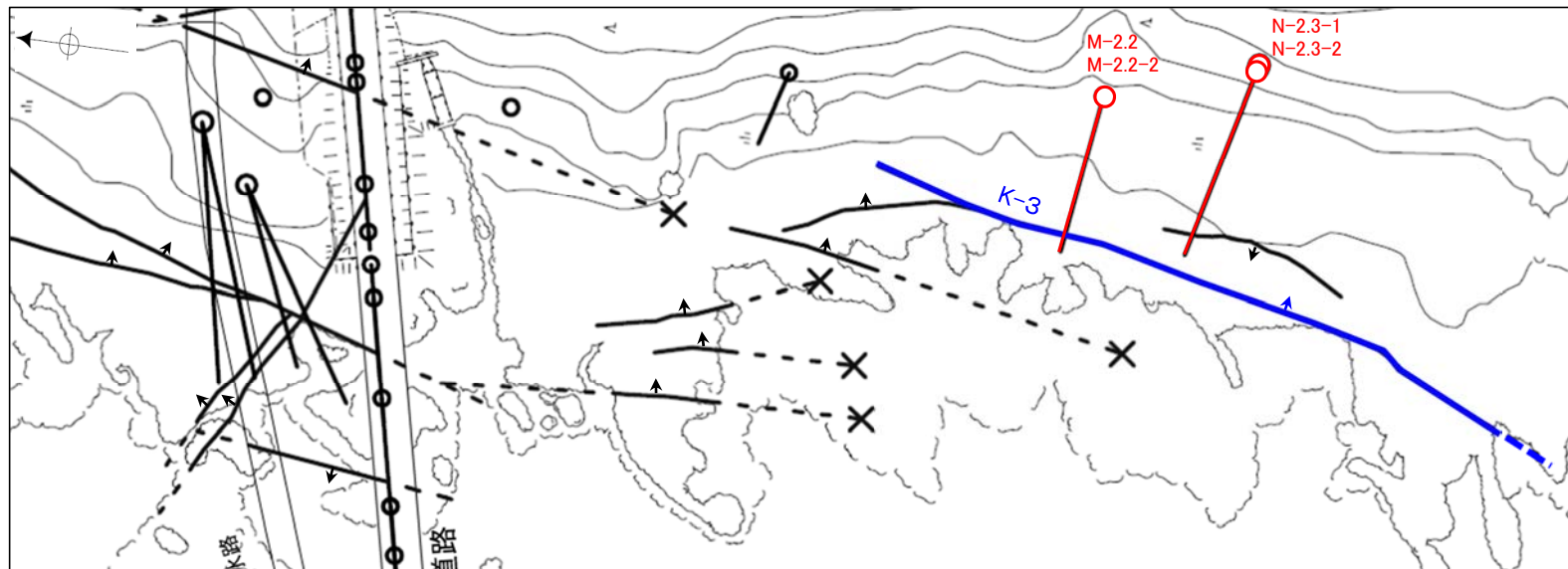
名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> — 破碎部</div> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> ① 粘土状破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 </div>
K-2	H-1.5-95 (傾斜85°)	160.54 (EL-151.90)	N 7° W/81° NE	10	
		162.56 (EL-153.91)	N 12° E/89° SE	4	

K-3の性状一覧表 露頭観察(1/1)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-3	N16° E/70° SE	a	15~18	 <p>調査位置図</p> <p>凡例 ■ 穴水累層 安山岩(均質) ■ 穴水累層 安山岩(角礫質) ■ 穴水累層 凝灰角礫岩 — 断層(地表面) (破線はさらに延長する可能性のある箇所) (---) 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの (---) 断層端部を確認していないもの 矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す 0 50 100m</p>
		b	10~18	
		c	14~20	
		d	4~10	
		e	4~12	
		f	5~18	
				 <p>測定番号b地点 遠景</p> <p>←WNW ESE→</p> <p>右写真箇所</p> <p>K-3</p>
				 <p>測定番号b地点の破碎部の状況</p> <p>③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部</p> <p>10cm</p>

代表写真箇所 ※: 地表面で測定した幅

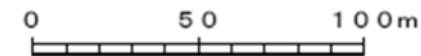
ボーリング調査 位置図(K-3)



- 凡 例
- 鉛直ボーリング孔
 - ⊙ 斜めボーリング孔
 - K-3確認ボーリング孔
 - 基礎掘削面
 - K-3(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
 - K-3以外の断層(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
 - X 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
 - 断層端部を確認していないもの
 - K-○ (海岸部 EL. 0m)
(K-18, K-19については地表付近まで連続しないため記載していない)

矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

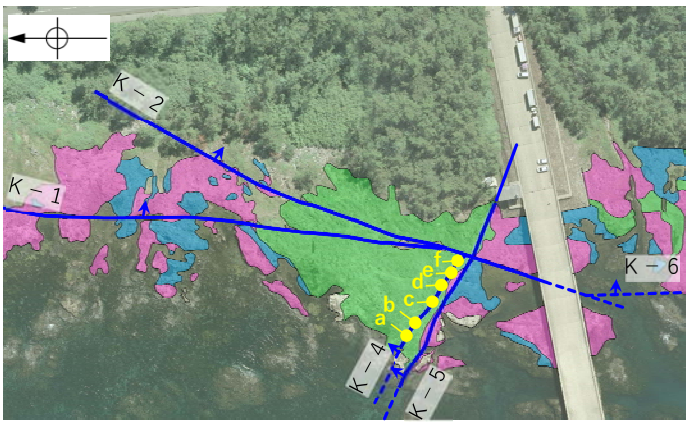
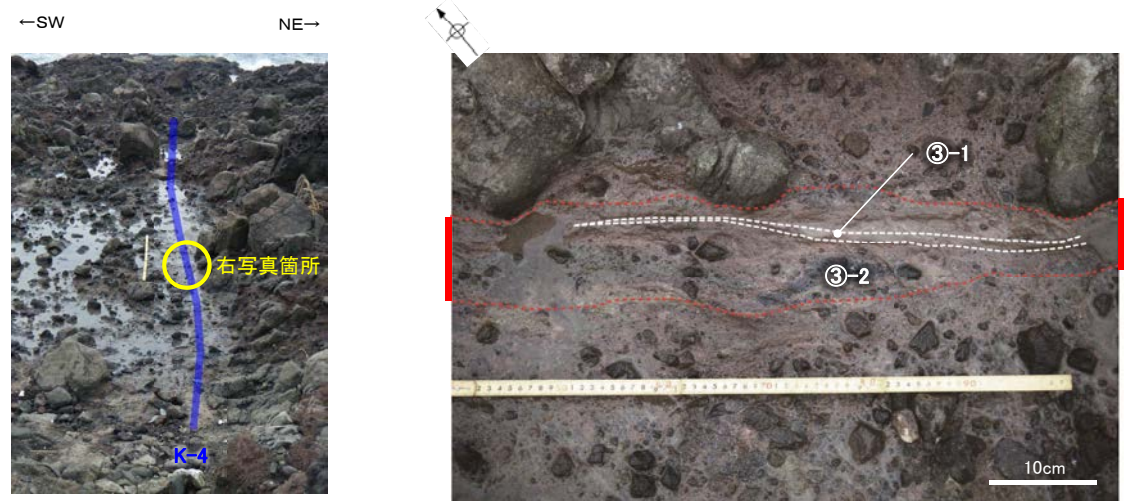
調査位置図



K-3の性状一覧表 ボーリング調査(1/1)

名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 ■ 破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部
K-3	M-2.2 (傾斜45°)	48.83 (EL-31.52)	N2° W/81° NE	11	
	M-2.2-2 (傾斜75°)	78.25 (EL-72.57)	N6° W/74° NE	1	
	N-2.3-1 (傾斜35°)	66.35 (EL-32.48)	N18° E/72° SE	4	
	N-2.3-2 (傾斜60°)	85.00 (EL-67.73)	N30° E/84° SE	11	

K-4の性状一覧表 露頭観察(1/1)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-4	N56° W/85° NE	a	10~26	 <p>調査位置図</p>
		b	5~6	
		c	6~10	
		d	10~12	
		e	7~10	
		f	12~18	
 <p>測定番号c地点 遠景</p> <p>測定番号c地点の破碎部の状況</p>				

== 破碎部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部
③-2 固結した角礫状破砕部

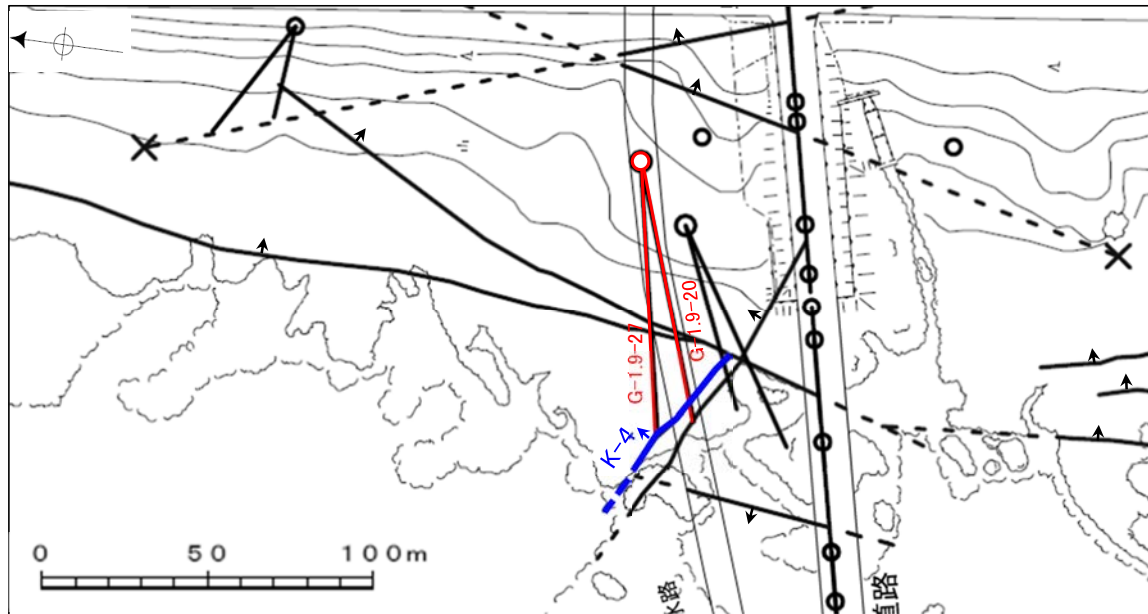
凡例

- 穴水泉層 安山岩(均質)
- 穴水泉層 安山岩(角礫質)
- 穴水泉層 凝灰角礫岩
- 断層(地表面)
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- 断層端部を確認していないもの
- 矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

0 50 100m

代表写真箇所 ※: 地表面で測定した幅

ボーリング調査 位置図(K-4)



調査位置図

凡 例

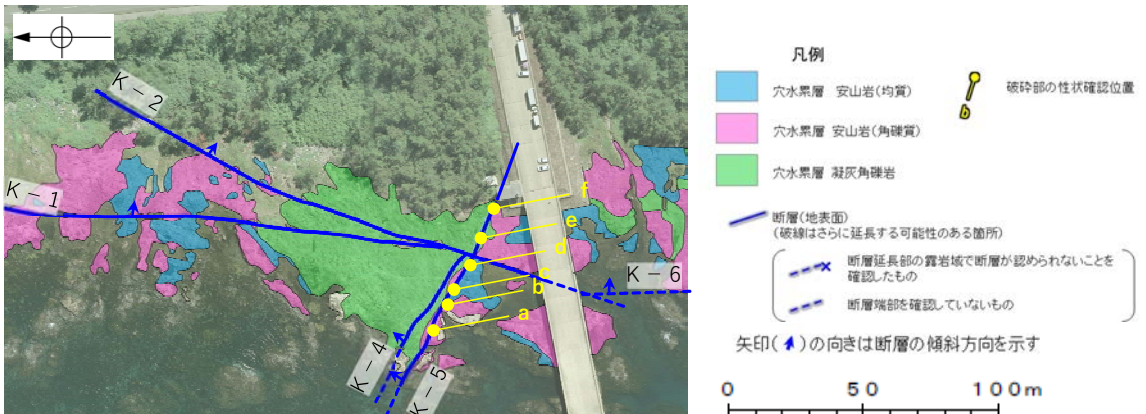

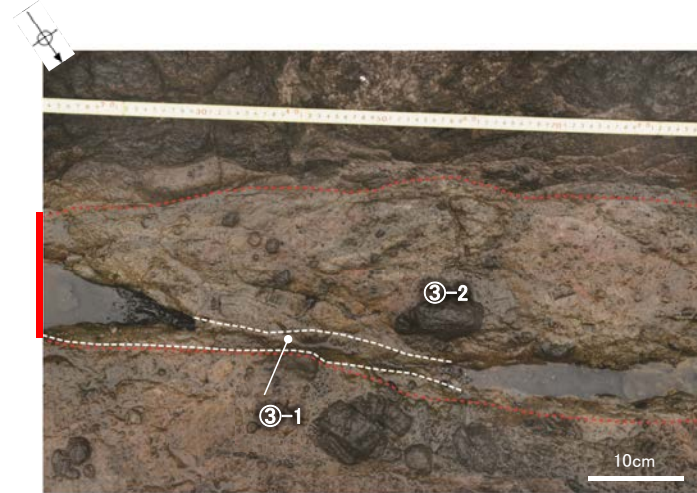
- 鉛直ボーリング孔
- ⊙ 斜めボーリング孔
- K-4確認ボーリング孔
- 基礎掘削面
- K-4(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- K-4以外の断層(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- x 断層延長部の露岩域で断層が認められないことを確認したもの
- 断層端部を確認していないもの
- K-○ (海岸部 EL. 0m)
(K-18, K-19については地表付近まで連続しないため記載していない)

矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

K-4の性状一覧表 ボーリング調査(1/1)

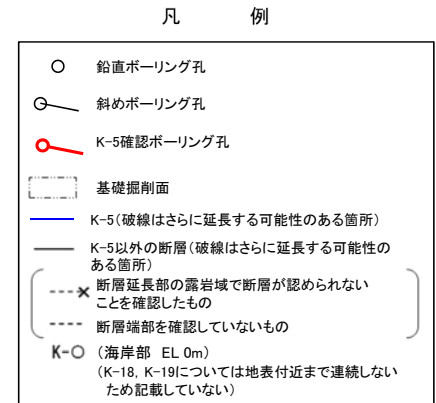
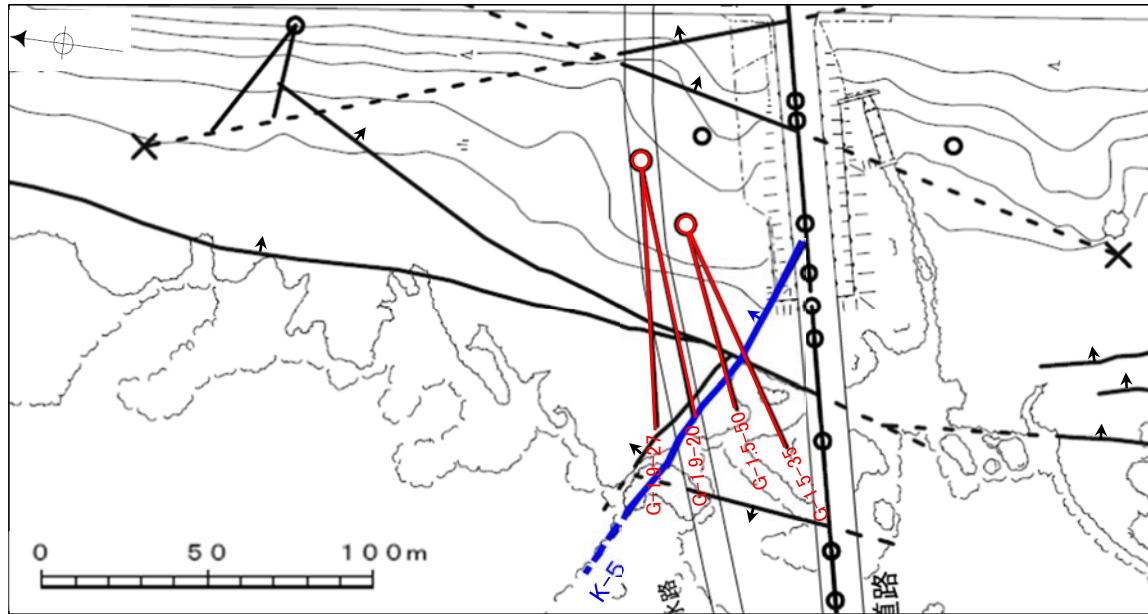
名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 破砕部	① 粘土状破砕部 ②-2 角礫状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部
K-4	G-1.9-20 (傾斜20°)	71.29 (EL-20.49)	N57° W/80° NE	5	<p>71.0 71.1 71.2 71.3 71.4 71.5 71.6 (m)</p> <p>②-2 ③-1</p> <p>※本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>	
	G-1.9-27 (傾斜27°)	84.69 (EL-34.56)	N52° W/68° NE	15	<p>84.3 84.4 84.5 84.6 84.7 84.8 84.9 (m)</p> <p>③-1 ① ③-1</p>	

K-5の性状一覧表 露頭観察(1/1)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-5	N63° W/64° NE	a	5~15	 <p>調査位置図</p>
		b	15~20	
		c	12~20	
		d	8~12	
		e	3~5	
		f	5~7	
				 <p>測定番号c地点 遠景</p>
				 <p>測定番号c地点の破碎部の状況</p>

代表写真箇所 ※: 地表面で測定した幅

ボーリング調査 位置図(K-5)



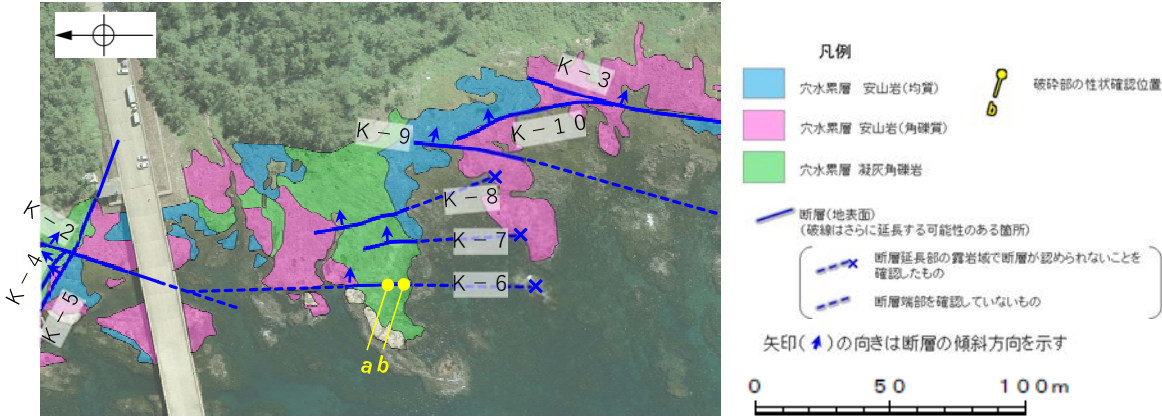
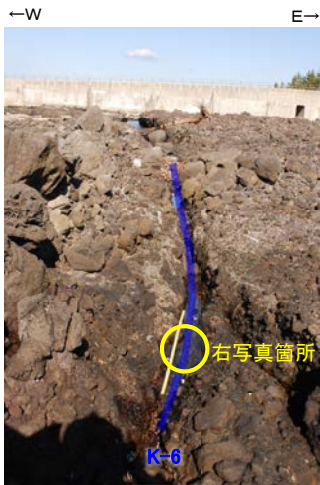
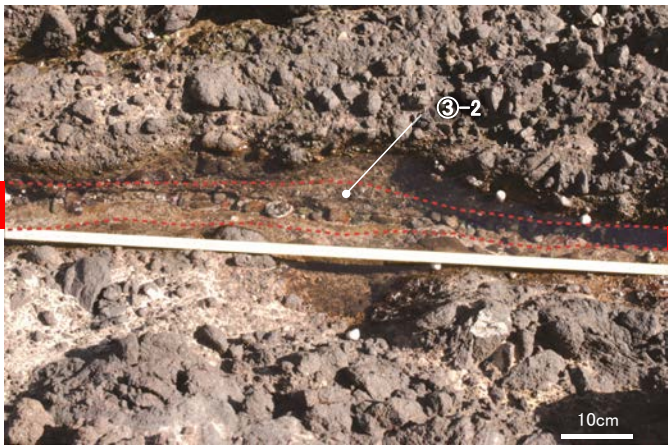
矢印(▲)の向きは断層の傾斜方向を示す

調査位置図

K-5の性状一覧表 ボーリング調査(1/1)

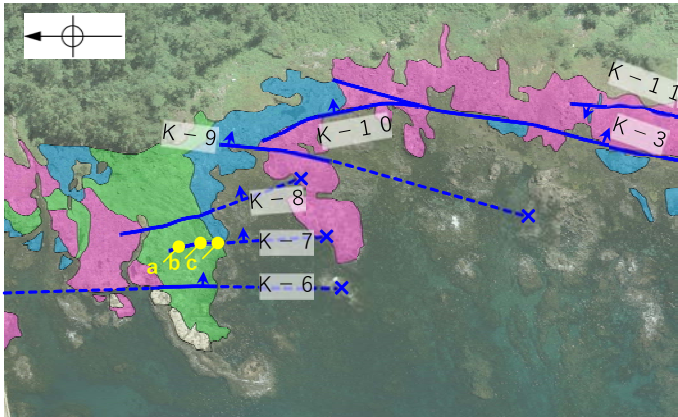

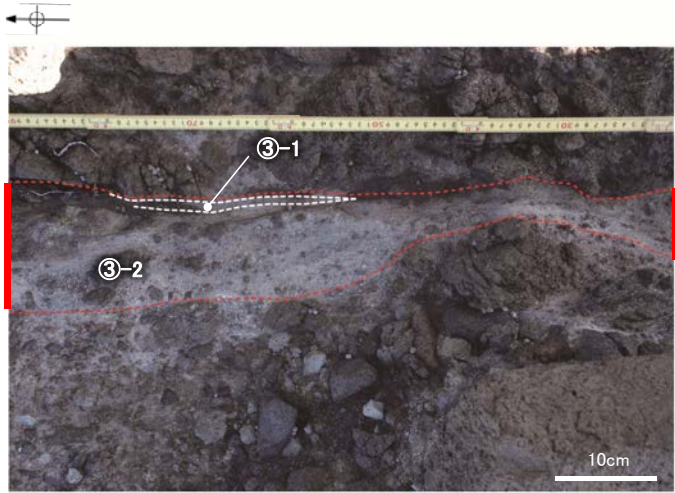
名称	孔名	確認深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> ■ 破砕部 ① 粘土状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 </div>
K-5	G-1.5-35 (傾斜35°)	40.06 (EL-18.49)	N62° W/88° NE	18	
	G-1.5-50 (傾斜50°)	46.73 (EL-31.31)	N69° W/72° NE	8	
	G-1.9-20 (傾斜20°)	68.89 (EL-19.67)	N70° W/60° NE	5	
	G-1.9-27 (傾斜27°)	79.33 (EL-32.13)	N60° W/72° NE	10	<p style="font-size: x-small;">※本コアには一部、グラウト影響(白色～灰色)が認められる。</p>

K-6の性状一覧表 露頭観察(1/1)

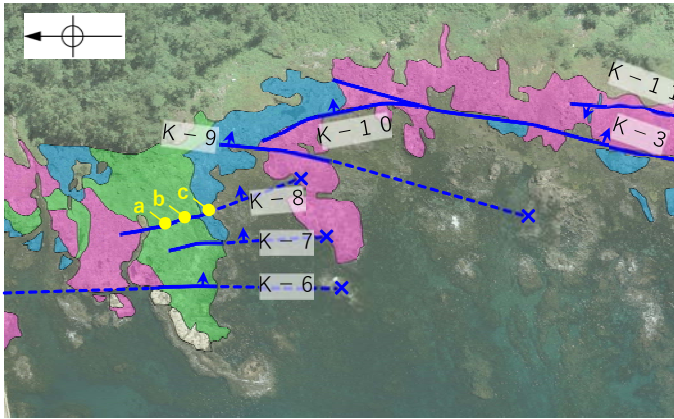
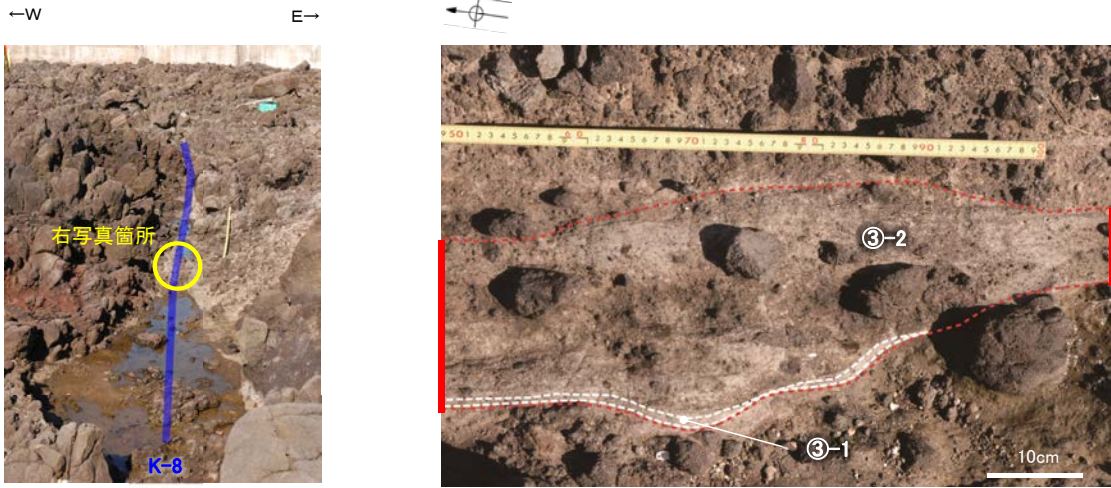
名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-6	N2° W/60° NE	a	4~6	 <p>調査位置図</p>
		b	5~10	
		 <p>測定番号b地点 遠景</p>		
 <p>測定番号b地点の破碎部の状況</p>				

代表写真箇所 ※: 地表面で測定した幅

K-7の性状一覧表 露頭観察(1/1)

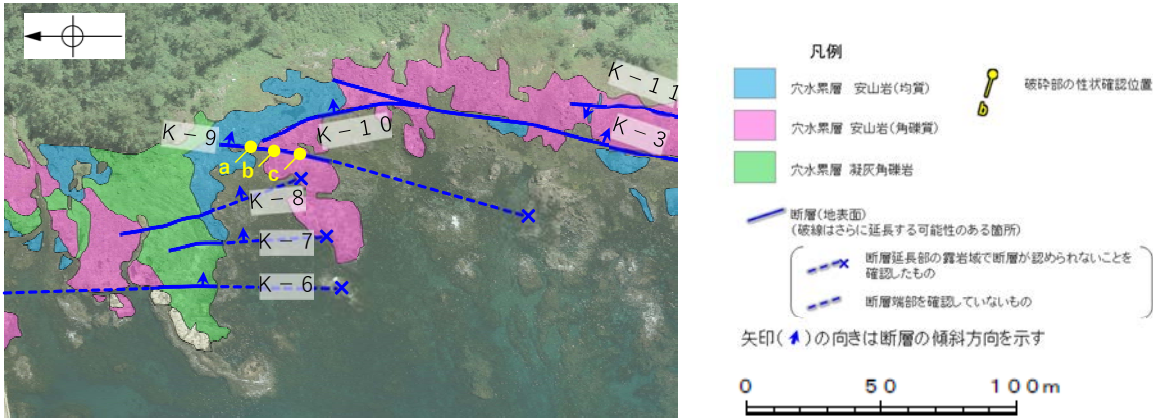

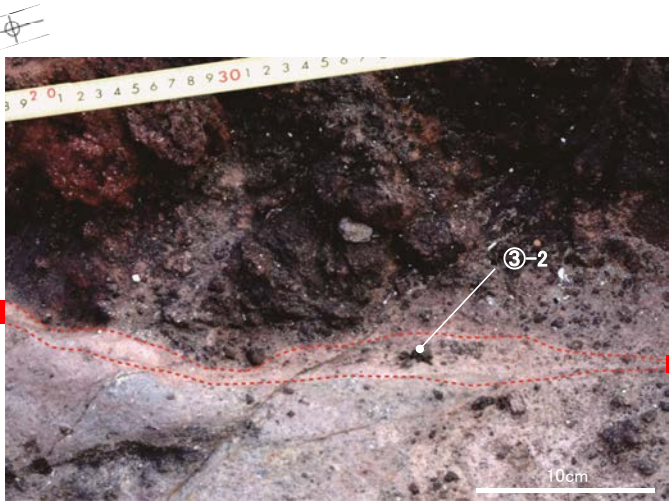
名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-7	N8° W/88° NE	a	2~11	 <p>調査位置図</p>
		b	1~2	
		c	4~11	
				 <p>測定番号c地点 遠景</p>  <p>測定番号c地点の破碎部の状況</p>

K-8の性状一覧表 露頭観察(1/1)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-8	N15° W/80° NE	a	10~21	 <p>調査位置図</p>
		b	1.5~10	
		c	3~4	
				 <p>測定番号a地点 遠景</p> <p>測定番号a地点の破碎部の状況</p>

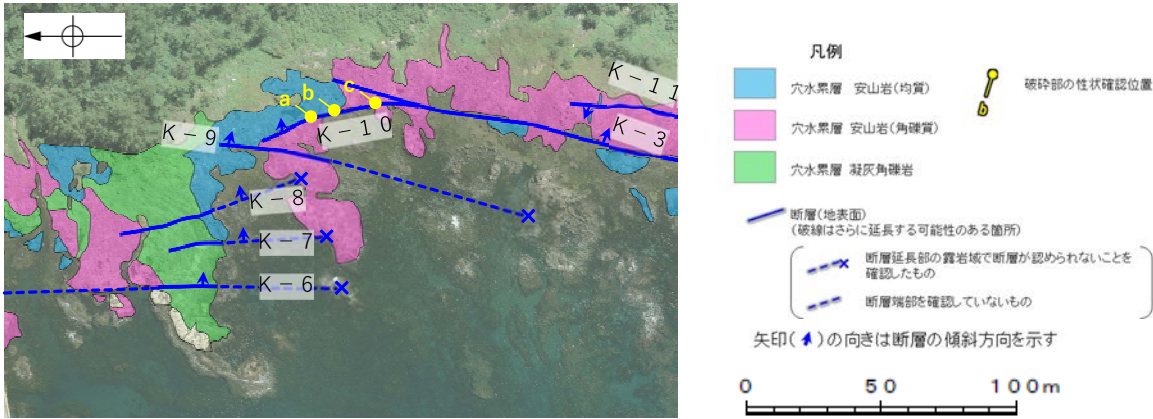
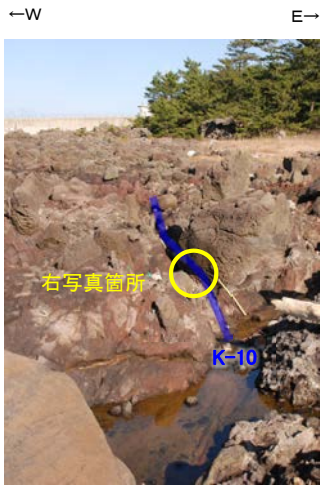
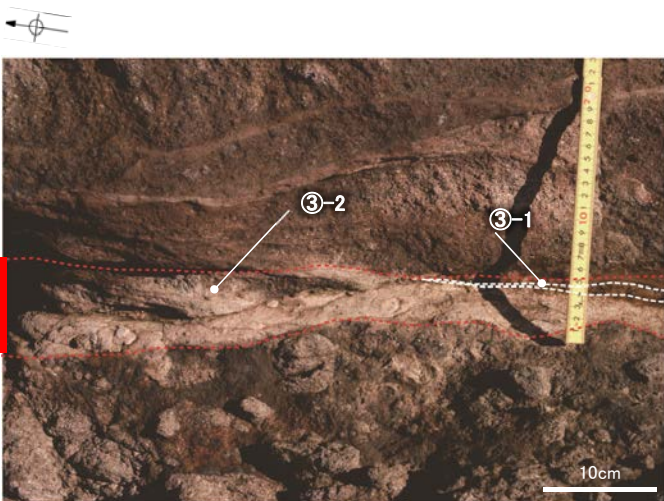
代表写真箇所 ※: 地表面で測定した幅

K-9の性状一覧表 露頭観察(1/1)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破砕部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-9	N10° E/88° SE	a	10~12	 <p>調査位置図</p>
		b	2~4	
		c	2~6	
				 <p>測定番号b地点 遠景</p>
				 <p>測定番号b地点の破砕部の状況</p>

代表写真箇所 ※: 地表面で測定した幅

K-10の性状一覧表 露頭観察(1/1)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		調査位置図・露頭写真
		測定番号	幅※(cm)	
K-10	N16° W/62° NE	a	4~10	 <p>調査位置図</p>
		b	3~11	
		c	7~9	
				 <p>測定番号a地点 遠景</p>
				 <p>測定番号a地点の破砕部の状況</p>

代表写真箇所 ※: 地表面で測定した幅